

# **第2次剣淵町教育振興基本計画**

令和3年5月

剣淵町教育委員会

# も く じ

## はじめに

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 「第2次剣淵町教育振興基本計画の策定にあたって」 | 2 |
|--------------------------|---|

## 第1章 計画の策定にあたって

|           |   |
|-----------|---|
| 1 計画策定の趣旨 | 3 |
| 2 計画の位置づけ | 6 |
| 3 計画の期間   | 6 |

## 第2章 教育を取り巻く現状と課題

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1 本町の教育を取り巻く社会の動向 | 8  |
| 2 本町の教育の現状と課題     | 11 |

## 第3章 計画の基本的な考え方

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1 本町教育のめざす姿(基本理念)  | 16 |
| 2 基本方針             | 18 |
| 3 重点目標             | 20 |
| 第2次剣淵町教育振興基本計画施策体系 | 21 |

## 第4章 今後取り組むべき施策

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 基本方針1 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます  | 22 |
| 基本方針2 多様な学びを支える教育環境を整えます        | 37 |
| 基本方針3 地域ぐるみで子どもを育てます            | 46 |
| 基本方針4 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます | 50 |

## 第5章 計画の推進に向けて

|           |    |
|-----------|----|
| 1 計画の推進体制 | 57 |
| 2 計画の進行管理 | 57 |

## 資料編

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1 剣淵町教育振興基本計画策定懇話会設置要綱    | 59 |
| 2 剣淵町教育振興基本計画策定体制名簿       | 60 |
| 3 剣淵町教育振興基本計画策定までの経過      | 61 |
| 4 剣淵町教育振興基本計画に係るアンケート調査結果 | 62 |
| 5 懇話会委員意見集約結果             | 97 |

# はじめに

## 「第2次剣淵町教育振興基本計画の策定にあたって」

本町は、先人の開拓精神を受け継ぐ町民によって、農業を中心に発展してきました。現在は、絵本によるまちづくりが全国的に高い評価を受けています。

一方、少子高齢化と家族形態・地域社会の変容が急激に進み、町民の暮らしに様々な影響を及ぼし、教育を取り巻く様々な課題が生まれています。

このような中、自然豊かで生命を大切にす町“絵本の里けんぶち”で心豊かに学び、創造性溢れる人材が育ち、芸術文化の花開く町となることを願っております。

このたび策定した「第2次剣淵町教育振興基本計画」は、今後の10年間を見据え、本町の教育のめざす姿、基本方針、重点目標・施策を体系的にまとめました。

策定に当たっては、教育関係機関・保育所・学校・社会教育団体関係者、保護者、学識経験者などで構成する策定懇話会を設けるとともに、保護者アンケート、パブリックコメントを実施し、幅広くご意見をいただき計画に反映させました。

また、社会教育分野では、平成28年度からスタートさせている中期社会教育推進計画を本計画に包含するとともに、総合教育会議により町部局との協議調整を図りました。

本計画に掲げた、「剣淵の教育がめざす人間像・子ども像」の実現のため、町民がいきいきと学びあい、高めあい、支え合うふるさと創りを学校・家庭・地域が一体となって進めていきたいと考えております。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見を賜りました策定懇話会委員、アンケートにご協力頂きました保護者の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

令和3年5月

剣淵町教育委員会

教育長 半田 幸清

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

### (1) 計画策定の背景

少子高齢化と核家族化の進行、科学技術の発達と高度情報化、社会・経済のグローバル化の進行、格差の広がりなど、社会が急激に変化しています。

教育の分野においても、家庭や地域の教育力の低下、子どもたちの基本的生活習慣の乱れ、学ぶ意欲や学力・体力の低下、規範意識の欠如、社会性の低下、いじめや不登校の問題など、多くの課題が指摘されています。

このような中、子どもたちが変化の激しい社会で自立し生きていける力を育てる教育、人々が生涯にわたって自由に学び、学んだ成果を社会で生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。

また、本町の未来を担う人づくりを進めるため、町民一人ひとりが地域に誇りと愛着を持ち、学校・家庭・地域の信頼と協働の下で、「創造性と自立性」を高める教育、地域と共にある魅力ある学校づくり、地域で子どもを守り育てる仕組みづくり、地域課題に対応した学習、特色ある芸術文化・スポーツなどが展開される新たな教育を核とした地域コミュニティづくりが求められています。

### (2) 教育振興基本計画とは

平成18年に教育基本法が約60年ぶりに改正され、「人格の完成」や「個人の尊厳」など、これまでの普遍的な理念は大切にしながら、時代の変化とともに必要となる新たな教育の理念が明確にされました。

#### 【教育基本法の改定】

- 生涯学習社会の実現
- 信頼される学校の確立
- 幼児教育、家庭教育
- 学校・家庭・地域の連携協力
- 教育振興基本計画の策定

この新しい理念を具体的に実現していくために、今後どのような教育施策を行い、それをいつまでに達成するのかといった教育の振興に関する全体像を明らかにして、教育施策を実施することが必要となります。同法第17条では、国は総合的かつ計画的に教育施策を推進するために教育振興基本計画を策定すること、地方公共団体は国の計画を参考にして地域の実情に応じた計画を策定するよう努めることとされています。

国では、平成20年7月に「教育振興基本計画」が策定され、現在は、平成30年から令和4年までの5か年間を計画期間とする「第3期教育振興基本計画」が策定されました。この計画では、世界全体が急速に変化する中にあって、日本の社会は深刻な課題を抱え危機的な状況にあるとしています。

#### 《我が国を取り巻く危機的状況》

- ・ 少子・高齢化の進展 → 社会全体の活力の低下
- ・ グローバル化の進展 → 人・モノ・金・情報等の流動化
- ・ 雇用環境の変容 → 失業率、非正規雇用の増加
- ・ 地域社会、家族の変容 → 個々人の孤立化、規範意識の低下
- ・ 格差の再生産・固定化 → 生産意欲等の減退と社会の不安定化
- ・ 地球規模の課題（環境・食料・エネルギー問題、民族・宗教紛争）

一方で、我が国は、多様な文化・芸術や勤勉性、協調性・思いやりの心、「人の絆」や知識技能の高さなどの強みを持ちます。これらを踏まえ、私たちは、成熟社会に適合した「自立」「協働」「創造」に向けた一人ひとりの主体的な学びにより生涯学習社会を構築していく必要があるとしています。

#### 【今後の生涯学習社会とは】

- 自 立 ～ 一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていくことのできる社会
- 協 働 ～ 個人や社会の多様性を尊重し、ともに支えあい、高めあい、社会に参加することのできる社会
- 創 造 ～ 自立、協働を通じて更なる新たな価値を創造していくことのできる社会

同計画では、改正教育基本法の理念の実現に向けた5つの基本的方向性を設定し、具体的方策を整理しています。

**【国の第3期計画の5つの基本的方向性】**

- 1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成
- 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力の育成
- 3 生涯学び、活躍できる環境を整える
- 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築
- 5 教育政策推進のための基盤の整備

北海道では、「北海道教育推進計画」を平成20年3月に策定し、その後改定がなされ、現計画の計画期間は、平成30年度から令和4年度までとなっています。計画に示されている北海道教育の基本理念は、既に策定されている北海道教育のビジョンを受けて、「自立」と「共生」とし、基本理念の実現に向けた6つの基本目標を示しています。

**【北海道教育の基本理念】**

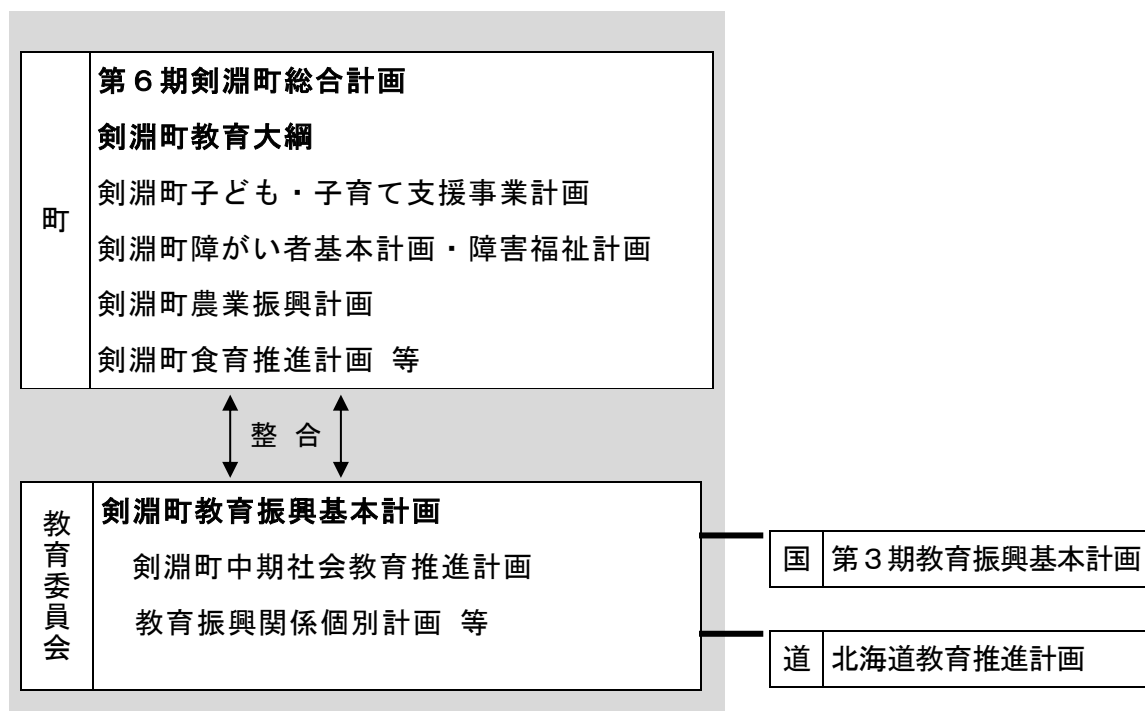
- 自 立** ～ 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
- 共 生** ～ ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、ともに支え合う人を育む

**【北海道教育推進計画の6つの基本目標】**

- 1 社会で生きる力の育成
- 2 豊かな人間性の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進
- 5 学びをつなぐ学校づくりの実現
- 6 学びを活かす地域社会の実現

## 2 計画の位置づけ

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、剣淵町における教育振興のための施策に関する基本的な計画です。国・道の関連計画を踏まえるとともに、「第6期剣淵町総合計画」をはじめ、町の関連する計画との整合性を図り策定します。



## 3 計画の期間

本計画の期間は、概ね10年を見通しながら、第1次は、平成29年度を初年度とし、町の関連する計画との整合性を図り、第2次は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

ただし、社会状況の変化、町の総合計画などとの整合性確保などにより見直しの必要が生じたときは、計画の見直しを随時行います。

さらに、町総合計画の策定に併せて町の生涯学習振興マスタープランを策定することについての検討を行います。

◇ 教育振興基本計画の期間

| 年度    | H27             | H28 | H29                       | H30                  | R1 | R2 | R3                                        | R4    | R5 | R6 | R7 |
|-------|-----------------|-----|---------------------------|----------------------|----|----|-------------------------------------------|-------|----|----|----|
| 町     | 第5期剣淵町総合計画（～R2） |     |                           |                      |    |    | 第6期剣淵町総合計画（～R12）                          |       |    |    |    |
|       |                 |     |                           |                      |    |    | 剣淵町生涯学習推進マスタープラン                          |       |    |    |    |
|       | 剣淵町教育大綱（H27～R2） |     | 剣淵町教育振興基本計画〔教育大綱〕（H29～R2） |                      |    |    | 第2次剣淵町教育振興基本計画〔教育大綱〕（10年後を見通し、計画期間はR3～R7） |       |    |    |    |
|       |                 |     | 第11次剣淵町中期社会教育推進計画（H28～R2） |                      |    |    |                                           |       |    |    |    |
| 教育委員会 |                 |     |                           |                      |    |    | ↑ 一元化<br>☆下位計画として、学校教育計画・社会教育計画を位置づける     |       |    |    |    |
| 道     | 第2期             |     |                           | 第3期北海道教育推進計画（H30～R4） |    |    |                                           | 再改定計画 |    |    |    |
| 国     | 第2期             |     |                           | 第3期教育振興基本計画（H30～R4）  |    |    |                                           | 第4期計画 |    |    |    |



## 第2章 教育を取り巻く現状と課題

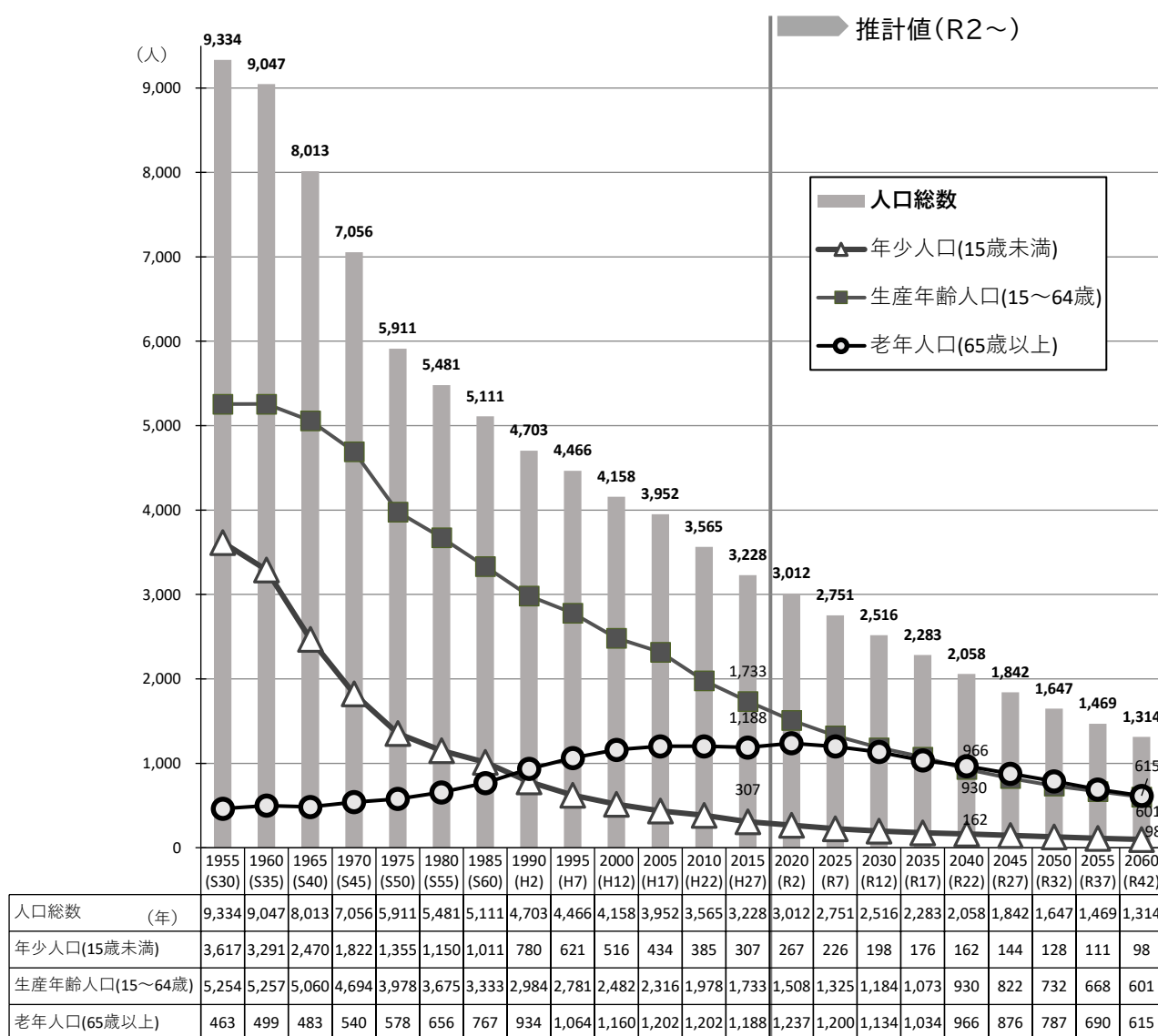
### 1 本町の教育を取り巻く社会の動向

#### (1) 人口減少と少子高齢化の進行

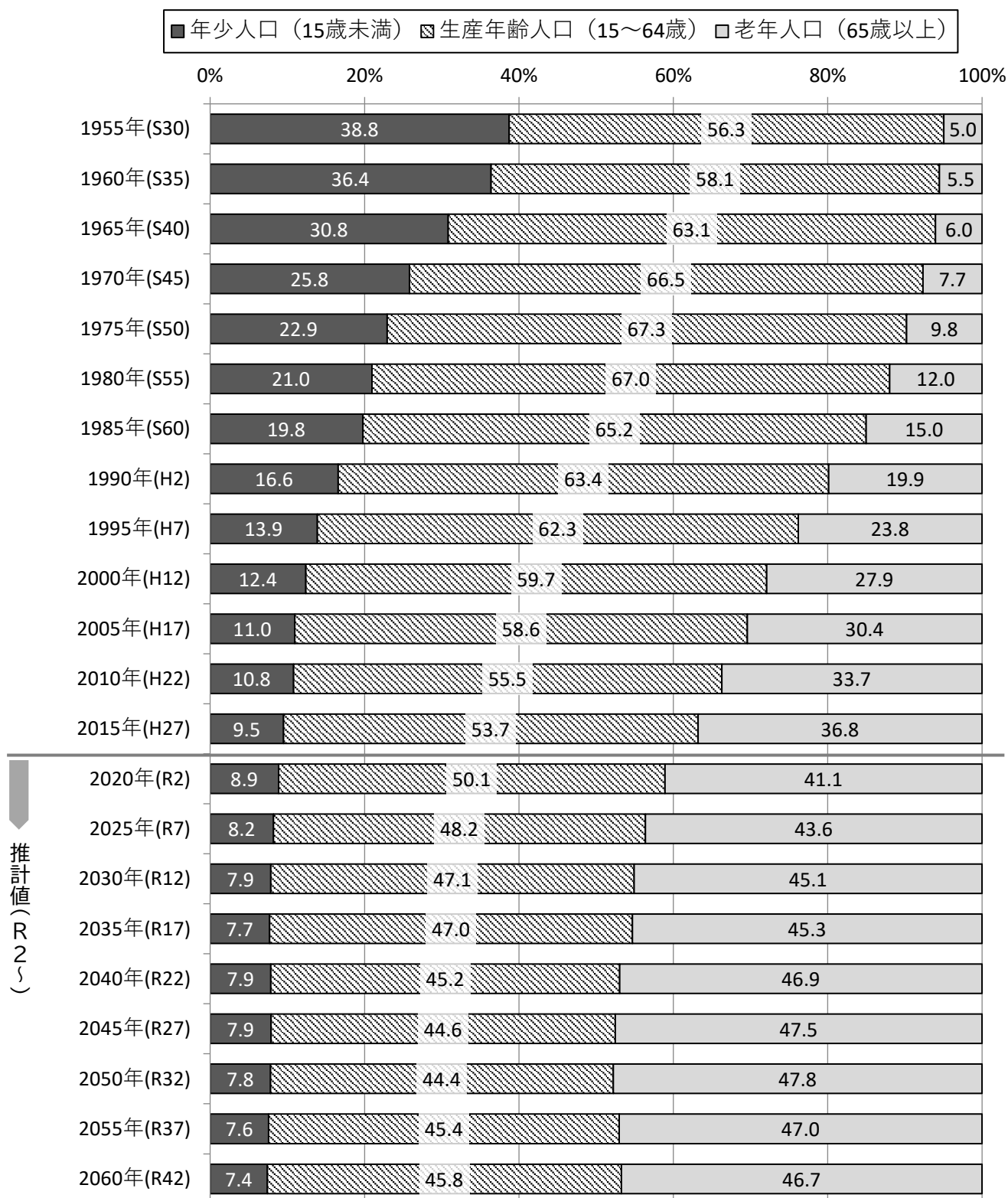
##### ◇ 年齢3区分別人口の推移と将来の推計

剣淵町の人口は、昭和29年度をピークに一貫して減少傾向にあり、まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおける将来人口では、令和2年からの10年間で見ると、3,012人から2,516人へ16.4%減少すると推計されています。

また、少子高齢化が急速に進行し、年齢別の人口構成比を見ると、0歳～14歳の年少人口割合は、令和2年からの10年間で268人(8.8%)から198人(7.8%)へと減少するのに対して、65歳以上の人口割合は、1,237人(41%)から1,134人(45%)に上昇すると推計されています。

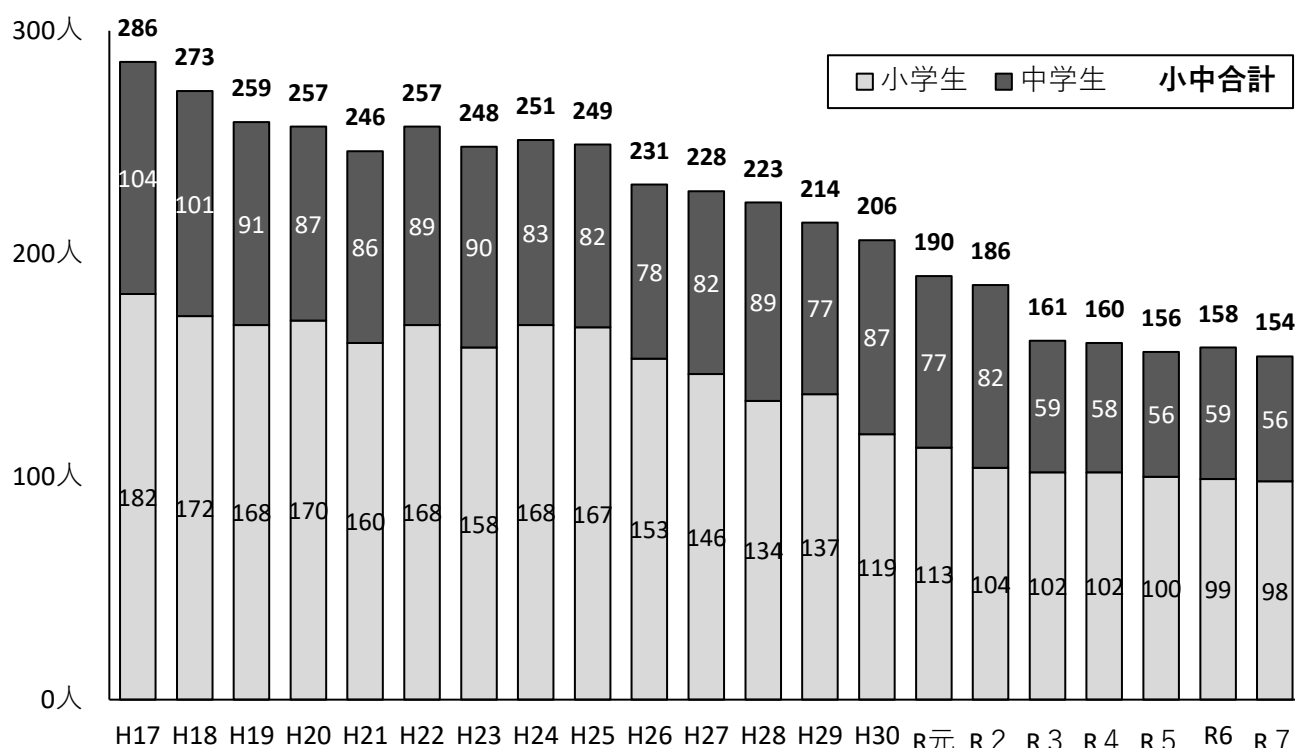


## ◇ 年齢3区分別の人口構成比の推移



※剣淵町人口ビジョンより

## ◇ 小中学児童生徒数の推移及び見込み



このような状況は、生産年齢人口の減少、経済規模の縮小、税収の減少、社会保障費の拡大など町民の暮らしに様々な影響を及ぼしつつあり、産業の衰退、コミュニティ機能の低下などにつながり、子どもたちの豊かな人間性や社会性を培う機会が減少しています。こうした中で、安心して子どもを生み、健やかに育てることができる環境を整えていくことが求められています。

町民アンケートの子育て支援に関する意見の中では、剣淵町は比較的子育てしやすい環境であるとの声がある一方、子育てしやすいまちにするために必要なこととして、子育て世代の経済的負担の軽減や医療・保育・教育の充実、地域での支え合い、子どもの遊び場や子育てに関する相談の場の確保、仕事との両立支援など、多岐にわたる意見がありました。

## (2) 家族形態・地域社会の変化

剣淵町の家族形態では、子どもがいない世帯（単独世帯、夫婦のみ世帯）の割合が増加し、子どもがいる世帯が減少しています。また、子どもがいる世帯であっても、三世代世帯が減少し、ひとり親世帯が増加しています。核家族化とライフスタイルや価値観の多様化に伴い、家族や地域社会が大きく変化し、家庭や地域社会の支え合いが失われてきており、教育においても家庭や地域の教育力を低下させないために、地域活動の担い手の確保が必要となっています。このような状況に対応し、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で教育に取り組むため、社会における人と人のつながりを重視して、コミュニティを再構築することが求められています。

## (3) 社会・経済状況の変化

剣淵町は、農業を基幹産業として発展してきましたが、経済や社会のグローバル化や情報通信技術の進展に伴い、人、モノ、金、情報等や様々な文化・価値観が国境を越えて流動化するなど、変化が激しく先行きが不透明な時代となり、同時に、地球規模の環境やエネルギー資源の問題が地域経済にも深く関わるようになっていきます。こうした変化の激しい社会で、自立して生きていく力を持ち国際社会で活躍することのできる創造性豊かな人材、地域産業を支える担い手を育成することが求められています。

## 2 本町の教育の現状と課題

### (1) 学校教育関係アンケート調査の結果

（令和2年7月～8月実施）

#### ① 児童生徒の様子（児童生徒アンケートの結果から）

- 学校を楽しんでいると感じ生き生きと学び活動する様子が見られます。一方、夢や希望を持ち目標に向かって努力する姿勢は十分とは言えません。
- 先生を身近に感じたり悩みを相談できる人がいたりするほか、いじめを許さない態度など人間関係には恵まれていると言えます。一方、中学生では自己肯定感が必ずしも高くなく、家庭学習の取り組みも十分ではありません。

- 読書への親和性、地域行事や外国の人々の交流等への興味があまり高くなく、教養を養い見聞を広める活動への関心や意欲は十分とは言えません。
- 毎日朝ご飯を食べている児童生徒がほとんどであり、運動の時間も確保されており健康的な生活を送っていると言えます。また、ゲームやスマホなどメディア機器についても概ね家庭で決めたルールを守って利用しています。
- 放課後や学校が休みのときの過ごし方は、中学生の部活動を除くと、「テレビやゲーム」をして過ごす児童生徒が最も多く、中学生ではこれに「スマホ」が加わります。ルールは守っていますが、生活に占める時間は必ずしも短くないと考えられます。
- 「自分のよいところ」として挙げているのは、「好きなことがある」（62％）、「得意なことがある」（52％）、「あいさつができる」（52％）が多く、「まじめ」（10％）、「勉強ができる」（11％）、「ずるいことが嫌い」（11％）が少ないという状況です。
- 「成長したいと思っている点」は、小中学生ともに多くが「体力」（54％）と「学力」（52％）を挙げています。その他では、小学生は「仲間を大事にする」（小 52％・中 33％）が多く、中学生では「コミュニケーション力」（小 30％・中 79％）が多くなっています。

## ② 小中学校保護者の意識（小中学校保護者アンケートの結果から）

- 家族間や親子間でのコミュニケーションについては、小中学校の保護者ともに概ね活発な様子が見られます。
- 多くの保護者が、学校は保護者とよく連絡を取っており、学校の環境も安全・安心で快適なものになっていると感じています。また、学校の先生は自分の子どものことを分かってくれていると思っています。これらの点での学校教育に対する保護者の満足度は高いと言えます。
- 全体的に、子どもとのふれあいを重視し、しつけもしっかりしようとしている様子がうかがえます。
- 子どもの教育の上で心配なこととしては、中学校保護者の7割近く「進路や進学のこと」を挙げ、小中学校保護者の半数以上が「ゲームやスマホ等」を挙げています。

- 子どもの教育の安心のために必要なこととしては、「家族の協力」（73％）、「学校との信頼関係」（57％）、「学校教育の充実」（55％）、「一人一人の発達に応じた支援」（47％）の順で多くなっています。

### ③ 教職員の意識（教職員アンケートの結果から）

- 本町の小学校から高等学校の教職員は、概ね前向きな気持ちで職務に当たっており、自分の仕事に対する満足も高いと言えます。
- 一方で、多くの教職員が仕事の進め方や業務量については改善の余地があると考えており、少なからず多忙感を抱えている現状もうかがえます。
- 児童生徒の学力向上に有効な取り組みとしては、半数以上の教職員が「加配教員を活用した少人数指導」（61％）を挙げており、その次に「良好な人間関係づくりと共に学ぶ態度の育成（学級経営や自主的な活動）」（46％）と「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）の実現」（39％）を挙げています。
- 今後教職員に求められる資質や能力としては、多くの教職員が「深い教養と豊かな人間性」（56％）、「学び続ける姿勢」（51％）、「子どもたちへの愛情」（46％）と、いつの時代にも求められる資質や能力を挙げています。次いで「危機管理能力」（44％）、「多様な学びの構想力」（39％）、「カウンセリングやコーチングの能力」（37％）、「教育の専門知識」（37％）という順で多くなっています。

### ④ 学校教育や教育施策への期待

（小中学校保護者及び教職員アンケートの結果から）

- 「小中学校の教育で力を入れてほしいこと、重視したい教育・学校の姿」については、保護者、教職員ともに「他者への思いやりなど豊かな心の育成」保護者 65％・教職員 76％（以下 65％・76％）と「自立のために必要な基礎的な学力の育成」（60％・71％）が上位項目となっています。それ以外では、保護者は「一人ひとりがかけがえのない存在として尊重され、いじめのない学校」（54％・44％）と「あいさつや礼儀など社会性の育成」（54％・39％）が多く、教職員は「基本的な生活習慣と規範意識の育成」（25％・51％）と「個性を磨き、将来の夢や希望を育む学校」（29％・59％）が多くなっています。

- 「社会の創り手となる子どもたちに求められる資質や能力」については、保護者、教職員ともに「コミュニケーション能力」（77%・85%）と「問題解決能力」（60%・59%）が上位項目となっていて「コミュニケーション能力」が突出している点も共通しています。次いで、「多様な人々との協働と共生」（41%・46%）、「主体的な判断力や行動力」（36%・56%）、「発想力と創造力」（36%・41%）の順で多くなっています。学力や生きる力の見方については、保護者、教職員で同じ傾向があることが分かります。
- 「力を入れてほしい町の教育施策」については、保護者と教職員の総計では、「子どもたちの体験学習の拡充」（38%・29%）、「ICTやネット環境の整備」（31%・49%）、「就学と進学への支援」（40%・17%）、「外国語教育や国際交流」（30%・7%）、「一人ひとりの特性に応じた特別支援教育」（23%・27%）の順で多くなっています。「教員の働き方改革」については、教職員の4割近くが力を入れてほしいと考えています。

## (2) 剣淵町民の生涯学習に関する意識調査の結果

（令和2年7月～8月実施）

### ● 生涯学習活動の実施状況

どのような活動を行っているかでは、「健康づくり」（31.2%）で最も多く、続いて「芸術文化」（28.3%）、「スポーツ」（21.0%）などとなりました。また、行ってみたい活動では、「スポーツ」、「健康づくり」、「ボランティア活動に必要な知識」、「環境保全、自然保全」などとなりました。

### ● 生涯学習活動の目的

生涯学習活動の目的では、「仲間づくりや交流」（50.0%）で最も多く、次いで、「健康増進」（43.5%）、「趣味や生きがい」（42.0%）と続きます。

### ● 生涯学習の実施方法

どのように活動を行っているかでは、「町が開催する講座・教室」（39.1%）、「仲間とグループやサークルをつくって」（31.2%）であり、

「独学、ひとりで」（22.5%）となっています。

#### ● 生涯学習情報の入手先

学習やスポーツ情報の入手先では、「町の広報誌」（38.4%）が最も多く、続いて、「チラシやポスター」（28.3%）、「新聞や雑誌」（23.2%）などとなりました。また、充実してほしいものでは、「インターネット」（21.7%）となっています。

#### ● 生涯学習活動の妨げ

何が活動の妨げになるかでは、「仕事や家事が忙しい」（38.4%）で特に多く、次いで「講座などの時間や時期が合わない」、「自分に合う講座がない、指導者がいない」などが続きます。

#### ● 生涯学習参加機会

今後充実してほしい生涯学習機会では、「趣味や生きがいをづくり」、「健康増進」の二つが特に多く、次に「親子のつながりや地域のつながりが深まる内容」、「介護に関する知識や介護を応援してくれるような学習」が続きます。

#### ● 伸ばしたらよい活動

町の特色として伸ばしたらよい活動では、「健康に関するもの」が4割を超えています。

### (3) 小中学生の全国学力調査の結果（令和元年度実施）

#### ● 全国学力

令和元年度「全国学力・学習状況調査」の結果では、本町の小・中学生の学力は、実施した国語、算数、英語（中学校）のうち、平均正答率が全国平均及び北海道平均より上の教科は国語で、それ以外は全道平均をやや下回っています。国語、英語では「読むこと」数学では「資料の活用」の領域で正答率が高く出ました。

#### ● 将来の夢

「将来の夢や目標を持っていますか」では当てはまると答えた割合が、



小学6年生では全道平均が約64%に対して本町は約48%、中学3年生では全道平均が約46%に対して本町は約41%、どちらかといえば当てはまると答えた割合が、小学6年生では全道平均が約18%に対して本町は約29%、中学3年生では全道平均が約25%に対して本町は約47%でした。

#### ● 家庭学習時間

平日の1日あたりの家庭学習等の時間では、1時間以上勉強している割合は、小学6年生では全道平均が約58%に対して本町は約38%、中学3年生では全道平均が約63%に対して本町は約65%となっており、小学6年生の数字が低く児童の自学習慣、特に家庭学習が定着していない状況が示されているものの、平成28年度実施の16%よりは上向いていました。

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 本町教育のめざす姿（基本理念）

剣淵町は、古くはアイヌの人々が「ハンノキの川の畔」と呼んだように道北随一の大河天塩川の支流剣淵川に沿って開けた自然豊かな気候風土の中で、先人のたくましい開拓精神を受け継いだ人々によって、自然と調和した農業を基幹産業として発展してきた特長を持ちます。現在は、農村特有の過疎化の進行とともに、子どもたちの豊かな人間性を育てる機会の縮小が憂慮されています。一方、そのような中であって、本町では、30年ほど前に町民有志により始められた絵本の里づくり活動が各分野に広がり、全国的な高い評価を受け、町の重要な特長となっています。私たちは、先人が築き上げたふるさとの特長に学び、ふるさとに対する愛情や誇りを持ち、未来のふるさとを担う「人づくり」を進めます。

教育基本法に掲げられた教育の目的は「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民を育成する」ことであります。乳幼児期の遊びや初等・中等教育期間の様々な学びを通して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を備えた、社会的な存在として自立した人間を育て

ることを目指します。

また、未来を担う子どもたちをはじめ、全ての町民が笑顔にあふれ、いきいきと夢や希望の実現に向けてともに学びあい、ともに高めあい、ともに支えあう「協働・共生」の「ふるさとづくり」を目指します。

### **(剣淵の教育がめざす人間像)**

- いきいきと学び 未来を切り拓き 自立して生き抜く人
- とともに学びあい とともに高めあい とともに支えあう人
- ふるさとに学び ふるさとを心にもち ふるさとを創る人

### **(剣淵の教育がめざす子ども像)**

自分らしく      いきいきと      しなやかに  
認めあい   学びあい   高めあい  
ふるさと“けんぶち”をつなげる子

「自分らしく」とは、かけがえのない存在である自己をよく理解し、他者に対する思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築こうとする子どもの姿をめざすものです。

「いきいきと」とは、学ぶことの喜びと自ら進んで学ぼうとする意欲を持ち、夢や希望に向かって自己の力を最大限発揮して力強く挑戦する子どもの姿をめざすものです。

「しなやかに」とは、学校、家庭、地域での様々な遊びや学習、読書、体験活動などを通じて、子どもの自己肯定感や有用感を育み、豊かな心を養い、健やかな体を育て、しなやかな人間性を身につけていく子どもの姿をめざすものです。

「認めあい   学びあい   高めあい」とは、基礎的な知識や技能を基にして、仲間と協力して周りの人や社会との関わりなどを体験的に学び、時代の変化や社会の困難に柔軟に対応できるよう自己を高め、多様な価値観を持つ人々と共に認めあい社会で生きる力を身につけていく子どもの姿をめざすものです。

「ふるさと“けんぶち”をつなげる子」とは、先人のたゆまぬ努力によって築き上げてきた本町の歴史や文化、自然と調和した人々の営みと共生の絆などを子どもたちが学び、ふるさとを心のよりどころとし、ふるさとを継承するために、ともに学びあい、高めあい、支えあう、未来に向けた人づくりを目指します。

## 2 基本方針

- ☆ 自ら学び 社会で自立して ともに生きる力を育てます
- ☆ 多様な学びを支える教育環境を整えます
- ☆ 地域ぐるみで子どもを育てます
- ☆ 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます

### ◆基本方針Ⅰ◆

#### ◇ 自ら学び 社会で自立して ともに生きる力を育てます

教育の出発点である幼児期の教育を重視し、遊びを通した学びの基礎力や道徳心の育成をはじめ、基本的な生活習慣の定着を図るなど、子どもの心身の健やかな発達を支援します。

小・中学校教育段階においては、子どもが学ぶ楽しさや達成感を実感し、将来の夢を実現させようとする意欲と自ら課題意識を持って考え、主体的に判断し行動できる資質や能力を育てます。加えて、道徳教育活動、自然や人と豊かに関わる体験活動などを通して、命の大切さを実感し、自分や他者を思いやり、認めあい共に生きようとする豊かな人間性を育みます。併せて、健やかな身体を育む健康・体力づくりを推進することにより、「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた「生きる力」を育みます。

また、障がいのある子どもの自立と社会参加をめざし、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を行う特別支援教育を推進します。

さらに、現代的な課題に対応した情報教育・国際理解教育の推進及びふるさと剣淵を実感し、ふるさと剣淵をよりどころとして、未来の自己実現につながるふるさと教育・キャリア教育を推進します。

町立の剣淵高等学校は、絵本と農業と福祉のまちづくりを進める地域の人材養成を目的に魅力ある教育活動を推進します。

## ◆基本方針Ⅱ◆

### ◇ 多様な学びを支える教育環境を整えます

健康教育では、子どもが安心して学び、安全で快適に生活できるよう安全教育と学校安全管理、安全・安心な学校給食と食育・給食指導、保健教育と学校保健などの充実に努めます。

学校教育施設整備では、老朽化の進む学校施設の将来的なあり方について方向性を定め、改修整備の具体化を図っていくとともに、学校図書館の充実と学校における情報化、地域開放を推進します。

学校力向上では、教職員の資質・能力の向上と指導体制の充実に努めます。

また、保育所・小中高間の連携、特に、義務教育9年間を見通した小中学校の系統性・連続性を重視した連携教育を推進するとともに、小中一貫教育についての検討協議を進めます。

子どもたちが等しく教育を受けるための経済支援など、質の高い教育環境づくりを推進します。

## ◆基本方針Ⅲ◆

### ◇ 地域ぐるみで子どもを育てます

子どもたちを健やかに育むため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しながら、地域全体で教育に取り組む体制づくりを進めます。

学校は、積極的に学校情報を地域に伝え、地域の教育力を学校の教育活動に生かすなど「地域とともにある学校づくり」を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの活動を支え、豊かなつながりの中で地域ぐるみで子どもを守り育てる地域学校協働活動を推進します。

## ◆基本方針Ⅳ◆

### ◇ 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます

学校や社会教育施設に地域の教育機能を有する諸団体・企業等を加えた新たな教育資源を活用し、町民一人ひとりの多様な学習活動から形成される「学びのコミュニティ」を生かした地域づくりを推進します。

また、町民が気軽にスポーツや芸術文化に親しみ、より豊かで充実した生活を送ることができるよう、スポーツ・文化芸術活動への参加機会の拡充を図ります。

さらに、町民が郷土の歴史や伝統、文化にふれ、町を身近に感じ、町の資源や特色に対する関心を深められるよう、文化財の保護、郷土資料の保存と活用、郷土芸能の伝承活動の支援などを進めます。

### **3 重点目標**

#### **I 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます**

- 1 遊びを通した豊かな学びの推進
- 2 自らいきいきと学ぶ学習活動の推進
- 3 一人ひとりの学びと育ちに応じた特別支援教育の充実
- 4 ふるさと剣淵から未来を思い描く教育の充実
- 5 豊かな人間性と健やかな身体を育む教育の充実
- 6 魅力ある高校づくりの推進

#### **II 多様な学びを支える教育環境を整えます**

- 1 安全・安心で快適な学校の整備
- 2 子どもの学びを支える多様な学習環境の整備
- 3 学校力の向上と学校間連携の推進
- 4 学びのセーフティネットの充実

#### **III 地域ぐるみで子どもを育てます**

- 1 地域とともにある学校づくりの推進
- 2 地域で子どもを守り育てる活動の推進

#### **IV 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます**

- 1 学びあい とともに支えあう「ふるさとづくり」の推進
- 2 まちを創る心と身体を育てる「芸術文化・スポーツ活動」の推進
- 3 まちを創る基盤を整える「条件づくり」の推進

## 第 2 次 剣 淵 町 教 育 振 興 基 本 計 画 施 策 体 系

| 基 本 方 針                    | 重 点 目 標                         | 主 な 取 組 施 策                                                                      |
|----------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅰ 自ら学び 社会で自立して共に生きる力を育てます  | 1 遊びをとおした豊かな学びの推進               | ①質の高い幼児教育と保育の提供<br>②保育所と小学校の連携                                                   |
|                            | 2 自ら いきいきと学ぶ学習活動の推進             | ①子どもの学び意欲を高める学習活動の充実<br>②生涯にわたる学びを育む学習活動の充実                                      |
|                            | 3 一人ひとりの学びと育ちに応じた特別支援教育の充実      | ②一人ひとりの多様なニーズに応じた教育の充実                                                           |
|                            | 4 ふるさと剣淵から未来を思い、描く教育の充実         | ③国際性を育む教育の充実<br>②自分からさと自立した生き方を旨とする学習活動の充実                                       |
|                            | 5 豊かな人間性と健やかな身体を育む教育の充実         | ③人権教育の推進<br>④子どもの体力、運動能力の向上とスポーツ活動への参加促進                                         |
|                            | 6 魅力ある高校づくりの推進                  | ④「未来のしんろ」系列による新たな学校の魅力づくり<br>⑤生徒募集活動及び進路対策<br>⑥学校、地域連携による学校づくりの推進                |
| Ⅱ 多様な学びを支える教育環境を整えます       | 1 安全・安心で快適な学校の整備                | ④緊急・防災対応機能の向上<br>⑤学校給食と食育・給食指導の充実                                                |
|                            | 2 子どもの学びを支える多様な学習環境の整備          | ③学校施設の地域開放及び地域活動拠点スペースの確保                                                        |
|                            | 3 学校力の向上と学校間連携の推進               | ⑤保育所と学校間及び地域との連携・協働による教育活動の推進<br>⑥小・中学校9年間を見通した教育連携の推進<br>⑦小中一貫教育の検討協議           |
|                            | 4 学びのセーフティネットの充実                | ③教育機会均等のための経済的支援・教育支援の充実                                                         |
|                            | 1 地域とともにある学校づくりの推進              | ③生涯学習の場としての学校の活用<br>④地域性を活かした特色ある学校活動の推進                                         |
|                            | 2 地域で子どもを守り育てる活動の推進             | ③地域学校協働活動の推進                                                                     |
| Ⅲ 地域ぐるみで子どもを育てます           | 1 学びあい 共に支えあふるさとづくりの推進          | ④学びあい、支えあふ協働のまちづくりの推進<br>⑤特色ある絵本文化活動・交流活動の推進<br>⑥絵本体験・読書活動の推進と読書環境の整備            |
|                            | 2 まちを創る心と身体を育てる「芸術文化・スポーツ活動」の推進 | ④町ぐるみの健康運動、体力づくり活動の推進<br>⑤子どもの芸術文化・スポーツ活動の促進<br>⑥芸術文化・スポーツ活動を支える人・団体の育成と施設の適切な運営 |
|                            | 3 まちを創る基盤を整える「条件づくり」の推進         | ③町民の学びとまちづくりへの参加をつなぐ行政各分野の連携<br>④生涯学習、社会教育・体育施設・設備の整備と運営の充実                      |
|                            | 1 学びあい 共に支えあふるさとづくりの推進          | ④学びあい、支えあふ協働のまちづくりの推進<br>⑤特色ある絵本文化活動・交流活動の推進<br>⑥絵本体験・読書活動の推進と読書環境の整備            |
|                            | 2 まちを創る心と身体を育てる「芸術文化・スポーツ活動」の推進 | ④町ぐるみの健康運動、体力づくり活動の推進<br>⑤子どもの芸術文化・スポーツ活動の促進<br>⑥芸術文化・スポーツ活動を支える人・団体の育成と施設の適切な運営 |
|                            | 3 まちを創る基盤を整える「条件づくり」の推進         | ③町民の学びとまちづくりへの参加をつなぐ行政各分野の連携<br>④生涯学習、社会教育・体育施設・設備の整備と運営の充実                      |
| Ⅳ 町民が学びあい、支え合うふるさとづくりを進めます | 1 学びあい 共に支えあふるさとづくりの推進          | ④学びあい、支えあふ協働のまちづくりの推進<br>⑤特色ある絵本文化活動・交流活動の推進<br>⑥絵本体験・読書活動の推進と読書環境の整備            |
|                            | 2 まちを創る心と身体を育てる「芸術文化・スポーツ活動」の推進 | ④町ぐるみの健康運動、体力づくり活動の推進<br>⑤子どもの芸術文化・スポーツ活動の促進<br>⑥芸術文化・スポーツ活動を支える人・団体の育成と施設の適切な運営 |
|                            | 3 まちを創る基盤を整える「条件づくり」の推進         | ③町民の学びとまちづくりへの参加をつなぐ行政各分野の連携<br>④生涯学習、社会教育・体育施設・設備の整備と運営の充実                      |
|                            | 1 学びあい 共に支えあふるさとづくりの推進          | ④学びあい、支えあふ協働のまちづくりの推進<br>⑤特色ある絵本文化活動・交流活動の推進<br>⑥絵本体験・読書活動の推進と読書環境の整備            |
|                            | 2 まちを創る心と身体を育てる「芸術文化・スポーツ活動」の推進 | ④町ぐるみの健康運動、体力づくり活動の推進<br>⑤子どもの芸術文化・スポーツ活動の促進<br>⑥芸術文化・スポーツ活動を支える人・団体の育成と施設の適切な運営 |
|                            | 3 まちを創る基盤を整える「条件づくり」の推進         | ③町民の学びとまちづくりへの参加をつなぐ行政各分野の連携<br>④生涯学習、社会教育・体育施設・設備の整備と運営の充実                      |

## 第4章 今後取り組むべき施策

基本方針Ⅰ 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます

### 重点目標1 遊びを通した豊かな学びの推進

#### 【現状と課題】

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成や学びの基礎を培う重要なものであり、幼児が健やかに成長する環境の整備が求められます。また、将来、社会において自立的に生きる基礎を身に付けることができるよう、義務教育との円滑な接続を図ることが大切です。

剣淵町は、主に保育所における保育を通じ幼児期の教育を推進していますが、少子高齢化が進み子育て世代が減少している現状にあり、家庭における教育を支援するとともに各教育機関が連携し地域ぐるみで子育てを支える体制を整備する必要があります。

#### 【施策の方向性】

幼児期の遊びは就学後の豊かな学びの基礎となることから、保育所と小学校の連携を進めるとともに、小学校教育への適応を図る指導や就学相談の充実を図ります。

また、「子ども・子育て支援新制度」の考え方に沿って、関係機関、関係課と連携し、切れ目のない子育てや家庭教育の支援に努めます。

#### 【主な取り組み】

##### ① 質の高い幼児教育と保育の提供

- 保育所をはじめ各学校や関係機関、関係課の職員、担当で構成する教育支援委員会において、多角的な視点から個々の幼児に関わるケーススタディ（事例研究）を行うとともに、保育所における「子育て応援ファイル」（ビバカラスクラム）の普及と活用を通して、きめ細かで質の高い保育の提供に努めます。

##### ② 保育所と小学校の連携

- 日頃から保育所と小学校の間で情報交流と保育・教育の相互参観を進めるとともに、小学校入学時には指導情報の確実な引継ぎを行うなど、連携の強

化を図ります。

- 保育所における保育が小学校における学習に円滑に接続されるよう、小学校入学当初における柔軟で弾力的な教育課程の編成と実施に努めます（スタート・カリキュラム）。

### ③ 子育てと教育の相談・支援の充実

- 保護者が安心して子育て、教育できる環境をつくるため、乳幼児健診等と連携し「子育て応援ファイル」の配付、普及を図り、早期からの発達支援に努めます。
- また、教育課学校教育グループ内に設置した教育相談室を通じて、町民全体に対し子育てのほか、家庭教育や学校教育、教育全般に関わる情報提供を行うとともに、子どもの発達や教育に不安を抱える保護者に対し教育相談の機会を提供します。





## 基本方針Ⅰ 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます

### 重点目標２ 自らいきいきと学ぶ学習活動の推進

#### 【現状と課題】

今般の学習指導要領（平成 29 年 3 月告示。小学校令和 2 年度、中学校令和 3 年度全面実施）においては新たに「前文」が設けられ、これからの学校像及びその実現の要となる教育課程の編成・実施の在り方について次のように謳われています。

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標（教育基本法第 1 条及び第 2 条）の達成を目指しつつ、一人ひとりの児童（生徒）が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会をつくるという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

また、本編「総則」においては、生きる力の育成に当たっては、各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのか明確にしながら、教育活動の充実を図ることとし、その際は、子どもの発達の段階や特性等を踏まえ、次のことが偏りなく実現できるようにするものとしています。

- (1) 「知識及び技能が習得されるようにすること。」
- (2) 「思考力、判断力、表現力等を育成すること。」
- (3) 「学びに向かう力、人間性等を涵養すること。」

一方、本町の保護者や教職員は、今後の教育の在り方について次のような意識や考えをもっています。

◇第 2 次教育振興基本計画策定アンケートより◇

- 「小中学校の教育で力を入れてほしいこと、重視したい教育・学校の姿」
- ① 「他者への思いやりなど豊かな心の育成」（保護者 65%、教職員 76%）
  - ② 「自立のために必要な基礎的な学力の育成」（保護者 60%、教職員 71%）

- ③「一人一人がかけがえのない存在として尊重され、いじめのない学校」  
(保護者54%、教職員44%)
- ④「あいさつや礼儀など社会性の育成」(保護者54%、教職員39%)
- **「社会の創り手となる子どもたちの求められる資質や能力」**
  - ①「コミュニケーション能力」(保護者77%、教職員85%)
  - ②「問題解決能力」(保護者60%、教職員59%)
  - ③「多様な人々との協働と共生」(保護者41%、教職員46%)
  - ④「主体的な判断力や行動力」(保護者36%、教職員56%)
  - ⑤「発想力と創造力」(保護者36%、教職員41%)
- **「力を入れてほしい町教育施策」**
  - ①「子どもたちの体験学習の拡充」(保護者38%、教職員29%)
  - ②「I C Tやネット環境の整備」(保護者31%、教職員49%)
  - ③「就学と進学への支援」(保護者40%、教職員17%)
- **「学力向上に有効な取り組み」(教職員)**
  - ①「加配教員を活用した少人数指導」(61%)
  - ②「良好な人間関係づくりと共に学ぶ態度の育成(学級経営や自主的な活動)」  
(46%)
  - ③「アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)の実現」(39%)

このように、本町の保護者、教職員においても、新しい時代の学校づくりや教育への期待が大きいことから、学習指導要領の示すように、学校と家庭や地域社会との連携、協働により、学校、地域の実態を踏まえ町の特色を生かした教育に努めることが大切です。

### 【施策の方向性】

剣淵町の子どもたちが持続可能な社会の創り手として必要な資質や能力を身に付けることができるよう、地域の教育力や教育資源を積極的に活用し体験学習を拡充するとともに、各教科等における「主体的・対話的で深い学び」の実現などを通して、自ら学ぶ意欲や他者と共によりよく生きていこうとする態度の育成に努めます。

また、将来社会において自立的に生きる基礎を身に付けることができるよう、I C Tなどの教育環境の整備、個に応じた指導など学力向上の取組を進めていきます。

## 【主な取り組み】

### ① 子どもの学ぶ意欲を高める学習活動の充実

- 学校生活の基盤となる学級経営や児童会生徒会活動など自主的な活動を充実し、子どもたちの望ましい人間関係を育み、学びに向かう集団の育成に努めます。
- 校内研修の推進や教員の研修機会の確保などを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し授業改善を図り、児童生徒の共に学ぶ態度の育成に努めます。
- デジタル教材の配備や教員の技能向上等教材教具の研究開発を通して、分かりやすく魅力ある授業づくりに努めます。

### ② 生涯にわたる学びを育む学習活動の充実

- 総合的な学習の時間において、地域の教育資源・人材の活用や、フィールドワーク等協働して課題を解決する学習を推進し、地域社会に積極的に関わろうとする態度を育てます。中学校においては、職場体験学習などキャリア教育を推進します。
- 子どもたちの学校外の学習機会の確保に努めるとともに、地域の文化活動やスポーツ活動への参加を促します。
- 学校司書を配置し学校図書館の利活用の促進を図るとともに、I C T機器を活用した学習の推進により、生涯にわたって学ぶ基礎となる情報収集・活用能力の育成に努めます。

### ③ 一人ひとりに応じた学習指導の充実

- 1人1台端末の配備などI C Tやネット環境の整備を進め、一人ひとりに個別最適化された学習を進めます。
- 学級担任や教科担任による学習相談のほか、学習支援サポートスタッフによる支援やスクールカウンセラーによる相談等を通して、個々の学習の<sup>つまづ</sup>きに対応し支援していきます。

### ④ 学力向上の推進

- 全国学力・学習状況調査等の活用により、学校力向上の検証改善サイクルを確立し、少人数指導など指導方法や指導体制の工夫改善に努めていきます。
- 放課後や長期休業を活用した学習サポートを実施するとともに、家庭と連携し望ましい生活習慣や学習習慣の定着を図ります。

## 基本方針Ⅰ 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます

### 重点目標3 一人ひとりの学びと育ちにに応じた特別支援教育の充実

#### 【現状と課題】

特別支援教育については、学校教育法等の改正により平成19年4月1日から本格実施されています。この法改正により、特別支援学校制度が創設されるとともに、小中学校等においては「特殊教育」から名称変更され、教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うものとされました。今般の学習指導要領においては、「障害のある児童（生徒）などへの指導」に関して、次のように示されています（総則）。

障害のある児童（生徒）などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で児童（生徒）への教育的支援を行うため、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、各教科等の指導に当たって、個々の児童の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。特に、特別支援学級に在籍する児童（生徒）や通級による指導を受ける児童（生徒）については、個々の児童（生徒）の実態を的確に把握し、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、効果的に活用するものとする。

一方、近年増加の傾向が見られる発達障害に対する対応については、平成16年に制定された発達障害者支援法で、「発達支援」を「発達障害者に対し、その心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために行う個々の発達障害者の特性に対応した医療的、福祉的及び教育的援助」と定義し、「医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体相互の緊密な連携の下に、その意思決定の支援に配慮しつつ、切れ目なく行わなければならない」としています。その上で、市町村の教育委員会に対しては、「学校保健安全法第11条に規定する健康診断を行うに当たり、発達障害の早期発見に十分に留意しなければならない」としています。

また、これも近年憂慮される状況にある「不登校」については、発達障害も要因の一つとの指摘もあり、学習指導要領に示す「不登校児童（生徒）への配慮」を踏まえた支援や対応も求められるところです。

不登校児童（生徒）については、保護者や関係機関と連携を図り、心理や福祉の専門家の助言又は援助を得ながら、社会的自立を目指す観点から、個々の児童（生徒）の実態に応じた情報の提供その他必要な支援を行うものとする。

本町においては、今般実施したアンケートの結果から、4割の保護者が「力を入れてほしい町の教育施策」として「就学と進学への支援」を挙げ、半数近くが「子ども教育の安心」のためには「一人ひとりの発達に応じた支援」が必要と考えていることが分かっています。また、中学生においては、「私には、取り柄やよいところがある」とする自己肯定感がけっして高いとはいえない状況も見られます。このような状況を踏まえ、地域の実態に即した特別支援教育や発達支援の推進に努める必要があります。

### 【施策の方向性】

一人ひとりの子どもの発達を支え、学習上や生活上の困難を克服し自立を図るために、保育所や学校をはじめ医療、福祉、保健等の関係機関と幅広く連携し早い段階からの切れ目のない支援に努めるとともに、臨床心理士等の専門家の活用を図っていきます。

また、学校における特別支援教育の充実を図るため、教職員の専門性を高める研修を推進するとともに、支援員の配置等を通して指導体制の整備・充実に努めていきます。

### 【主な取り組み】

#### ① 早期からの一貫した教育相談・支援の充実

- 特別支援教育や発達支援に携わる関係者で構成する教育支援委員会を中心に、教育、医療、保健、福祉等の分野が綿密に連携し、発達障害等の早期発見に努め就学につなげるとともに、就学後も個別の支援の在り方についてきめ細かな相談を行っていきます。
- 早期から切れ目のない支援へとつなげていくために、「子育て応援ファイル」を乳幼児健診等で通じ配付、普及し、保育所や各学校での活用を進めていきます。
- 随時発生する子どもの発達上の課題や問題の解決を図るため、教育課学校教育グループ内に教育相談室を開設するとともに、教育相談員としてスクー

ルカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家を配置し、教育相談の機能の向上に努めます。

## ② 一人ひとりの多様なニーズに応じた教育の充実

- 「個別の教育支援計画」（「子育て応援ファイル」）の作成や活用を通し、個別の教育的ニーズを的確に把握し、特別な支援を必要とする全ての子どもの「個別の指導計画」を作成します。
- 通級指導、少人数指導、複数指導（ティーム・ティーチング等）及び合同学習を効果的に実施できる体制づくりを進めます。また、小中学校への学習生活支援職員の配置を進め、子どもたちの学習上や生活上の困難の克服に努めます。
- 教職員の専門性の向上と、特別支援教育や発達支援に対する保護者の理解を図るため、専門家等を招き研修会や講演会を実施します。



## 基本方針Ⅰ 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます

### 重点目標4 ふるさと剣淵から未来を思い描く教育の充実

#### 【現状と課題】

「重点目標2」の項で触れたように、今般の学習指導要領においては、「持続可能な社会の創り手」の育成が大きな課題となっています。剣淵町においても、少子高齢化や人口減少を前に、地域社会をいかに持続、発展させるかという課題に直面しています。そのため、学校においては、地域社会と連携、協働しながら創意ある教育を推進し、地域づくりの担い手となる子どもの育成に努める必要があります。

また、国際社会に目を向けると、2015年9月の国連サミットにおいて、SDGsが採択されています。SDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、国連加盟国193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。ここに示された17の目標と169のターゲットは、世界に生きる全ての人々が共有し達成に向け努力しなければならない課題であり、次世代の育成を担う教育の分野が果たす役割は大きいといえます。

このような地域社会や国際社会の情勢を踏まえ、ふるさと剣淵から未来を思い描く教育の推進に当たっては、自分たちが住む地域社会が抱える課題やSDGsに示す課題等を題材としながら探究的な学習などに取り組みさせることにより、積極的に社会に参画しようとする態度や国際貢献への意識を養うことが大切です。

#### 【施策の方向性】

剣淵町の子どもたちにふるさとへの愛着や誇りを育て、地域社会の発展や持続可能な社会づくりに積極的に関わろうとする態度を養うため、学校運営協議会の活動等を通して、郷土の自然や歴史、文化、産業などについて学び地域課題について考える機会をつくります。

また、国際感覚や国際貢献の意識を養うため、各教科等においてSDGsを題材とした学習を進めるとともに、ALTを小中学校、高校はもとより保育所にも派遣し、早期から外国語に慣れ親しみ積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。

## 【主な取り組み】

### ① ふるさと剣淵を実感する学びの充実

- 小学校社会科副読本の作成と活用、中学校における職場体験学習、総合的な学習の時間における地域素材を生かした探究的な学習など、地域学習を充実します。
- まちづくり子ども会議やタウンミーティングなど町の人と直接対話し町づくりについて考える学習を通して、子どもの問題意識や学習意欲を高めます。
- 「絵本の里けんぶち」の特色を生かした事業（読み聞かせや絵本づくり等）を推進し、ふるさとへの愛着や誇りを育てます。

### ② 自分らしさと自立した生き方を目指す学習活動の充実

- 各学校におけるキャリア教育の全体計画を作成するとともに、各学校間の連携を進め、主体的に自己のキャリア形成を図っていく態度を育てます。

### ③ 国際性を育む教育の充実

- 各教科の学習において積極的にSDGsを題材化するとともに教科横断的な学習を推進し、世界の多様性や異文化への理解を深めます。
- ALTを小中学校はじめ、保育所、高校にも派遣し、幼児期からネイティブ・スピーカーと交流しコミュニケーションを図る機会を確保するとともに、各学校段階を通じて外国語での実践的なコミュニケーション能力の育成に努めます。



## 基本方針Ⅰ 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます

### 重点目標5 豊かな人間性と健やかな身体を育む教育の充実

#### 【現状と課題】

中央教育審議会答申において、日本の子どもの現状について「自分に自信がある子どもが国際的に見て少ない」という指摘がありました。他にも「自制心や規範意識が希薄化している」、「生活習慣の確立が不十分」、「友だちや仲間のことで悩む子どもたちが増えている」、「人間関係の形成が難しかったり、不得手であったりする」などの指摘がされています。

さらに、平成25年には大津市で起きたいじめ自殺事件をきっかけに「いじめ防止対策推進法」が制定され、平成30年度からは（中学校は平成31年度）いじめ問題の克服を一つのねらいとして特別の教科「道徳科」が実施されるなど、学校における道徳教育の一層の充実が求められています。

本町の保護者については、今般のアンケートにおいて、その多くが「小中学校教育で力を入れてほしいこと」として「他者への思いやりなど豊かな心の育成」65%、「一人一人がかけがえのない存在として尊重され、いじめのない学校」60%、「あいさつや礼儀など社会性の育成」60%を挙げ、豊かな人間性や社会性の育成を重視しています。また、「社会の創り手として求められる資質や能力」についても「コミュニケーション能力」77%や「多様な人々との協働と共生」41%が大切と考えています。

一方、子どもたちの健康や体力については、全国体力・運動能力調査では、北海道の子どもたちの体力が全国平均に比べやや低い傾向が見られ、体力向上の取り組みを推進することが求められる状況にあります。

#### 【施策の方向性】

他者への思いやりの心など豊かな人間性を育成するため、「考え、議論する」道徳の授業をはじめ、ボランティア活動や自然体験等の体験活動を推進し、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の一層の充実に努めます。また、児童会生徒会活動や学校行事において、自主的、実践的な集団活動を工夫し、望ましい人間関係や他者と共によりよく生きる態度の育成を図ります。

たくましく生きるための健康や体力については、学校における指導の充実はもとより、家庭や地域と連携し、運動に親しみ健康で安全な生活をつくる態度の育成に努めます。

## 【主な取り組み】

### ① 生命を大切にし豊かな人間性を育む道德教育の充実

- 生命尊重や他者への思いやりの心など豊かな人間性を育むため、道德教育推進担当を中心に「考え、議論する」道德の授業研究を進めるとともに、参観日における授業公開などを通して家庭と連携し子どもの道德性の涵養に努めます。
- また、学校の教育活動全体を通じて、ボランティア活動や自然体験、障害のある人との交流や世代間交流など、体験や交流の機会を広げていきます。

### ② 互いに認め合い、高め合う豊かな人間関係を育む教育の充実

- 自主的、自治的な活動である児童会生徒会活動をはじめ、仲間と共につくり上げる学校行事の取り組みなどを通して、自他のよさを認め合い望ましい人間関係を築くとともに、よりよい集団や社会を形成しようとする態度を養います。

### ③ 人権教育の推進

- 人権に関する作文や標語の作成の取り組み、人権擁護に関する行事への参加などを通して、いじめを許さない態度や他者を分け隔てなく尊重する態度など、人権意識を養います。

### ④ 子どもの体力、運動能力の向上とスポーツ活動への参加促進

- 体力向上1校1実践など、学校生活の中に運動に親しむ時間を位置付けるとともに、家庭と連携して運動の習慣化を図ります。
- 部活動や少年団活動、クラブ活動を支援し、スポーツ活動への関心と参加意欲を高めます。
- 運動が苦手な子も参加しやすく、運動の楽しさを実感できる場と機会を、学校と地域が連携し提供していきます。



## 基本方針Ⅰ 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます

### 重点目標6 魅力ある高校づくりの推進

#### 【現状と課題】

令和3年度に創立70周年を迎える剣淵高等学校は、平成21年度に農業国際系列と生活福祉系列の2系列からなる総合学科への転換を行い魅力ある教育を実践してきました。

高校教育では、生徒たちが未来社会を自律的に生きぬくために必要な基礎的・汎用的・実践的な資質・能力、自身の生き方や進路を探究し未来の社会を切り拓く意欲や創造力などの育成、地域の産業や福祉・文化などを支える教育活動が求められています。現状では、少子化の進行による中学校卒業者数の漸減と高校選択の多様化が進み、入学生徒の確保が課題となっています。このため、農業と福祉の専門教育に加えて、生徒の興味・関心や進路志望の多様化に対応できるようカリキュラム編成を見直すことが必要となっています。

農業教育では、高齢化や労働力不足が進む北海道・道北地域の食と農業を担う人材の育成が課題です。

福祉教育では、高齢者介護に加えて、地域の福祉や保健・看護などに幅広く関わる人材の育成が課題です。

#### 【施策の方向性】

学校の使命や理念（スクールミッション）を「持続可能な未来の担い手づくり」と位置づけ、学校の目指す方向性を明確にします。

さらに、学校の魅力化のための三つの方針、①入学生の受入の方針、②教育課程の編成と実施の方針、③育成を目指す資質・能力に関する方針を整備します。

総合学科内に新たに普通教科を中心とした「未来のしんろ」系列を設け、「農業国際」系列、「生活福祉」系列と3系列が関連しあいながら、時代や地域社会の要請、生徒の要求に応え魅力ある教育活動を進めます。

グローバルな視点を持って地域の課題解決や魅力づくりを担う人材の育成を目的として、SDGsや絵本などに関する学習を取り入れます。

## 【主な取り組み】

### ① 持続的な社会を支える人材教育

- スクールミッションに基づき、持続可能な地域の自然、産業、社会、文化などを支える人材育成教育を推進します。
- 高校の魅力化の方針（スクールポリシー）に次の3点を掲げます。
  - (1) 地域の将来、地域の農業・福祉を支える強い志を持つ生徒を受け入れます。
  - (2) 総合学科の特徴を生かして、各専門分野の学習及び生徒の関心や進路に応じた学習ニーズに応えられる教育課程を編成、実施します。
  - (3) 育成を目指す資質・能力として
    - 1) 生徒の探究心を養うとともに、自律的に生きる力を育てます。
    - 2) 多様性を尊重し、自立と共生の心を持つ生徒を育てます。
    - 3) 持続的な地域社会や産業の発展を担う生徒を育てます。
- 生徒一人ひとりの目的や方向に応じた「学びの地図」を作成してキャリア支援、進路指導を進めます。
- 基礎学力をはじめ、課題解決力、情報活用能力、国際理解力、コミュニケーション能力など、実社会で生かせる実践力を育成します。

### ② 新たな地域の食と農業を支える人材の育成

- 農業の生産から加工・流通・販売までのプロセス、農産物の高付加価値化と食のブランド開発、農業の高度化・ICT化に対応したスマート農業及び食品安全・環境保全・労働安全などの農業生産工程管理（GAP）に関する国際基準・認証制度などの学習を進めます。
- 長期農業委託実習を見直し、地域との連携により学校農場を活用した農業プロジェクト学習、農業クラブ活動及び農業インターンシップの充実を図ります。

### ③ 地域の福祉・介護や保健・看護を支える人材の育成

- 福祉の心や知識・技能を育み、地域の福祉・介護や保健・看護などに幅広く関われる人材を育成します。
- 介護福祉士国家資格を取得し、高齢者福祉介護サービスを支える実践的な人材を育成します。

### ④ 「未来のしんろ」系列による新たな学校の魅力づくり

- 生徒の多様な進路に対応できるよう「未来のしんろ」系列を設け、普通教科を充実させ、基礎学力の向上を図るとともに、科学・技術・芸術などに関する教科横断的な学習により社会での実践力を高めます。
- 地域の様々な生活課題や産業課題などに着目し、その解決法を学ぶ探究的学習の時間を取り入れます。
- グローバルな視点を持って地域の魅力を創造する人材の育成を目的として、国連が掲げるSDGsや絵本に関する学習を取り入れます。

### ⑤ 生徒募集活動及び進路対策

- 中学校訪問、ホームページ・SNSによる学校や生徒募集情報の発信や体験入学などを進めます。
- 遠隔者寮のPRと道内外からの広域生徒募集を進めるとともに、通学圏からの入学者に対する通学費支援を実施します。
- 進路対策では、3系列ごとに大学等の進学先や企業就職先の開拓と体験入学・インターンシップ受入先及び指定校推薦枠の確保に取り組みます。

### ⑥ 学校・地域連携による学校づくりの推進

- コミュニティ・スクールや小中高連携教育の推進を図ります。
- 地域との協働により、積極的に地域活動や行事に参加し、地域課題の解決や地域の魅力化などに取り組みます。

## 基本方針Ⅱ 多様な学びを支える教育環境を整えます

### 重点目標1 安全・安心で快適な学校の整備

#### 【現状と課題】

学校施設は、子どもの学習・生活の場であるとともに、災害時などには災害避難場所としての役割も果たすことから、その安全性を確保するとともに防災機能を強化する必要があります。

本町の学校施設は、いずれも建設から年数が経過し、老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化等の改修整備が必要となってきます。教員住宅の継続した改善改修も課題となっています。

学校教育において、子どもの心身の健康保持、学校安全と安全教育、緊急時対応の体制整備を図る必要があります。

学校給食は子どもの健康を支える上で重要な役割を担うもので、安全で安心できるものでなければなりません。また、給食施設・設備の改善を進め、新型コロナウイルス感染症に配慮した衛生的な給食調理環境の充実を図る必要があります。

#### 【施策の方向性】

老朽化の進む学校施設の将来的なあり方について方向性を定め、施設長寿命化計画に基づく改修整備の具体化を図ります。

健康教育では、子どもたちの心身の健康の保持増進のための保健教育と学校保健、生命を尊重し安全な生活を送るための能力を育む安全教育と学校安全管理、望ましい食習慣を育むための学校給食と食育・給食指導を充実します。

地産地消を推進し、質の高い安全安心な給食を提供します。

#### 【主な取り組み】

##### ① 多様なニーズに対応する学校施設・設備の整備

- 今後の学校施設設置のあり方について検討協議を進め、方向性に関する合意形成を図り、学校施設長寿命化計画を作成し学校施設の改修整備方針を定めていきます。特に老朽化が進む小中学校と給食センターについては、多様化する教育内容に即した子どもたちの学習・生活の場、学校間や地域との交流・連携・協働活動の場、地域の防災避難場所などの機能に配慮した整備内

容の検討を行い、具体的な施設改修整備につなげていきます。

## ② 学校保健の充実

- 学校保健安全計画に基づく健康診断、健康観察、健康相談、疾病予防に取り組みます。
- 心のケア、薬物乱用防止教育・飲酒喫煙防止教育・感染症予防教育、食物アレルギー対策、歯と口腔の健康づくりなどを推進します。

## ③ 学校安全の充実

- 児童生徒の学校生活上の安全や登下校時の交通安全、防災安全など、学校安全計画に基づく安全管理と安全教育を進めます。
- 交通安全では、通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の点検調査を行い、通学路安全マップを作成し、危険箇所の把握と改善対策を進めるとともに、通学路街頭指導、自転車乗車指導、スクールバス乗車指導を実施します。
- 登下校時の安全対策では、被害防止教育の充実、子どもたちの緊急避難場所となる「子ども 110 番の家」の設置、スクールガードリーダーによる学校と通学路の巡回パトロールを進めます。
- 防災安全では、異常気象や荒天時の安全対応マニュアルに基づく防災教室、避難訓練を実施します。

## ④ 緊急・防災対応機能の向上

- 学校危機管理マニュアルを整備し、教職員の危機対応力を強化するとともに、メール機能等を活用した学校と保護者間の緊急連絡網を整備します。

## ⑤ 学校給食と食育・給食指導の充実

- 学校給食センターの衛生的な給食調理環境の充実を図ります。
- 給食使用食材検査を実施し、安全性の確保に努め、地場産食材を使用した質の高い安全安心な給食を提供します。
- 児童生徒の食物アレルギーの状況を把握し、保護者と教職員間の連携を図りながら適切な対応を進めます。各学校の教科や給食・総合的な学習の時間などを通じて、食を大切にする気持ち、食の安全、栄養と健康、正しい食習慣などについての指導を行います。
- 食の生産や食生活を支えている人への感謝の心を育みます。

## 基本方針Ⅱ 多様な学びを支える教育環境を整えます

### 重点目標２ 子どもの学びを支える多様な学習環境の整備

#### 【現状と課題】

子ども一人ひとりの能力を伸ばし、社会で自立して生きる力を育むためには、多様な学びを支える豊かな教育環境の整備が必要です。

子どもの学びを支え、豊かな心を耕す読書活動と子どもの安らぎの場である学校図書室環境の改善が課題となっています。

社会の急速な情報化に対応できる子どもたちの資質や能力の育成と、情報通信技術（ＩＣＴ）を活用した教育の情報化を図る必要があります。

また、学校施設を地域活動の拠点として活用することが求められています。

#### 【施策の方向性】

学校図書館設置基準に沿った図書室の環境改善・充実に努めます。

学校司書と教職員や学校図書ボランティアが連携し、学校図書館における子どもの読書活動の推進や学習情報センター機能の充実に努めます。

子どもたちの情報活用能力の育成と情報通信技術を活用した「分かりやすく深まる授業」の実現に向けたＩＣＴ教材の整備と教員の授業研究を推進します。

ＩＣＴ機器、校務支援システムの導入など教育の情報化により、教職員の校務負担を軽減し、教員が子どもたちに向き合う時間を確保することで、質の高い指導体制を実現します。

学校を児童生徒の学校間交流や地域交流体験活動、地域の生涯学習活動の拠点として活用できるように、学校施設内の交流スペースの整備と学校施設の地域開放を進めます。

#### 【主な取り組み】

##### ① 学校図書館の改善・充実

- 各学校が学校図書館設置基準に基づく学校図書館運営方針を定め、図書室の環境の改善と蔵書の充実に努めるとともに、学校司書を配置し、図書利用サービスの向上、図書室を活用した学習相談・学習情報提供・学習教材の作成支援、子どもたちの読書活動の推進などを進めます。



- 学校図書館の活性化に向けて、学校と絵本の館の合同研修を実施します。  
また、学校と絵本の館の図書利用サービスシステムの統合を進めます。
- 子ども読書推進プランに基づき、学校、家庭、地域及び絵本の館や関係団体が連携して、絵本巡回文庫、絵本作家による授業、絵本読み聞かせ会、朝読書、家読などを推進します。

## ② 子どもたちの情報教育と学校における情報化の推進

- 子どもたちが情報を集め、それを整理・編集し、わかりやすくまとめ、インターネットなどで発信・伝達する情報活用能力を育成します。
- コンピュータ室のインターネット環境整備と生徒用コンピュータ配備、全学級へのプロジェクターと実物投影機の配備、デジタル教科書の活用、撮影用のカメラ・ビデオの配備を進めるとともに、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図ります。

## ③ 学校施設の地域開放及び地域活動の拠点スペースの確保

- 学校体育館、学校図書館などを地域の生涯学習活動に生かす学校施設開放を推進します。
- 児童生徒の連携学習スペース、地域ふれあい交流スペース、地域協働活動の拠点スペースを確保します。



## 基本方針Ⅱ 多様な学びを支える教育環境を整えます

### 重点目標３ 学校力の向上と学校間連携の推進

#### 【現状と課題】

急速に変化する教育環境や多様化・複雑化する教育課題に対応するためには、教育の直接の担い手である教職員の資質向上はもとより、学校においても組織マネジメントの発想を生かし、校内組織の見直しや目標管理の手法による学校運営をはじめ、教員間の協力関係の構築や協働体制の確立やチーム力の育成など、総合的な組織としての力、学校力の向上を図る必要があります。

子どもの発達や成長の過程で生ずる課題として、いわゆる「小１プロブレム」、「中１ギャップ」、「高１クライシス」といった、就学と各学校段階間の接続において特に顕著に現れる諸問題が指摘されています。剣淵町においては、公立小中学校各１校の他、幼児期の教育を担う町唯一の機関として保育所と、全日制総合学科を有する町立の高等学校を抱えており、町民に対して保育所から始まり高等学校までの一貫した子育て、教育環境を提供することが求められます。このため、小中学校における義務教育９年間を見通した教育の推進とともに、小中学校のみならず、保育所及び高等学校も含めた教育連携を推進することが重要です。

#### 【施策の方向性】

教職員の資質向上とともに学校力の向上を図るため、関係機関と連携し研修機会の確保に努めるとともに、教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントや授業の工夫改善のための教育研究活動を推進します。

家庭や地域からの学校に対する信頼を確保するため、やり甲斐のある職場づくりや働き方改革、教職員の心身の保持増進を図るとともに、服務規律の徹底と使命感の醸成に努めます。

また、小中学校段階での義務教育９年間を見通した一貫した教育課程の編成に努めるとともに、小中高連携教育推進協議会を中心に学校間の教育連携を推進します。

## 【主な取り組み】

### ① 教職員の資質・能力の向上

- 学校職員評価などの取り組みを通して、学校の教育目標実現に向けた一人ひとりの課題や役割を明確にさせ、やり甲斐を引き出し使命感を醸成するとともに、OJTやメンターの活用などにより職務遂行能力の向上を図ります。
- 校内研修において、今日的な教育課題を取り上げ教職員の実践的指導力や対応力の向上を図るとともに、関係機関と連携し一人ひとりの経験や年代、職種や専門性に応じた研修の機会を確保します。

### ② 教育研究活動の推進

- 自校の校内研究に留まらず、学校間連携や近隣校との共同研究等を通じて実践的で開かれた研究活動を推進し、「分かる・できる・楽しい授業」の実現に努めます。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現」の視点から授業改善に取り組むとともに、保護者や地域住民への教育活動の公開や情報発信を積極的に行い、広く意見を聴取するなどして教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを推進します。

### ③ 教育指導体制の充実

- 学習生活支援職員、教育相談職員、スクールカウンセラーなどを学校に配置することにより学校のチーム力の向上に努めます。また、部活動の適正化教育の情報化、地域による学校支援活動などにより、教職員の職務環境を改善し子どもと向き合う時間を確保し指導体制の整備・充実を図ります。
- 教職員にあっては、共感的な理解などの児童生徒理解を深め、一人ひとりに寄り添った学習指導や生徒指導に努めます。

### ④ 教職員の服務規律の遵守

- 学校における服務規律の指導を徹底するとともに、管理職による面談等を通して教職員の心のケアを図り、不祥事の未然防止、撲滅に努めます。
- 教職員が健康で意欲的に職務を遂行できるよう保健相談と保健指導など適切な健康管理に努めます。

### ⑤ 保育所と学校間及び地域との連携・協働による教育活動の推進

- 保育所の子どもと小学生との交流及び小学生と中学生との交流を進めるとともに、就学や入学に当たっては体験入学等の小中学校体験の機会を設けます。

- 小中高連携教育推進協議会の活動を通して、児童生徒及び教職員間の交流、学校間の情報交流、共同の調査研究・研修活動などを推進します。
- 学社融合（学校教育と社会教育が一体となって子どもたちの教育に取り組むこと）の取り組みとして、児童生徒芸術文化活動、健康運動・スポーツ活動、望ましい生活習慣づくり、職業体験学習、読書推進活動、多様な青少年活動や地域間交流などを推進します。

## ⑥ 小・中学校 9 年間を見通した教育連携の推進

- 本教育振興基本計画に示す基本理念や基本方針を踏まえ、小中学校間でそれぞれの教育目標を重点化し系統性をもたせるとともに、教育振興基本計画施策体系と各学校の教育計画との整合性を図ります。
- 小学校教育までの学習の成果が中学校教育に円滑に接続され、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を子どもが確実に身に付けることができるよう、小学校、中学校それぞれにおいて義務教育 9 年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程の編成に努めます。

## ⑦ 小中一貫教育の検討協議

- 1 町 1 小中学校の教育環境を最大限に生かした小中一貫教育の実現について、教育内容や教育方法の面のみならず学校施設環境の在り方も含めて、検討協議を進めます。



## 基本方針Ⅱ 多様な学びを支える教育環境を整えます

### 重点目標4 学びのセーフティネットの充実

#### 【現状と課題】

全ての子どもがその学ぶ権利を保障され、持続可能な社会の創り手となるためには、学びのセーフティネットの構築が急務です。

近年の日本は、総労働人口の4割近くを非正規が占め、一人当たりのGDPも世界26位（2018年）に転落するなど世帯の収入が低下し経済格差が広がっている状況にあります。また、2019年における「子どもの貧困率」を見ると、17歳以下の子どもの約7人に1人が貧困状態あるとされています。

子どもの学校生活の大きな障壁となる「いじめ」については、積極的な認知により、特に小学校において認知件数が大幅に増加している状況にあり、その様態については、中学校、高等学校と上がるにつれ、ネット上の誹謗中傷等が増える傾向が見られます。小さいいじめも見逃さない取り組みとともにネットトラブルへの対応も含め情報モラルの育成が課題となっています。

また、年度間通算30日以上欠席した「不登校児童生徒」数は年々増加傾向にあり、平成30年度ベースで1000人当たり小学校は6.4人、中学校は39.5人となっています。不登校の要因としては、「『不安』の傾向がある」とする児童生徒が小学校、中学校ともに3割を超え最も多く、学校生活に対して心理的な不安を抱える児童生徒の様子が<sup>うかが</sup>えれます。

こうした状況を踏まえ、学校におけるいじめや不登校等の問題に対する対応力を向上させるとともに、一人ひとりの学びをきめ細かに支援する取り組みを進めることが重要です。

#### 【施策の方向性】

各学校における「学校いじめ防止基本方針」の検証・改善を進め、いじめの未然防止と撲滅に努めます。また、「町いじめ等対策連絡協議会」等の活動を通して、地域ぐるみの取り組みを進めます。

子どもの抱える困り感や不安、保護者のもつ子育てへの悩み等に対応するため、教育相談室と各学校が連携し教育相談体制の整備・充実に努めます。

また、子どもの学ぶ権利を保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学や進学に必要な支援を行います。

### ① 子どもが安心して学べる教育相談・支援体制の充実

- 子どもが学校生活に対する不安を払拭し安心して学ぶことができるようにするため、学校における教育相談を定期的に行うとともに全教職員で児童生徒理解を深め、一人を多くの目で見える体制を整備します。
- また、学校教育指導員の巡回相談とともにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家を学校に派遣し、不安や悩みをもつ子どもや保護者が相談できる体制を整備します。

### ② 学びに困難を抱えている子どもへの対応の充実

- 「いじめの問題」は子どもにとって学びへの障壁となっているため、「学校いじめ防止基本方針」の検証・改善を進め、学校における対応体制の強化を図るとともに、全教育活動を通じていじめの未然防止や撲滅の活動を推進します。
- また、地域における見守り体制を整備・強化するため、「町いじめ等対策連絡協議会」を中心に学校・家庭・地域・関係機関が連携し啓発活動等の取り組みを推進します。また、重大事態等の対応に当たっては、「町いじめ防止基本方針」に基づき町長部局や専門機関等と連携し、被害者の安全確保やいじめからの救済に努めます。
- ネットパトロールや家庭におけるメディア機器利用のルールづくり、ネットトラブル防止の啓発事業など、ネットコミュニケーション見守り活動を推進します。
- 「不登校」については入り口対応が重要であり、専門家等による相談窓口の確保に努めるとともに、教育相談室と学校が連携し学校復帰プログラムを作成するなどして対応を図ります。
- あらゆるマイノリティに対する正しい理解を深め、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進します。

### ③ 教育機会均等のための経済的支援・教育支援の充実

- 要保護・準要保護世帯の児童生徒に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費など学校生活に必要な援助を行う小・中学校就学支援事業を実施します。
- 高等学校や短期大学、大学、専修学校などに進学する学生・生徒に対して、奨学金の貸与を行います。
- 子育てや子どもの教育に不安や困難を抱える保護者に対する教育相談、教

育支援を実施するとともに、不登校等による未就学者の学びに対する支援を検討します。

## 基本方針Ⅲ 地域ぐるみで子どもを育てます

### 重点目標1 地域とともにある学校づくりの推進

#### 【現状と課題】

未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりをめざすことが大切です。

学校はこれまで以上に地域社会に関心を持ち、学校情報を積極的に発信し、地域の学校教育や子どもの成長への関心を高めるとともに、地域住民が学校運営に参画する仕組みを確立し、学校と地域が一体となって子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要があります。

また、本町は絵本の里としてまちづくりを進めています。地域の自然や人材などの資源を生かしながら絵本の里らしい特色ある学校活動（「地域ぐるみで学校を支援し子どもたちをはぐくむ活動」）を進めることが望まれます。

#### 【施策の方向性】

学校が積極的に教育活動の実施状況等についての情報を地域に公開し、地域住民の意見を聴き、学校運営に反映させ、地域による支援の下で、地域とともにある学校づくりを進めるため、保護者や地域住民等の学校運営への参画と地域による学校支援の体制を整備します。

また、学校の教育機能を町民の生涯学習活動に活用するなど、地域と学校が支えあう関係づくりを進めます。

さらに、「絵本の里けんぶち」の特性を生かした特色ある学校活動を推進していきます。

#### 【主な取り組み】

##### ① 学校情報の発信と学校評価の充実

- 地域の方々に対する学校公開を積極的に行うとともに、学校だよりの発行、学校のホームページによる学校情報の発信を進め、学校の様子を町民が理解できるよう努めます。



また、保護者や地域の方々による外部評価を学校運営に生かしていきます。

## ② 地域による学校運営参画の促進

- 地域とともにある学校づくりを推進するために、保護者と地域住民が学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）を小・中学校に設置します。
- 地域学校協働本部が中心となり推進する学校支援活動の活用による学校力の向上を図ります。

## ③ 生涯学習の場としての学校の活用

- 学校の教育機能を生涯学習活動に活用するため、健康づくりやスポーツ活動の場としての学校体育館の開放、地域の読書センターとしての学校図書館の開放、生涯学習に関する学校開放講座などを推進します。

## ④ 地域性を生かした特色ある学校活動の推進

- 「絵本の里けんぶち」らしい学校独自の創意工夫をこらした教育活動を展開することにより、児童生徒の「ふるさと・けんぶち」に対する愛郷心、帰属意識（アイデンティティ）を高め、「我が母校」に集う児童生徒間の絆を深めるとともに、こうした学校活動を地域との協働のまちづくり活動につなげていきます。
- 各学校の創意工夫あふれる学校づくりを支援するため、「特色ある学校づくり交付金」制度を実施します。





## 基本方針Ⅲ 地域ぐるみで子どもを育てます

### 重点目標２ 地域で子どもを守り育てる活動の推進

#### 【現状と課題】

家庭教育は教育の出発点であり、子どもたちが「社会の中で生きる力」を身につけていくためには家庭による教育が非常に重要ですが、価値観の多様化により、保護者の家庭教育に対する考え方も様々で、子育てや教育に不安や孤立を感じている家庭もあります。

保護者や教育関係者に対して、「教育を考える集い」などの学習機会の提供をはじめ、子供会育成会連合会、PTA 連合会への支援などを通じて家庭と地域の教育力を高め、子どもたちの学びと体験活動を支えていく必要があります。

青少年の見守り活動では、登下校見守り活動、祭典等パトロール活動、子どもたちの緊急避難場所「子ども 110 番の家」の設置などを行っています。

また、青少年の健全育成に関わる子ども標語コンクール作品の看板やポスターを町内各所に設置し、いじめ防止や交通事故防止の啓発に努めています。

また、健全な心身の育成を目的として少年団体リーダー養成研修会を継続実施し、新たな取り組みとして海洋性スポーツを通した BG 塾などを実施していきます。

地域学校協働活動は、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で子どもを守り育てることを目的として実施される活動ですが、地域ボランティアの確保が推進上の課題となっています。

#### 【施策の方向性】

家庭教育支援員を養成し、子育て家庭の家庭教育を地域ぐるみで支援し、青少年の健全育成と地域による見守り活動を推進します。

学校・家庭・地域の連携・協働により、学校支援活動や放課後・土曜日の学習・体験活動、BG 塾等による家庭教育の支援活動等を行う地域学校協働活動を推進します。

### 【主な取り組み】

## ① 子育て家庭の家庭教育の支援

- 家庭教育講座、学びカフェなど家庭教育に関する学習機会を設けていきます。
- 子育て支援ネットワークの整備に向けた研究を深めます。
- 家庭教育サポーターの養成・活用に向けた事業を推進します。

## ② 青少年の健全育成活動等の推進

- 青少年健全育成協議会を設置し、全町的な青少年の非行防止と健全育成、地域見守り活動を展開します。
- 子ども 110 番の家、街頭啓発放送、定期的な街頭パトロールなど青少年に関わる見守り活動を推進します。
- 標語コンクール、少年の主張など青少年の健全育成活動を推進します。
- 少年団体の活動を支援し、リーダーの育成に取り組みます。

### ③ 地域学校協働活動の推進

- 地域と学校が連携・協働して学校支援、放課後及び土曜日の学習、家庭教育支援、地域活動などを行うためのネットワークである地域学校協働本部を設置するとともに、推進員を配置し、事業の企画・立案・運営・連絡調整に関する事務を推進します。
- 子どもの生活習慣形成のため、BG 塾と連携した事業を推進します。



## 基本方針Ⅳ 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます

### 重点目標１ 学びあい 共に支えあう「ふるさとづくり」の推進

#### 【現状と課題】

ライフスタイルや価値観の多様化に伴い、人々の興味・関心や学習ニーズも多岐にわたります。子どもから高齢者までの全ての世代が生涯にわたっていつでも、どこでも自由に学び、その学習の成果を社会に活かしていくことができる“生涯学習社会”の実現に向けた取り組みが望まれます。

このため、人々が新しい知識や技術を習得し、社会状況の変化に対応していくための学習機会や学習情報を提供し、気軽に集い、学びあえる仲間づくりなどを支援する公民館の機能を高めていく必要があります。

また、地域社会への参画は、自身の生きがいづくりや自己実現につながることから、自らの学習活動と合わせて、学習成果やこれまで培った様々な知識、豊かな人生経験や技能を地域の中で活かしていくことが大切です。本町では、町民が時代に合った生活確立し、明るく住み良いまちづくりを進めていくために、地域・事業所・行政が協力し合い「新しいまちづくり運動」を展開しています。この運動は、町民の生涯学習活動を基盤とした協働のまちづくり活動ですが、時代の変化に対応した推進目標や推進体制の見直しを行いながら、持続可能な地域づくりを継続していく必要があります。

昭和 63 年に「けんぶち絵本の里を創ろう会」を中心に町民が主体となり始まった「絵本の里づくり活動」は、絵本の持つ自然観や生命観、優しさなどのイメージを活かした特色ある絵本文化活動へと発展し、町の知名度を高めてきました。現在は、農業や福祉・教育、観光、地域交流などの各分野へと波及しています。

読書推進では、絵本や読書に親しむ習慣が広く町民に普及しているとはまだいえない状況です。絵本の館の図書館的機能を高めるとともに、町民が広く読書に親しむ活動を促進していくことが望まれます。

また、町民が郷土の歴史や自然、文化、産業に対する関心を高め、より良き地域づくりに参加し、ふるさとを未来へ継承していくために、文化財の保護と郷土資料の保存及びふるさと学習用教材としての活用を図ることが必要です。

## 【施策の方向性】

郷土の歴史や伝統・文化への関心を高め、より良いふるさとづくりを推進するため、文化財や郷土資料の保存とふるさと学習への活用、郷土芸能の伝承活動への支援などを進めます。

公民館活動などを核にして、町民の生涯にわたる主体的で多様な学びを充実させ、その成果を地域に生かすことを通じて地域の活性化を図ります。

時代の変化に対応して、新しいまちづくり運動の見直しを行い、生涯学習を基盤とした協働のまちづくりを推進します。

絵本の里づくり活動の支援と絵本の館の適切な運営に努め、絵本の里らしい文化活動を推進します。

また、「第2期絵本の里けんぶち子ども読書推進プラン」に基づき、子どもの読書活動と読書環境の整備を推進します。

## 【主な取り組み】

### ① 文化財の保護、郷土資料の保存、伝統文化の保存・継承

- 郷土資料、文化財の適正な保存・整理とふるさと学習への活用に向け、郷土資料館の管理運営の改善と施設・設備の整備の検討を進めます。
- 郷土の歴史のDVDを活用しながら、ふるさとを学ぶ機会を提供します。
- 郷土芸能保存団体への支援を継続し、郷土芸能の伝承に努めます。

### ② 多様な課題に対応した学習機会の提供

- 公民館講座をはじめとする社会教育事業の充実に努めます。
- 地域課題や時代に即した学習機会の提供に努めます。
- 課題解決の担い手となる地域リーダーの育成に努めます。
- 高齢者学級を開設し、高齢者の生涯学習と社会参加や生きがいづくりを推進します。
- 町民団体が行う国際交流事業と連携し、国際理解活動を支援します。

### ③ 学習の成果を活かす仕組みづくり

- 高齢者の活躍の場づくりを推進します。
- 子どもの学びを支える地域学校協働活動推進ボランティアの養成と活用を進めます。

### ④ 学びあい、支えあう協働のまちづくりの推進

- 町民主体の生涯学習のまちづくりである新しいまちづくり運動推進委員会

が掲げる推進要綱に基づき、ふるさとづくり、ふれあいづくり、生活見直しの各運動の一環として、公民館活動を中心に、環境美化運動の春のクリーン作戦、花いっぱい運動の花壇造成と花苗配布、ふれあい運動の家族ふれあいデー・声かけ運動、生活見直し運動の冠婚葬祭の簡素化と時間励行などの取り組みを推進します。

- 新しいまちづくり運動推進委員会の組織と活動内容の見直しにあたって、地域と学校が協働して子どもの育成や地域活動を推進する地域ネットワーク組織である地域学校協働本部の役割を持つことについて検討します。

## **⑤ 特色ある絵本文化活動・交流活動の推進**

- 絵本の里を創ろう会、絵本の里づくり実行委員会と連携して、けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展などの絵本の里づくり事業を推進します。
- 絵本の里にふさわしい絵本文化の創造と文化交流活動を推進します。
- 全国の絵本館や絵本図書館等との間でネットワークを形成し、新たな絵本文化交流を推進します。
- 道内及び国内外の絵本作家等との交流及び招致活動を推進します。
- 絵本の里づくり活動の情報発信を行います。
- 絵本の館の図書資料収集方針に基づき、絵本や紙芝居等の収集と貸出閲覧などの図書利用サービスを充実させます。  
資料数が増え、手狭となってきた絵本の館の蔵書の収集保存の方策について検討していきます。
- 優れた絵本原画を収蔵し、収蔵絵本原画展等の特別企画展を開催するとともに、絵本文化の普及の観点から他施設への貸出を行います。
- 絵本原画収蔵館の有効活用方策について検討していきます。

## **⑥ 絵本体験・読書活動の推進と読書環境の整備**

- 子ども読書推進プランに基づき、ブックスタート、幼児絵本贈呈事業などによる親子の絵本体験や読み聞かせ等の普及、家読など大人と子どもの読書普及活動の推進と絵本の館や学校図書館の読書環境の整備を促進します。
- 情報化に対応した図書利用サービスの充実を図ります。
- 学校・社会教育施設等の図書ネットワーク化による「まちじゅう図書館」を推進します。

## 基本方針Ⅳ 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます

### 重点目標２ まちを創る心と身体を育てる「芸術文化・スポーツ活動」の推進

#### 【現状と課題】

芸術文化は、町民が心豊かな生活を送るうえで欠かせないものですが、本町の文化団体やサークルは、高齢化による会員の減少と固定化が進んでいます。町民の芸術文化活動の参加機会や芸術鑑賞機会を確保するとともに、町内で行われている活動について、町民に広く情報発信し、参加者の拡大を図っていく必要があります。

今日、超高齢社会においては健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる「健康寿命」を延ばすことが大切です。心身ともに健やかな生活を送ることを目的とした学習機会の提供やスポーツを通じた健康づくりを推進しなければなりません。

一方で、本町では、スポーツ団体が少なくなり、町民が多様なスポーツに接する機会が減ってきています。

子どもたちの間でも、日常生活で身体を動かす機会が減り、メディアに触れる時間や室内遊びが増え、外遊びやスポーツ活動の時間が確保できなくなってきています。

#### 【施策の方向性】

町民が気軽にスポーツや芸術文化に親しみ、より豊かで充実した生活を送ることができるよう、スポーツ・芸術文化活動への参加機会と活動成果の発表機会を拡充します。

また、地域の大人と子どもが共に体力・運動能力の向上とスポーツ活動に参加できる機会を提供していきます。

また、特色ある地域文化や地域スポーツの振興を図るとともに、文化・体育団体の活動を支援していきます。

#### ① 優れた芸術文化や多様な生涯スポーツに親しむ機会づくり

- 質の高い多様な芸術文化鑑賞機会を提供します。
- 各団体と連携を図り、各種スポーツ教室を開催します。

## ② 芸術文化・スポーツ活動の成果を発表する機会づくり

- 誰もが気軽に参加できる町民文化祭を開催します。
- 各団体と連携を図り、各種スポーツ大会を開催します。

## ③ 特色ある地域スポーツの振興

- 海洋性スポーツやチアリーディングなどの特色ある地域スポーツを推進します。

## ④ 町ぐるみの健康運動・体力づくり活動の推進

- 町の保健活動推進部局と連携して健康づくり講演会や健康運動教室を行います。
- 町民の健康運動・スポーツへの参加意識の高揚を目的として、毎年5月最終水曜日に全国で実施される（スポーツ）チャレンジデーに参加します。

## ⑤ 子どもの芸術文化・スポーツ活動の促進

- スポーツ少年団活動の支援を促進します。
- 子どもの文化・スポーツクラブ等への参加を促進します。

## ⑥ 芸術文化・スポーツ活動を支える人・団体の育成と施設の適切な運営

- 社会教育団体助成や競技大会・研修会参加助成を進めます。
- 社会教育施設、社会体育施設の整備と適正な管理運営に努めます。
- 生涯学習振興奨励事業を継続して実施していきます。



## 基本方針Ⅳ 町民が学びあい 支えあう ふるさとづくりを進めます

### 重点目標３ まちを創る基盤を整える「条件づくり」の推進

#### 【現状と課題】

パソコンやスマートフォンなどで様々な情報を入手する町民が増えており、生涯学習に関する情報をインターネットで取得できる体制を整えていくことが必要です。

また、生涯学習に関心の薄い人にも様々な事業・イベント情報を届け、それらへの興味や参加意欲の向上を目指し、参加者を増やしていくことが大切です。

社会情勢が激しく変化し、多様化が一層進行するなか、さまざまな課題解決に向けて、行政と民間による連携・協働活動を展開していくことが重要です。

本町ではこれまで、地域における学習・交流設備の整備を行ってきましたが、今後とも、町民が、いつでも、どこでも、生涯学習と文化・スポーツ活動に親しむことができる環境づくりを進めていく必要があります。改修や更新が必要な施設もあり、本町の生涯学習推進に向けての課題となっています。

#### 【施策の方向性】

町民のニーズに合った地域情報、学習情報を収集・発信できる体制づくりを進め社会教育職員体制や社会教育関係団体などの指導者育成の充実を図ります。また、学習活動や地域活動におけるリーダーやコーディネーターの育成に努めます。

多様化する住民ニーズに対応できるよう、施設の特徴を活かした施設整備・充実に努め、適正な管理・運営を進めます。

#### 【主な取り組み】

##### ① 生涯学習情報ネットワークの整備

- インターネットなどを活用して、生涯学習情報の提供と学習者間の情報交流の場を提供します。
- 広報紙やチラシ・ポスターなどによる生涯学習情報の提供の充実を図ります。



## ② 生涯学習、芸術文化、スポーツ活動を支える推進体制づくり

- 社会教育主事、社会教育関係職員の確保と資質の向上を図ります。
- 町民の学びを支援する補助制度等の継続、研究を進めます。
- 町民の学びを支援する相談体制の整備を進めます。

## ③ 町民の学びとまちづくりへの参加をつなぐ行政各分野の連携

- 町長部局が実施する事業と連携した生涯学習活動を推進します（健康教育、家庭教育、消費者教育、国際理解教育など）。

## ④ 生涯学習、社会教育・体育施設・設備の整備と運営の充実

- 既存施設の設備・備品の整備を図り、施設の有効活用に努めます。
- 今後の社会教育施設のあり方について検討協議を進め、施設長寿命化計画を作成して配置と運営の方向性に関しての合意形成を図ります。特に、資料館等の老朽化が進む施設の改善整備についての検討協議を進めます。



## 第5章 計画の推進に向けて

### 1 計画の推進体制

予測困難な社会における教育振興基本計画の5か年という計画期間は、過去の数十年に匹敵するような期間であるかもしれないことを踏まえ、このような変化の激しい時代にあっては、毎年PDCAサイクルを実施し、計画の進捗管理を行うことが重要となってきます。事業の実施にあたっては、評価を行い、常に計画の原点に立ち返りながら、本計画の掲げる教育目標達成に向け組織全体で取り組む必要があります。

#### (1) 関係機関等との連携

教育を取り巻く課題は、複雑化・多様化しており様々な観点から課題の解決を図っていく必要があります。そのため、学びのつながりを基本とする計画の推進体制を確保するとともに、国、北海道、その他町内外の関係機関等と連携協力を図っていきます。

#### (2) 家庭・地域社会との連携

未来を担う人を育み、生涯にわたる学びを実践するためには、社会全体で支えていく必要があります。本計画の推進に、家庭・地域社会はもとより、ボランティアの方々や企業支援などの多様な協力と参画を得て、教育のさらなる充実を目指します。

### 2 計画の進行管理

本計画を着実に推進していくために、PDCAサイクルの考え方に基づき、毎年度、施策の実施に対する成果や課題を評価、検証し、その結果を次年度の施策の推進や改善に反映させていくことを目指します。

#### (1) 教育委員会評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教

育行政事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の結果を次年度の施策の推進や改善に反映させていきます。

## **(2) 社会教育委員会評価**

教育振興基本計画を着実に実施するため、事務事業ごとの取組み状況等について、それぞれの事業内容や達成度を会議において定期的に検証し、その結果を次年度の施策の推進や改善に反映させていきます。

# 資料編

## 1 剣淵町教育振興基本計画策定懇話会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項の規定に基づく教育の振興のための施策に関する計画（以下「剣淵町教育振興基本計画」という。）の策定に当たり、必要な事項を検討し、幅広く意見を反映させるため、剣淵町教育振興基本計画策定懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇話会は、次の事項について検討する。

- (1) 剣淵町教育振興基本計画の策定に関すること。
- (2) その他懇話会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 懇話会は、おおむね16名の委員をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、学校教育関係者、各種団体の代表等のうちから教育委員会が委嘱する。

(会長及び副会長)

第4条 懇話会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は、会長が指名する。

3 会長は、懇話会を進行する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 懇話会の会議は、教育委員会が招集する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、令和3年3月31日までとし、欠員による補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、剣淵町教育委員会教育課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

## 2 剣淵町教育振興基本計画策定体制名簿

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 【教育委員会】

| 役 職      | 氏 名     | 備 考 |
|----------|---------|-----|
| 教育長      | 半 田 幸 清 |     |
| 教育長職務代理者 | 西 尾 敏   |     |
| 教育委員     | 山 根 昌 美 |     |
| 教育委員     | 安 田 弘 孝 |     |
| 教育委員     | 阿 部 里 美 |     |

### 【剣淵町教育振興基本計画策定懇話会委員】

|    | 区 分              | 氏 名     | 備 考      |
|----|------------------|---------|----------|
| 1  | 剣淵小学校            | 温 泉 敏   | 校長       |
| 2  | 剣淵中学校            | 襦 田 佳奈恵 | 校長       |
| 3  | 剣淵高等学校           | 芳 賀 雄 太 | 校長       |
| 4  | 剣淵町教頭会（剣淵小学校）    | 佐 藤 道 幸 | 教頭       |
| 5  | 剣淵町保育所           | 高 橋 勝 利 | 所長       |
| 6  | 剣淵町PTA連合会        | 佐 藤 圭 一 | 会長       |
| 7  | 剣淵町学校運営協議会（小中学校） | 高 井 俊 一 | 前会長      |
| 8  | 剣淵高等学校運営協議会      | 五十嵐 貴 彦 | 会長       |
| 9  | 剣淵町社会教育委員の会      | 金 村 哲 也 | 委員長      |
| 10 | 剣淵町スポーツ推進委員会     | 坂 本 太   | 委員長      |
| 11 | 剣淵町文化協会          | 田 中 茂 一 | 会長       |
| 12 | 剣淵町スポーツ協会        | 大 居 晴 彦 | 前会長      |
| 13 | けんぶち絵本の里を創ろう会    | 下 田 秀 樹 | 会長       |
| 14 | 学識経験者            | 小 柳 美 和 | 主任児童委員   |
| 15 | 学識経験者            | 北 川 真由子 | 小・中学校保護者 |
| 16 | 学識経験者            | 高 桑 千 晶 | 小学校保護者   |

### 事務局体制

全体総括 教育長 半田幸清

事務局長 課 長 金村良則

主 幹 高等学校事務長 中上充

主 幹 学校教育 参事 中上輝美

主 幹 社会教育 課長補佐 西岡将晴

副 担 当 学校教育 学校間連携指導員 寺川利幸 社会教育 主査 鈴木千尋（絵本の館）

学校教育 学校教育指導員 金子圭一 社会教育 主事 阿部純基

学校教育 主事 廣田幸汰 社会教育 主事 渡邊一宝（絵本の館）

社会教育 主事 兜森太喜

### 3 剣淵町教育振興基本計画策定までの経過

#### (教育委員会議)

| 期 日       | 内 容                                      |
|-----------|------------------------------------------|
| R2. 3. 26 | 令和2年第4回会議<br>・ 剣淵町教育振興基本計画策定懇話会設置要綱の一部改正 |
| R2. 4. 22 | 令和2年第5回会議<br>・ 剣淵町教育振興基本計画策定懇話会委員委嘱者を決定  |
| R3. 3. 18 | 令和3年第4回会議<br>・ 剣淵町教育振興基本計画概要を説明          |
| R3. 3. 26 | 令和3年第5回会議<br>・ 剣淵町教育振興基本計画を決定            |

#### (策定懇話会)

| 期 日        | 内 容                                       |
|------------|-------------------------------------------|
| R2. 7. 9   | 第1回会議<br>・ 説明及び意見交換～計画の趣旨、策定体制・スケジュール     |
| R2. 11. 17 | 第2回会議(書面会議)<br>・ 経過報告及び意見交換～アンケート結果、計画の構成 |
| R3. 3. 18  | 第3回会議<br>・ 経過報告及び意見交換～全章                  |

#### (その他)

| 期 日                | 内 容                                                                                                                                                             |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| R2. 7～8月           | 「児童生徒・保護者・教職員保護者アンケート調査」を実施<br>・ 小学校5, 6年生・中学2, 3年生 回収率87.2%<br>・ 小中学校保護者 回収率82.1%・小中高教職員 回収率87.2%<br>「町民の生涯学習に関する意識調査」を実施<br>・ 調査対象 300件(無作為抽出) ・回収率 138件(46%) |
| R3. 4. 9<br>～4. 30 | パブリックコメント<br>～ホームページにより計画(案)に対する意見聴取                                                                                                                            |

## 4 「剣淵町教育振興基本計画に係るアンケート調査」結果

### ～教職員編～結果

【問1】あなたは、日々の業務についてどのようなことを感じていますか。

次の（１）～（５）の内容に対して、当てはまるものに○をしてください。

「その他」があれば記入してください。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | そう<br>思う<br>A | ば<br>そう<br>思う<br>B | ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>C | ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と<br>い<br>え<br>D |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| （１）自分の仕事が児童生徒の成長や保護者の満足に繋がっていると実感できる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 7             | 27                 | 6                                    | 0                                    |
| （２）職員間の同僚性が高まり働きやすい職場になっている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 7             | 25                 | 7                                    | 1                                    |
| （３）学校運営上自分の役割を果たすことができていると思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 5             | 33                 | 2                                    | 0                                    |
| （４）業務量の削減や効率化など業務改善が進んでいる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 2             | 5                  | 22                                   | 11                                   |
| （５）新しい教育や新規業務に取り組むことにやり甲斐を感じる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 11            | 19                 | 7                                    | 3                                    |
| （その他）<br>・コロナ対応で今年度は難しいことが多い。業務量は変わらない。<br>・（５）新しい教育や新規業務は設備の充実が必要な場合があります。現場の声を聞いていただけるとありがたいです。<br>・（４）効率化については、更なる意識改革が必要。<br>・（５）新しいことに取り組むことは、やりがいを感じますが、それに対する十分な教育予算の配分をお願いしたい。「子どもたちのために」<br>・仕事の持ち帰りが増えました。現状では授業準備や分掌業務は持ち帰っております。業務量の削減のため、人を増やしていただきたいです。教科指導３学年分、特別支援の個別指導（教材開発含む）、分掌代表、週１回の担任業務、４週に１度の道徳授業、週１回の消毒作業、部活動等々慌ただしく、じっくり生徒と向き合えません。向き合う時間が欲しいです。お願い致します。<br>・負担にならないものであれば良いが、新しい業務を教職員が始めていくことは、業務改善に反すると思う。 |               |                    |                                      |                                      |

【問2】あなたは、どのような教育あるいは学校の姿を重視すべきと考えますか。

次の中から５つ選んで○をしてください。

「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                      |    |
|----------------------|----|
| ① 自立のために必要な基礎的な学力の育成 | 29 |
| ② たくましく生きていくための体力の育成 | 10 |
| ③ 基本的な生活習慣と規範意識の育成   | 21 |

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| ④ あいさつや礼儀など社会性の育成                | 16 |
| ⑤ 他者への思いやりなど豊かな心の育成              | 31 |
| ⑥ 学校への愛着とふるさとへの誇りを育てる教育          | 1  |
| ⑦ 外国語教育などグローバル化に対応した教育           | 2  |
| ⑧ I C T活用など社会の変化に対応した教育          | 7  |
| ⑨ 個々の特性に応じ発達を支える特別支援教育           | 11 |
| ⑩ ボランティア活動や職業体験など体験活動の推進         | 5  |
| ⑪ 子どもたちが生き生きと活動し感動をつくる学校行事       | 7  |
| ⑫ 少年団活動や部活動など課外活動の充実             | 3  |
| ⑬ 個性を磨き、将来の夢や希望をはぐくむ学校           | 24 |
| ⑭ 一人一人がかけがえのない存在として尊重され、いじめのない学校 | 18 |
| ⑮ 子どもや保護者一人一人の悩みや課題に親身に向き合う学校    | 8  |
| ⑯ 小中連携教育や高等学校への円滑な接続など学校間連携      | 1  |
| ⑰ 学校運営や教育活動への保護者や地域住民の積極的な参画     | 3  |
| ⑱ 安全・安心な教育環境の整備                  | 13 |
| ⑲ その他                            | 0  |

【問3】あなたは、児童生徒の学力向上のためにどのような取り組みが有効だと思いますか。  
次の中から3つ選んで○をしてください。  
「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| ① 加配教員を活用した少人数指導                     | 25 |
| ② 道教委作成の「チャレンジテスト」の活用                | 2  |
| ③ 放課後や長期休業中の学習サポート                   | 2  |
| ④ 担任・教科担任による個別相談                     | 3  |
| ⑤ 課題や自主学習など家庭学習の習慣づくり                | 8  |
| ⑥ I C Tの積極的な活用                       | 4  |
| ⑦ 学校生活（集団生活）への適応と基本的な生活習慣づくり         | 13 |
| ⑧ 良好な人間関係づくりと共に学ぶ態度の育成（学級経営や自主的な活動）  | 19 |
| ⑨ 将来の進路や学ぶ意義について考えさせる指導（進路指導）やキャリア教育 | 13 |
| ⑩ アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）の実現       | 16 |
| ⑪ 学校課題の解決を図る校内研究の推進                  | 1  |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| ⑫ 教員の研修機会の確保                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 8 |
| ⑬ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任の教材研究をする時間の確保(空き時間をつくる)。</li> <li>・専科</li> <li>・高学年における教科担任制</li> <li>・⑦良好な家庭環境と保護者の意識。</li> <li>・⑬教職員の心と時間の余裕。</li> <li>・教職員定数の改善若しくは20人学級の実現。</li> <li>・ICT活用</li> <li>・小中高一貫教育、実績のある教員の確保</li> <li>・資格取得に関わる検定料補助(高校は合格した検定のみ補助。小中と同じにしてほしい) 検定の実施(小学校で漢検など受けられるとよい。土別はやっている。)</li> </ul> |   |

【問4】あなたは、学校間連携でどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

次の中から3つ選んで○をしてください。

「その他」を選んだ場合は、( )に記入してください。

|                                                                                                                            |    |              |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------|----|
| ① 児童生徒の交流                                                                                                                  | 9  | ② 教職員の交流     | 19 |
| ③ 地域住民との交流                                                                                                                 | 3  | ④ 情報の交流      | 22 |
| ⑤ 乗り入れ授業                                                                                                                   | 6  | ⑥ 教育目標の系統化   | 10 |
| ⑦ 一貫カリキュラムの開発                                                                                                              | 4  | ⑧ 学校行事での相互協力 | 3  |
| ⑨ 共同・合同学習                                                                                                                  | 4  | ⑩ 中1ギャップの解消  | 5  |
| ⑪ 上級学校と連携した進路指導                                                                                                            | 19 | ⑫ 系統的なキャリア教育 | 11 |
| ⑬ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携について考えられるようなゆとりがない。忙しすぎる。</li> <li>・教師・大人には、敬語を使うなど礼儀ルールモラルの指導。</li> </ul> |    |              |    |

【問5】あなたは、これからの社会の創り手となる子どもたちに求められる資質や能力はどのようなものだと思いますか。次の中から3～4つ選んで○をしてください。

「その他」を選んだ場合は、( )に記入してください。

|               |    |                |    |
|---------------|----|----------------|----|
| ① 問題解決能力      | 24 | ② 科学技術の知識・技能   | 2  |
| ③ コミュニケーション能力 | 35 | ④ プレゼンテーション能力  | 5  |
| ⑤ 語学力や国際感覚    | 3  | ⑥ ふるさとを愛する心    | 2  |
| ⑦ 社会貢献の精神     | 2  | ⑧ 多様な人々との協働と共生 | 19 |
| ⑨ 発想力や創造力     | 17 | ⑩ 深い思考力        | 5  |
| ⑪ 幅広い教養       | 2  | ⑫ 健康、体力        | 8  |
| ⑬ 主体的な判断力や行動力 | 23 |                |    |
| ⑭ その他         |    |                |    |

【問 6】あなたは、今後、教職員にはどのような資質や能力が求められると思いますか。  
次の中から 5 つ選んで○をしてください。  
「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                                             |    |                  |    |
|-----------------------------------------------------------------------------|----|------------------|----|
| ① カリキュラム開発力                                                                 | 6  | ② I C T 活用力      | 8  |
| ③ 企画運営力                                                                     | 8  | ④ 危機管理能力         | 18 |
| ⑤ カウンセリングやコーチングの能力                                                          | 15 | ⑥ 多様な学びの構想力      | 16 |
| ⑦ 教育の専門知識                                                                   | 15 | ⑧ 地域社会とのコーディネート力 | 4  |
| ⑨ 特別支援教育の知見                                                                 | 13 | ⑩ 教育に対する使命感と情熱   | 12 |
| ⑪ 教育理念（哲学）                                                                  | 3  | ⑫ 学び続ける姿勢        | 21 |
| ⑬ 深い教養と豊かな人間性                                                               | 23 | ⑭ 子どもたちへの愛情      | 19 |
| ⑮ その他<br>・ 情勢を見極め、学校の常識を改善しようとする姿勢。勤務時間を守ること。<br>・ 幅広い視野、苦手な分野の業務から目を背けないこと |    |                  |    |

【問 7】あなたは、剣淵町の特色ある教育としてどのような分野に重点をおくとよいと思いますか。  
次の中から 3 つ選んで○をしてください。  
「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                       |   |              |    |
|---------------------------------------|---|--------------|----|
| ① 環境                                  | 6 | ② 福祉         | 26 |
| ③ 情報                                  | 6 | ④ 産業         | 21 |
| ⑤ 自然                                  | 9 | ⑥ 職業体験       | 11 |
| ⑦ 健康・体力                               | 5 | ⑧ 運動・スポーツ    | 6  |
| ⑨ 文化・芸術                               | 8 | ⑩ 地域の歴史、伝統文化 | 5  |
| ⑪ 国際交流                                | 3 | ⑫ 地域間交流      | 3  |
| ⑬ わからない                               | 3 |              |    |
| ⑭ その他<br>・ 地域振興                  ・ 農業 |   |              |    |

【問 8】あなたは、今後町ではどのような教育施策に力を入れるべきだと考えますか。  
次の中から 3 ～ 4 つ選んで○をしてください。  
「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                 |    |                   |    |
|-----------------|----|-------------------|----|
| ① 子どもたちの体験学習の拡充 | 12 | ② 地域の教育資源・人材の活用促進 | 15 |
| ③ ふるさと学習の推進     | 2  | ④ I C T やネット環境の整備 | 20 |
| ⑤ プログラミング教育     | 0  | ⑥ 外国語教育や国際交流      | 3  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                |    |                |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----|
| ⑦ 主権者教育                                                                                                                                                                                                                                                        | 4  | ⑧ 豊かな心を育てる道徳教育 | 6  |
| ⑨ 一人一人の特性に応じた特別支援教育                                                                                                                                                                                                                                            | 11 | ⑩ 体育活動や文化活動の充実 | 3  |
| ⑪ 教育相談体制の充実                                                                                                                                                                                                                                                    | 5  | ⑫ 小中連携一貫教育の推進  | 6  |
| ⑬ 家庭学習への支援                                                                                                                                                                                                                                                     | 6  | ⑭ 就学と進学への支援    | 7  |
| ⑮ 教員の働き方改革                                                                                                                                                                                                                                                     | 16 | ⑯ 学校施設の整備      | 19 |
| ⑰ 公共施設の整備                                                                                                                                                                                                                                                      | 5  |                |    |
| ⑱ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭への教育活動の啓蒙。学校でも行っていますが、その他の機関からでもできるとよい。</li> <li>・ 少子化に対応した個に応じた学習指導等</li> <li>・ ⑮教員数を増やした手厚い教育。</li> </ul> 剣淵町で子供を育てたいと思い永住しました。今でもその気持ちに変わりありません。これからの子供達にも素晴らしい教育を提供できるよう、素晴らしい人材（教育関係者）が集まる街であってほしいと思います。 |    |                |    |

## ～小学生編～結果

【問１】あなたの学年を教えてください。

|      |     |      |     |    |  |
|------|-----|------|-----|----|--|
| 5 年生 | 1 1 | 6 年生 | 2 2 | 不明 |  |
|------|-----|------|-----|----|--|

【問２】次の（１）～（１５）の内容で、あなたに「当てはまる」場合はＡ、「どちらかといえば当てはまる」場合はＢ、「どちらかといえば当てはまらない」場合はＣ、「当てはまらない」場合はＤに○をしてください。

|                                                   | 当てはまる<br>A | どちらかといえば<br>当てはまる<br>B | どちらかといえば<br>当てはまらない<br>C | 当てはまらない<br>D |
|---------------------------------------------------|------------|------------------------|--------------------------|--------------|
| （１）学校は、友だちにも会え、いろいろな活動があり楽しい。                     | 2 8        | 3                      | 2                        | 0            |
| （２）学校の授業は、教え方が分かりやすく楽しい。                          | 1 8        | 1 2                    | 3                        | 0            |
| （３）学校の先生は、私のことを分かってくれ身近に感じる。                      | 1 7        | 1 4                    | 2                        | 0            |
| （４）私には、取り柄やよいところがある。                              | 1 8        | 1 2                    | 3                        | 0            |
| （５）私は、勉強して人の役に立つ人間になりたいと思う。                       | 2 0        | 1 0                    | 2                        | 0            |
| （６）私には、叶えたい夢や実現したい目標がある。                          | 2 1        | 8                      | 2                        | 2            |
| （７）いじめは、人を悲しい思いにさせどんなことがあってもよくない。                 | 3 1        | 1                      | 0                        | 1            |
| （８）私には、不安や悩みを相談できる人がいる。                           | 2 5        | 7                      | 1                        | 0            |
| （９）私は、読書好きでよく本を読む。                                | 1 5        | 6                      | 7                        | 4            |
| （１０）地域の行事やボランティア活動に参加するようにしている。                   | 1 4        | 1 2                    | 3                        | 4            |
| （１１）外国の人との交流やコミュニケーションに興味がある。                     | 9          | 8                      | 1 0                      | 5            |
| （１２）毎日、朝ご飯を食べている。                                 | 2 9        | 3                      | 1                        | 0            |
| （１３）毎日、自分の学年に必要とされる時間、家庭学習に取り組んでいる。（小学生は「学年×１０分」） | 9          | 1 3                    | 9                        | 2            |
| （１４）１週間あわせて６０分程度あるいはそれ以上、何かしらの運動に取り組んでいる。         | 1 9        | 8                      | 5                        | 1            |

|                                            |     |     |   |   |
|--------------------------------------------|-----|-----|---|---|
| (15) ゲームやスマホなどのメディア機器は、家で決めたルールを守って利用している。 | 1 5 | 1 0 | 4 | 4 |
|--------------------------------------------|-----|-----|---|---|

【問 3】あなたが学校で楽しいと思う時間や活動は何ですか。当てはまるものすべてを選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                              |     |             |     |
|------------------------------|-----|-------------|-----|
| ① 教科の学習                      | 9   | ② 総合的な学習の時間 | 1 5 |
| ③ 道徳の学習                      | 1   | ④ 学校行事      | 1 5 |
| ⑤ 児童会活動                      | 7   | ⑥ 学級活動      | 8   |
| ⑦ 遊び時間                       | 2 8 | ⑧ 給食の時間     | 1 9 |
| ⑨ 係活動や当番活動                   | 3   | ⑩ クラブ活動     | 2 3 |
| ⑪ 特にない                       | 1   |             |     |
| ⑫ その他<br>・ 自習時間の読書<br>・ パソコン |     |             |     |

【問 4】あなたが得意だったり好きな教科や学習は何ですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。

|        |     |             |     |
|--------|-----|-------------|-----|
| ① 国語   | 9   | ② 社会        | 1 3 |
| ③ 算数   | 1 3 | ④ 理科        | 1 7 |
| ⑤ 音楽   | 9   | ⑥ 図画工作      | 2 3 |
| ⑦ 体育   | 2 4 | ⑧ 家庭        | 9   |
| ⑨ 外国語  | 1 2 | ⑩ 道徳        | 5   |
| ⑪ 学級活動 | 7   | ⑫ 総合的な学習の時間 | 1 3 |
| ⑬ 特にない | 0   |             |     |

【問 5】あなたがこれから大事になってくると思う教科や学習は何だと思いますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。

|          |     |               |     |
|----------|-----|---------------|-----|
| (ア) 国語   | 2 3 | (イ) 社会        | 2 1 |
| (ウ) 算数   | 2 8 | (エ) 理科        | 1 5 |
| (オ) 音楽   | 6   | (カ) 図画工作      | 9   |
| (キ) 体育   | 1 8 | (ク) 家庭        | 1 3 |
| (ケ) 外国語  | 2 3 | (コ) 道徳        | 1 3 |
| (サ) 学級活動 | 4   | (シ) 総合的な学習の時間 | 1 8 |
| (ス) 特にない | 1   |               |     |

【問 6】自分のよいところをあげるとしたら、どんなところがありますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|               |     |                 |     |
|---------------|-----|-----------------|-----|
| ① 親切          | 9   | ② 性格が明るい        | 7   |
| ③ 友だちが多い      | 1 9 | ④ 元気がいい         | 1 4 |
| ⑤ 積極的         | 5   | ⑥ 公平、差別をしない     | 9   |
| ⑦ よく考えてから行動する | 6   | ⑧ 好きなことがある      | 2 4 |
| ⑨ 得意なことがある    | 2 3 | ⑩ 勉強ができる        | 5   |
| ⑪ スポーツが得意     | 1 2 | ⑫ まじめ           | 3   |
| ⑬ 家の手伝いをする    | 1 1 | ⑭ ずるいことが嫌い      | 3   |
| ⑮ 落ち着いている     | 6   | ⑯ 夢がある          | 1 4 |
| ⑰ 物事に熱中する     | 7   | ⑱ 友だち思い         | 1 3 |
| ⑲ 家族思い        | 1 2 | ⑳ くじけない         | 6   |
| ㉑ 努力家         | 7   | ㉒ 素直、自分の間違いを認める | 9   |
| ㉓ あいさつができる    | 2 0 | ㉔ 礼儀正しい         | 8   |

【問 7】あなたが日頃気にしたり、悩んだりすることがあるのは何ですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                |     |            |     |
|----------------|-----|------------|-----|
| ① 友だちのこと       | 1 1 | ② 家族のこと    | 1   |
| ③ 学校のこと        | 6   | ④ 勉強のこと    | 6   |
| ⑤ からだのこと       | 1   | ⑥ 進路、将来のこと | 4   |
| ⑦ 遊びのこと        | 2   | ⑧ SNSのこと   | 1   |
| ⑨ わからないことで気にする | 1   | ⑩ 特にない     | 1 7 |
| ⑪ これからの社会のこと   | 4   |            |     |

※SNS＝ソーシャル・ネットワーキング・サービス（ラインやツイッターなど）

【問 8】あなたは悩みや不安を感じたとき誰に相談しますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。

|                    |     |                  |     |
|--------------------|-----|------------------|-----|
| ① 親                | 2 6 | ② きょうだい          | 6   |
| ③ その他の家族           | 2   | ④ 親戚の人           | 0   |
| ⑤ 学校の先生            | 1 6 | ⑥ 友だち            | 1 8 |
| ⑦ 親しくしている大人        | 0   | ⑧ スクールカウンセラーや相談員 | 0   |
| ⑨ 相談電話             | 0   | ⑩ 誰にも相談しない       | 2   |
| ⑪ 自分で解決する          | 7   |                  |     |
| ⑫ その他<br>・オンラインの相手 |     |                  |     |

【問 9】あなたは、どのような点で成長したいと思っていますか。当てはまるものを3つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                              |     |               |     |
|------------------------------|-----|---------------|-----|
| ① 学力                         | 1 4 | ② 体力          | 2 3 |
| ③ コミュニケーション力（考えを伝える、相手を理解する） |     |               | 1 0 |
| ④ リーダーシップ                    | 4   | ⑤ 感謝の心        | 7   |
| ⑥ 強い意思                       | 7   | ⑦ 仲間を大事にする    | 1 7 |
| ⑧ 夢や目標をもって生活する               | 5   | ⑨ 向上心         | 4   |
| ⑩ 最後までやり抜く                   | 1 0 | ⑪ まじめに努力する    | 4   |
| ⑫ 新しいことに挑戦する                 | 6   | ⑬ 自分の得意なことをもつ | 4   |
| ⑭ 人のことを考え行動する                | 5   | ⑮ 特にない        | 1   |
| ⑯ 思いやりの心                     | 6   |               |     |

【問 10】あなたは、放課後や学校が休みのときどのように過ごしていることが多いですか。当てはまるものを3つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                                                                       |     |              |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|-----|
| ① 勉強                                                                                                  | 1 0 | ② 読書         | 8   |
| ③ テレビやゲーム                                                                                             | 2 5 | ④ スマホ        | 4   |
| ⑤ 塾や習い事                                                                                               | 1 1 | ⑥ 友だちと遊ぶ     | 2 0 |
| ⑦ 少年団活動                                                                                               | 1 3 | ⑧ 町の公共施設で過ごす | 2   |
| ⑨ 家族と過ごす                                                                                              | 1 4 | ⑩ 家の手伝い      | 7   |
| ⑪ 自分の趣味                                                                                               | 6   |              |     |
| ⑫ その他<br>・ Y o u T u b e                      ・ 学校が休みの日にアルパカ牧場へ行く<br>・ 絵かき、マンガをかく              ・ おでかけ |     |              |     |

【問 11】あなたが剣淵町を「ふるさと」と感じるときはどのようなときですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                |     |                        |     |
|----------------|-----|------------------------|-----|
| ① 家族と一緒にいるとき   | 1 5 | ② 学校で皆と一緒に勉強したり遊んでいるとき | 2 0 |
| ③ 地域の自然に触れたとき  | 1 1 | ④ 地域行事に参加したとき          | 1 1 |
| ⑤ 町の施設を利用したとき  | 8   | ⑥ 町の良さを教えてもらったとき       | 1 1 |
| ⑦ 町の人に親切にされたとき | 1 1 | ⑧ 自分の将来を考えるととき         | 2   |
| ⑨ 町の未来を考えるととき  | 2   | ⑩ 町の外に出かけたとき           | 1 4 |
| ⑪ あまり感じない      | 6   |                        |     |

## ～中学生編～結果

【問１】あなたの学年を教えてください。

|     |    |     |    |    |   |
|-----|----|-----|----|----|---|
| 2年生 | 19 | 3年生 | 27 | 不明 | 3 |
|-----|----|-----|----|----|---|

【問２】次の（１）～（１５）の内容で、あなたに「当てはまる」場合はＡ、「どちらかといえば当てはまる」場合はＢ、「どちらかといえば当てはまらない」場合はＣ、「当てはまらない」場合はＤに○をしてください。

|                                                   | 当てはまる<br>A | どちらかといえば<br>当てはまる<br>B | どちらかといえば<br>当てはまらない<br>C | 当てはまらない<br>D |
|---------------------------------------------------|------------|------------------------|--------------------------|--------------|
| （１）学校は、友だちにも会え、いろいろな活動があり楽しい。                     | 28         | 19                     | 1                        | 1            |
| （２）学校の授業は、教え方が分かりやすく楽しい。                          | 10         | 33                     | 6                        | 0            |
| （３）学校の先生は、私のことを分かってくれ身近に感じる。                      | 10         | 25                     | 9                        | 5            |
| （４）私には、取り柄やよいところがある。                              | 9          | 18                     | 17                       | 4            |
| （５）私は、勉強して人の役に立つ人間になりたいと思う。                       | 18         | 17                     | 12                       | 2            |
| （６）私には、叶えたい夢や実現したい目標がある。                          | 20         | 10                     | 13                       | 6            |
| （７）いじめは、人を悲しい思いにさせ、どんなことがあってもよくない。                | 40         | 6                      | 2                        | 1            |
| （８）私には、不安や悩みを相談できる人がいる。                           | 26         | 11                     | 8                        | 4            |
| （９）私は、読書好きでよく本を読む。                                | 14         | 14                     | 13                       | 8            |
| （１０）地域の行事やボランティア活動に参加するようにしている。                   | 5          | 20                     | 17                       | 7            |
| （１１）外国の人との交流やコミュニケーションに興味がある。                     | 11         | 11                     | 13                       | 13           |
| （１２）毎日、朝ご飯を食べている。                                 | 38         | 8                      | 2                        | 1            |
| （１３）毎日、自分の学年に必要とされる時間、家庭学習に取り組んでいる。（中学生は「学年＋１時間」） | 9          | 17                     | 18                       | 5            |
| （１４）１週間あわせて６０分程度あるいはそれ以上、何かしらの運動に取り組んでいる。         | 35         | 6                      | 6                        | 1            |
| （１５）ゲームやスマホなどのメディア機器は、家で決めたルールを守って利用している。         | 18         | 18                     | 8                        | 5            |



【問 3】あなたが学校で楽しいと思う時間や活動は何ですか。当てはまるものすべてを選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                                            |     |             |     |
|----------------------------------------------------------------------------|-----|-------------|-----|
| ① 教科の学習                                                                    | 1 4 | ② 総合的な学習の時間 | 2 0 |
| ③ 道徳の学習                                                                    | 6   | ④ 学校行事      | 3 4 |
| ⑤ 生徒会活動                                                                    | 6   | ⑥ 学級活動      | 1 6 |
| ⑦ 遊び時間                                                                     | 3 8 | ⑧ 給食の時間     | 1 3 |
| ⑨ 係活動や当番活動                                                                 | 8   | ⑩ 部活動       | 2 3 |
| ⑪ 特にない                                                                     | 2   |             |     |
| ⑫ その他     ・ 友だちや先生方と楽しく笑って過ごしているとき<br>・ 下校時友達と帰ること<br>・ 下校<br>・ 友だちとお話をする事 |     |             |     |

【問 4】あなたが得意だったり好きな教科や学習は何ですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。

|        |     |             |     |
|--------|-----|-------------|-----|
| ① 国語   | 1 0 | ② 社会        | 1 3 |
| ③ 数学   | 1 8 | ④ 理科        | 8   |
| ⑤ 音楽   | 1 6 | ⑥ 美術        | 1 1 |
| ⑦ 保健体育 | 1 7 | ⑧ 技術・家庭     | 1 8 |
| ⑨ 外国語  | 2 0 | ⑩ 道徳        | 8   |
| ⑪ 学級活動 | 1 4 | ⑫ 総合的な学習の時間 | 1 6 |
| ⑬ 特にない | 4   |             |     |

【問 5】あなたがこれから大事になってくと思う教科や学習は何だと思いますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。

|          |     |               |     |
|----------|-----|---------------|-----|
| (セ) 国語   | 3 7 | (ソ) 社会        | 2 1 |
| (タ) 数学   | 3 2 | (チ) 理科        | 2 0 |
| (ツ) 音楽   | 1 1 | (テ) 美術        | 7   |
| (ト) 保健体育 | 1 6 | (ナ) 技術・家庭     | 2 2 |
| (ニ) 外国語  | 3 8 | (ヌ) 道徳        | 2 0 |
| (ネ) 学級活動 | 1 3 | (ノ) 総合的な学習の時間 | 1 4 |
| (ハ) 特にない | 0   |               |     |

【問 6】自分のよいところをあげるとしたら、どんなところがありますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|               |     |                 |     |
|---------------|-----|-----------------|-----|
| ① 親切          | 1 8 | ② 性格が明るい        | 1 4 |
| ③ 友だちが多い      | 1 2 | ④ 元気がいい         | 2 2 |
| ⑤ 積極的         | 1 1 | ⑥ 公平、差別をしない     | 9   |
| ⑦ よく考えてから行動する | 1 1 | ⑧ 好きなことがある      | 2 7 |
| ⑨ 得意なことがある    | 2 0 | ⑩ 勉強ができる        | 4   |
| ⑪ スポーツが得意     | 1 4 | ⑫ まじめ           | 5   |
| ⑬ 家の手伝いをする    | 1 7 | ⑭ ずるいことが嫌い      | 6   |
| ⑮ 落ち着いている     | 5   | ⑯ 夢がある          | 1 5 |
| ⑰ 物事に熱中する     | 1 4 | ⑱ 友だち思い         | 1 5 |
| ⑲ 家族思い        | 1 4 | ⑳ くじけない         | 5   |
| ㉑ 努力家         | 6   | ㉒ 素直、自分の間違いを認める | 1 2 |
| ㉓ あいさつができる    | 2 3 | ㉔ 礼儀正しい         | 7   |
| ㉕ その他 ・家庭的    |     |                 |     |

【問 7】あなたが日頃気にしたり、悩んだりすることがあるのは何ですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                           |     |            |     |
|---------------------------|-----|------------|-----|
| ① 友だちのこと                  | 2 4 | ② 家族のこと    | 1 0 |
| ③ 学校のこと                   | 1 3 | ④ 勉強のこと    | 2 4 |
| ⑤ からだのこと                  | 6   | ⑥ 進路、将来のこと | 2 7 |
| ⑦ 遊びのこと                   | 1   | ⑧ SNSのこと   | 5   |
| ⑨ わからないことで気にする            | 8   | ⑩ 特にない     | 1 3 |
| ⑪ これからの社会のこと              | 1 1 |            |     |
| ⑫ その他 ・塾のこと ・自分の性格のこと ・部活 |     |            |     |

※SNS＝ソーシャル・ネットワーキング・サービス（ラインやツイッターなど）

【問 8】あなたは悩みや不安を感じたとき誰に相談しますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。

|                 |     |                  |     |
|-----------------|-----|------------------|-----|
| ① 親             | 2 5 | ③ きょうだい          | 1 1 |
| ③ その他の家族        | 3   | ⑤ 親戚の人           | 1   |
| ⑤ 学校の先生         | 2 0 | ⑦ 友だち            | 3 1 |
| ⑦ 親しくしている大人     | 3   | ⑨ スクールカウンセラーや相談員 | 1   |
| ⑨ 相談電話          | 0   | ⑪ 誰にも相談しない       | 7   |
| ⑪ 自分で解決する       | 1 4 |                  |     |
| ⑫ その他 ・姉の友達 ・彼女 |     |                  |     |

【問 9】あなたは、どのような点で成長したいと思っていますか。当てはまるものを3つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                              |                    |               |     |
|------------------------------|--------------------|---------------|-----|
| ① 学力                         | 2 9                | ② 体力          | 2 1 |
| ③ コミュニケーション力（考えを伝える、相手を理解する） |                    |               | 2 6 |
| ④ リーダーシップ                    | 8                  | ⑤ 感謝の心        | 9   |
| ⑥ 強い意思                       | 1 2                | ⑦ 仲間を大事にする    | 1 6 |
| ⑧ 夢や目標をもって生活する               | 8                  | ⑨ 向上心         | 1 0 |
| ⑩ 最後までやり抜く                   | 1 7                | ⑪ まじめに努力する    | 9   |
| ⑫ 新しいことに挑戦する                 | 1 2                | ⑬ 自分の得意なことをもつ | 1 4 |
| ⑭ 人のことを考え行動する                | 1 5                | ⑮ 特にない        | 0   |
| ⑯ 思いやりの心                     | 1 8                |               |     |
| ⑰ その他                        | ・自分に自信をもつ ・内申点を上げる |               |     |

【問 10】あなたは、放課後や学校が休みのときどのように過ごしていることが多いですか。当てはまるものを3つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|           |     |              |     |
|-----------|-----|--------------|-----|
| ① 勉強      | 1 1 | ② 読書         | 9   |
| ③ テレビやゲーム | 2 8 | ④ スマホ        | 2 7 |
| ⑤ 塾や習い事   | 1 1 | ⑥ 友だちと遊ぶ     | 1 8 |
| ⑦ 部活動     | 3 2 | ⑧ 町の公共施設で過ごす | 3   |
| ⑨ 家族と過ごす  | 1 5 | ⑩ 家の手伝い      | 9   |
| ⑪ 自分の趣味   | 2 2 |              |     |
| ⑫ その他     | ・寝る |              |     |

【問 11】あなたが剣淵町を「ふるさと」と感じるときはどのようなときですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                |              |                        |     |
|----------------|--------------|------------------------|-----|
| ① 家族と一緒にいるとき   | 8            | ② 学校で皆と一緒に勉強したり遊んでいるとき | 1 4 |
| ③ 地域の自然に触れたとき  | 2 5          | ④ 地域行事に参加したとき          | 1 8 |
| ⑤ 町の施設を利用したとき  | 1 6          | ⑥ 町の良さを教えてもらったとき       | 1 1 |
| ⑦ 町の人に親切にされたとき | 1 8          | ⑧ 自分の将来を考えるとき          | 6   |
| ⑨ 町の未来を考えるとき   | 4            | ⑩ 町の外に出かけたとき           | 2 1 |
| ⑪ あまり感じない      | 9            |                        |     |
| ⑫ その他          | ・町の人にあいさつする時 |                        |     |

## ～小学生の保護者編～結果

【問１】お子様とあなたのことについてお答えください。

(１) お子様：(小学校、中学校) ( ) 年生

※ごきょうだいがいる場合は、上のお子様(年長者)でお答えください。

※アンケートが小中学校の両方から配られた方は、どちらかに回答してください。

(２) お子様との関係：(父親、母親)、その他 ( )

|    |   |    |     |     |  |
|----|---|----|-----|-----|--|
| 父親 | 7 | 母親 | 5 5 | その他 |  |
|----|---|----|-----|-----|--|

【問２】次の(１)～(11)の内容があなたに、「当てはまる」場合はA、「どちらかといえば当てはまる」場合はB、「どちらかといえば当てはまらない」場合はC、「当てはまらない」場合はDに○をしてください。

|                                                                        | 当てはまる<br>A | どちらかといえば<br>当てはまる<br>B | どちらかといえば<br>当てはまらない<br>C | 当てはまらない<br>D |
|------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------|--------------------------|--------------|
| (１) 子どもは、学校を楽しんでいる。                                                    | 3 6        | 2 0                    | 3                        | 1            |
| (２) 子どもは、学校の授業を分かりやすく楽しいと言っている。                                        | 2 0        | 3 3                    | 5                        | 3            |
| (３) 学校の先生は、自分の子どものことを分かってくれていると思う。                                     | 2 9        | 2 9                    | 2                        | 1            |
| (４) 子どもは、学校であったことや思ったことをよく話す。                                          | 3 0        | 1 8                    | 1 3                      | 4            |
| (５) 子どもと一緒に地域の行事に参加するようにしている。                                          | 1 7        | 2 8                    | 1 3                      | 4            |
| (６) 子どもは、毎日朝ご飯を食べている。                                                  | 5 5        | 2                      | 4                        | 1            |
| (７) 子どもは、毎日自分の学年に必要とされる時間、家庭学習に取り組んでいる。<br>(小学生は「学年×10分」、中学生は「学年+1時間」) | 1 9        | 2 2                    | 1 5                      | 6            |
| (８) 子どもは、1週間あわせて60分程度あるいはそれ以上、何かしらの運動に取り組んでいる。                         | 4 3        | 9                      | 7                        | 3            |
| (９) 子どもは、家で決めたルールを守ってゲームやスマホなどのメディア機器を利用している。                          | 2 7        | 1 8                    | 9                        | 8            |
| (10) 学校は、保護者に対してよく連絡を取っている。                                            | 2 4        | 3 1                    | 7                        | 0            |
| (11) 学校の環境は、安全・安心で快適なものになっていると思う。                                      | 2 9        | 3 0                    | 2                        | 1            |

【問 3】あなたのお子様が学校で楽しみにしているのは何ですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                    |     |                 |     |
|----------------------------------------------------|-----|-----------------|-----|
| ① 教科の学習                                            | 1 8 | ② 生活科、総合的な学習の時間 | 2 5 |
| ③ 道徳の学習                                            | 4   | ④ 学校行事          | 3 2 |
| ⑤ 児童会（生徒会）活動                                       | 8   | ⑥ 学級活動          | 1 6 |
| ⑦ 遊び時間                                             | 4 6 | ⑧ 給食の時間         | 3 6 |
| ⑨ 係活動や当番活動                                         | 1 7 | ⑩ 部活動やクラブ活動     | 3 0 |
| ⑪ 特になし                                             | 0   |                 |     |
| ⑫ その他<br>・理科      ・友だちに会えること      ・先生が面白いことを言うてくれる |     |                 |     |

【問 4】あなたのお子様が家庭学習でどんなことに取り組んでいますか。当てはまるものすべてを選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                          |     |                   |     |
|------------------------------------------|-----|-------------------|-----|
| ① テストに向けた勉強                              | 9   | ② 学校から出された課題      | 5 5 |
| ③ 授業の予習と復習                               | 1 4 | ④ 塾で出された課題        | 8   |
| ⑤ 習い事の練習                                 | 1 7 | ⑥ 作文や読書感想文（コンクール） | 0   |
| ⑦ 作品づくり（コンクール）                           | 2   | ⑧ 苦手教科の克服         | 4   |
| ⑨ 基礎的なドリル学習                              | 1 8 | ⑩ 興味関心のある分野の研究    | 1 0 |
| ⑪ 定期購読等の学習教材の活用                          | 8   |                   |     |
| ⑫ その他<br>・漢字ドリル    ・スマイルゼミ（タブレット）    ・読書 |     |                   |     |

【問 5】あなたは、お子様から悩みなどを相談されることはどのくらいありますか。当てはまるものに○をしてください（1つ）。

|            |     |           |     |
|------------|-----|-----------|-----|
| ① ほとんどされない | 8   | ② あまりされない | 7   |
| ③ たまにされる   | 2 6 | ④ 少しされる   | 1 5 |
| ⑤ ときどきされる  | 0   | ⑥ よくされる   | 6   |
| ⑦ 記憶にない    | 0   | ⑧ わからない   | 0   |

【問 6】お子様から相談されたことがある方は、どんなことで相談されましたか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|          |     |            |   |
|----------|-----|------------|---|
| ① 友だち関係  | 3 3 | ② きょうだい関係  | 5 |
| ③ 家族関係   | 3   | ④ 先生との関係   | 8 |
| ⑤ 学級のこと  | 1 4 | ⑥ 学校行事のこと  | 3 |
| ⑦ 勉強のこと  | 1 5 | ⑧ いじめのこと   | 5 |
| ⑨ からだのこと | 4   | ⑩ 進路、将来のこと | 4 |
| ⑪ 遊びのこと  | 1 6 | ⑫ SNSのこと   | 0 |

|                                                               |   |           |     |
|---------------------------------------------------------------|---|-----------|-----|
| ⑬ これからの社会のこと                                                  | 1 | ⑭ たわいないこと | 2 3 |
| ⑮ 記憶にない                                                       | 0 |           |     |
| ⑯ その他 ・係活動について ・少年団の事<br>・学校へ行かず、自分の力で学力を高めたい。学校へ行く時間がもったいない。 |   |           |     |

※SNS＝ソーシャル・ネットワーキング・システム

【問 7】あなたは、日頃お子様にどのように接していますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                         |     |
|-----------------------------------------|-----|
| ① 子どもの話をよく聞くようにしている                     | 4 7 |
| ② 食事を一緒にとるようにしている                       | 5 3 |
| ③ 勉強を見るようにしている                          | 2 4 |
| ④ 家の手伝いをさせるようにしている                      | 3 8 |
| ⑤ 地域の行事と一緒に参加するようにしている                  | 2 4 |
| ⑥ 習い事も含め学習の機会を増やすようにしている                | 2 5 |
| ⑦ 読者やスポーツなど同じ楽しみをもつようにしている              | 2 1 |
| ⑧ 自分のことは自分でさせるようにしている                   | 4 6 |
| ⑨ 図書館をはじめ、映画鑑賞や芸術鑑賞などに連れて行くようにしている      | 1 4 |
| ⑩ 近所の人たちや親戚の人たちと家族ぐるみの付き合いをするようにしている    | 3 2 |
| ⑪ 人に迷惑をかけないようにしつけや社会のルールを教えるようにしている     | 5 1 |
| ⑫ 欲しがるものがあってもむやみに買え与えず我慢させるようにしている。     | 3 4 |
| ⑬ メディア機器の利用など家庭の中でルールを決めていることがある        | 4 1 |
| ⑭ 子どもの好きなことや、やりたいと言ったことはできるだけさせるようにしている | 4 2 |
| ⑮ 早寝、早起き、朝ご飯など日常の健康的な生活を心がけている          | 5 0 |

【問 8】あなたがお子様の教育の上で心配なことは何ですか。当てはまるものを 3 つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                       |     |                 |     |
|-----------------------|-----|-----------------|-----|
| ① 教育にかかる費用            | 1 8 | ② 家庭教育の在り方      | 1 5 |
| ③ 集団や学校生活への適応         | 2 5 | ④ 塾や習い事         | 3   |
| ⑤ 進学や進路のこと            | 1 8 | ⑥ 保護者同士の関係      | 5   |
| ⑦ ゲームやスマホ等メディア機器との関わり | 3 0 | ⑧ 地域の安全         | 8   |
| ⑨ 怪我や病気               | 5   | ⑩ 個人による発達や成長の違い | 8   |
| ⑪ （保護者としての）ワークライフバランス | 1   | ⑫ いじめの問題        | 9   |
| ⑬ 特にない                | 4   |                 |     |

【問 9】あなたは、お子様の教育の安心のためには何が必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                 |     |               |     |
|-----------------|-----|---------------|-----|
| ① 家族の協力         | 4 8 | ② 行政のサポート     | 2 5 |
| ③ 地域住民の協力       | 1 1 | ④ 保護者間のネットワーク | 8   |
| ⑤ 学校教育の充実       | 3 6 | ⑥ 職場の理解       | 2 0 |
| ⑦ 健診や医療の体制      | 1 3 | ⑧ 教育相談窓口      | 6   |
| ⑨ 一人一人の発達に応じた支援 | 3 3 | ⑩ P T A活動の充実  | 2   |
| ⑪ 保護者の研修の機会     | 2   | ⑫ 地域社会の持続的な発展 | 6   |
| ⑬ 学校との信頼関係      | 3 8 | ⑭ 特にない        | 2   |
| ⑮ その他           |     |               |     |

【問 10】あなたは、小学校や中学校の教育でどのようなことに力を入れてほしいですか。当てはまるものを5つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ① 自立のために必要な基礎的な学力の育成             | 3 9 |
| ② たくましく生きていくための体力の育成             | 1 6 |
| ③ 基本的な生活習慣と規範意識の育成               | 1 6 |
| ④ あいさつや礼儀など社会性の育成                | 3 6 |
| ⑤ 他者への思いやりなど豊かな心の育成              | 4 3 |
| ⑥ 学校への愛着とふるさとへの誇りを育てる教育          | 4   |
| ⑦ 外国語教育などグローバル化に対応した教育           | 1 6 |
| ⑧ I C T活用など社会の変化に対応した教育          | 5   |
| ⑨ 個々の特性に応じ発達を支える特別支援教育           | 1 2 |
| ⑩ ボランティア活動や職業体験など体験活動の推進         | 9   |
| ⑪ 子どもたちが生き生きと活動し感動をつくる学校行事       | 1 7 |
| ⑫ 少年団活動や部活動など課外活動の充実             | 1 3 |
| ⑬ 個性を磨き、将来の夢や希望をはぐくむ学校           | 1 8 |
| ⑭ 一人一人がかけがえのない存在として尊重され、いじめのない学校 | 3 6 |
| ⑮ 子どもや保護者一人一人の悩みや課題に親身に向き合う学校    | 1 0 |
| ⑯ 小中連携教育の推進や高等学校への円滑な接続          | 1 0 |
| ⑰ 学校運営や教育活動への保護者や地域住民の積極的な参画     | 1   |
| ⑱ 安全・安心な教育環境の整備                  | 1 3 |

【問 11】あなたは、これからの社会の創り手となる子どもたちに求められる資質や能力はどのようなものだと思いますか。当てはまるものを3～4つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                  |     |                |     |
|----------------------------------|-----|----------------|-----|
| ① 問題解決能力                         | 3 6 | ② 科学技術の知識・技能   | 1   |
| ③ コミュニケーション能力                    | 4 5 | ④ プレゼンテーション能力  | 8   |
| ⑤ 語学力や国際感覚                       | 1 2 | ⑥ ふるさとを愛する心    | 6   |
| ⑦ 社会貢献の精神                        | 5   | ⑧ 多様な人々との協働と共生 | 3 0 |
| ⑨ 発想力や創造力                        | 2 5 | ⑩ 深い思考力        | 5   |
| ⑪ 幅広い教養                          | 5   | ⑫ 健康、体力        | 2 0 |
| ⑬ 主体的な判断力や行動力                    | 2 7 |                |     |
| ⑭ その他 ・ 自立 ・ 他者への思いやり、自分を大事にすること |     |                |     |

【問 12】あなたは、今後町にはどのような教育施策に力を入れてほしいですか。当てはまるものを3～4つ選んでください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                      |     |                   |     |
|------------------------------------------------------|-----|-------------------|-----|
| ① 子どもたちの体験学習の拡充                                      | 2 6 | ② 地域の教育資源・人材の活用促進 | 4   |
| ③ ふるさと学習の推進                                          | 5   | ④ I C Tやネット環境の整備  | 1 8 |
| ⑤ プログラミング教育                                          | 1 3 | ⑥ 外国語教育や国際交流      | 2 1 |
| ⑦ 主権者教育                                              | 0   | ⑧ 豊かな心を育てる道徳教育    | 1 6 |
| ⑨ 一人一人の特性に応じた特別支援教育                                  | 1 3 | ⑩ 体育活動や文化活動の充実    | 1 1 |
| ⑪ 教育相談体制の充実                                          | 4   | ⑫ 小中連携一貫教育の推進     | 7   |
| ⑬ 家庭学習への支援                                           | 6   | ⑭ 就学と進学への支援       | 2 1 |
| ⑮ 教員の働き方改革                                           | 8   | ⑯ 学校施設の整備         | 1 0 |
| ⑰ 公共施設の整備                                            | 1 1 |                   |     |
| ⑱ その他 ・ 子どもたちが楽しく安全に遊べる屋外施設（公園等）の充実（健康面を考えて外で遊んでほしい） |     |                   |     |



## ～中学生の保護者編～結果

【問１】お子様とあなたのことについてお答えください。

(１) お子様：(小学校、中学校) ( ) 年生

※ごきょうだいがいる場合は、上のお子様(年長者)でお答えください。

※アンケートが小中学校の両方から配られた方は、どちらかに回答してください。

(２) お子様との関係：(父親、母親)、その他 ( )

|    |   |    |     |     |   |
|----|---|----|-----|-----|---|
| 父親 | 3 | 母親 | 5 7 | その他 | 2 |
|----|---|----|-----|-----|---|

【問２】次の(１)～(11)の内容があなたに、「当てはまる」場合はA、「どちらかといえば当てはまる」場合はB、「どちらかといえば当てはまらない」場合はC、「当てはまらない」場合はDに○をしてください。

|                                                                        | 当てはまる<br>A | どちらかといえば<br>当てはまる<br>B | どちらかといえば<br>当てはまらない<br>C | 当てはまらない<br>D |
|------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------|--------------------------|--------------|
| (１) 子どもは、学校を楽しんでいる。                                                    | 1 4        | 3 9                    | 7                        | 2            |
| (２) 子どもは、学校の授業を分かりやすく楽しいと言っている。                                        | 5          | 3 5                    | 1 9                      | 3            |
| (３) 学校の先生は、自分の子どものことを分かってくれていると思う。                                     | 1 4        | 3 6                    | 9                        | 1            |
| (４) 子どもは、学校であったことや思ったことをよく話す。                                          | 1 7        | 2 8                    | 1 1                      | 6            |
| (５) 子どもと一緒に地域の行事に参加するようにしている。                                          | 9          | 2 3                    | 2 3                      | 7            |
| (６) 子どもは、毎日朝ご飯を食べている。                                                  | 4 9        | 1 2                    | 0                        | 0            |
| (７) 子どもは、毎日自分の学年に必要とされる時間、家庭学習に取り組んでいる。<br>(小学生は「学年×１０分」、中学生は「学年＋１時間」) | 9          | 2 1                    | 2 5                      | 6            |
| (８) 子どもは、１週間あわせて６０分程度あるいはそれ以上、何かしらの運動に取り組んでいる。                         | 3 1        | 1 7                    | 1 3                      | 1            |
| (９) 子どもは、家で決めたルールを守ってゲームやスマホなどのメディア機器を利用している。                          | 1 5        | 2 0                    | 1 7                      | 1 0          |
| (10) 学校は、保護者に対してよく連絡を取っている。                                            | 2 0        | 3 0                    | 1 1                      | 0            |
| (11) 学校の環境は、安全・安心で快適なものになっていると思う。                                      | 2 1        | 3 7                    | 4                        | 0            |

【問 3】あなたのお子様が学校で楽しみにしているのは何ですか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                         |     |                 |     |
|-------------------------|-----|-----------------|-----|
| ① 教科の学習                 | 8   | ② 生活科、総合的な学習の時間 | 4   |
| ③ 道徳の学習                 | 0   | ④ 学校行事          | 4 1 |
| ⑤ 児童会（生徒会）活動            | 4   | ⑥ 学級活動          | 3   |
| ⑦ 遊び時間                  | 2 4 | ⑧ 給食の時間         | 1 8 |
| ⑨ 係活動や当番活動              | 4   | ⑩ 部活動やクラブ活動     | 3 7 |
| ⑪ 特にない                  | 5   |                 |     |
| ⑫ その他 ・美術<br>・先生や生徒との交流 |     |                 |     |

【問 4】あなたのお子様は家庭学習でどんなことに取り組んでいますか。当てはまるものすべてを選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                   |     |                   |     |
|---------------------------------------------------|-----|-------------------|-----|
| ① テストに向けた勉強                                       | 4 1 | ② 学校から出された課題      | 5 5 |
| ③ 授業の予習と復習                                        | 2 0 | ④ 塾で出された課題        | 1 6 |
| ⑤ 習い事の練習                                          | 8   | ⑥ 作文や読書感想文（コンクール） | 0   |
| ⑦ 作品づくり（コンクール）                                    | 0   | ⑧ 苦手教科の克服         | 9   |
| ⑨ 基礎的なドリル学習                                       | 7   | ⑩ 興味関心のある分野の研究    | 7   |
| ⑪ 定期購読等の学習教材の活用                                   | 3   |                   |     |
| ⑫ その他 ・塾（週 1 回）とテスト近くなったら勉強モードになっている<br>・部活の楽器の練習 |     |                   |     |

【問 5】あなたは、お子様から悩みなどを相談されることはどのくらいありますか。当てはまるものに○をしてください（1 つ）。

|            |     |           |     |
|------------|-----|-----------|-----|
| ① ほとんどされない | 5   | ② あまりされない | 1 2 |
| ③ たまにされる   | 2 3 | ④ 少しされる   | 8   |
| ⑤ ときどきされる  | 0   | ⑥ よくされる   | 1 2 |
| ⑦ 記憶にない    | 1   | ⑧ わからない   | 1   |

【問 6】お子様から相談されたことがある方は、どんなことで相談されましたか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|              |     |            |     |
|--------------|-----|------------|-----|
| ① 友達関係       | 3 2 | ② きょうだい関係  | 2   |
| ③ 家族関係       | 4   | ④ 先生との関係   | 1 0 |
| ⑤ 学級のこと      | 1 7 | ⑥ 学校行事のこと  | 4   |
| ⑦ 勉強のこと      | 2 0 | ⑧ いじめのこと   | 3   |
| ⑨ からだのこと     | 8   | ⑩ 進路、将来のこと | 2 3 |
| ⑪ 遊びのこと      | 3   | ⑫ SNS のこと  | 1   |
| ⑬ これからの社会のこと | 2   | ⑭ たわいないこと  | 1 6 |

|         |         |     |     |
|---------|---------|-----|-----|
| ⑮ 記憶にない | 2       |     |     |
| ⑯ その他   | ・部活動のこと | ・部活 | ・部活 |

※SNS＝ソーシャル・ネットワーキング・システム

【問 7】あなたは、日頃お子様にどのように接していますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は（ ）に記入してください。

|                                         |     |
|-----------------------------------------|-----|
| ① 子どもの話をよく聞くようにしている                     | 4 8 |
| ② 食事を一緒にとるようにしている                       | 4 9 |
| ③ 勉強を見るようにしている                          | 8   |
| ④ 家の手伝いをさせるようにしている                      | 2 9 |
| ⑤ 地域の行事と一緒に参加するようにしている                  | 1 5 |
| ⑥ 習い事も含め学習の機会を増やすようにしている                | 2 3 |
| ⑦ 読者やスポーツなど同じ楽しみをもつようにしている              | 1 4 |
| ⑧ 自分のことは自分でさせるようにしている                   | 3 7 |
| ⑨ 図書館をはじめ、映画鑑賞や芸術鑑賞などに連れて行くようにしている      | 6   |
| ⑩ 近所の人たちや親戚の人たちと家族ぐるみの付き合いをするようにしている    | 2 1 |
| ⑪ 人に迷惑をかけないようにしつけや社会のルールを教えるようにしている     | 4 8 |
| ⑫ 欲しがるものがあってもむやみに買え与えず我慢させるようにしている。     | 2 3 |
| ⑬ メディア機器の利用など家庭の中でルールを決めていることがある        | 3 3 |
| ⑭ 子どもの好きなことや、やりたいと言ったことはできるだけさせるようにしている | 3 1 |
| ⑮ 早寝、早起き、朝ご飯など日常の健康的な生活を心がけている          | 3 6 |

【問 8】あなたがお子様の教育の上で心配なことは何ですか。当てはまるものを 3 つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                       |     |                 |   |
|-----------------------|-----|-----------------|---|
| ① 教育にかかる費用            | 2 1 | ② 家庭教育の在り方      | 7 |
| ③ 集団や学校生活への適応         | 1 6 | ④ 塾や習い事         | 6 |
| ⑤ 進学や進路のこと            | 4 3 | ⑥ 保護者同士の関係      | 6 |
| ⑦ ゲームやスマホ等メディア機器との関わり | 3 6 | ⑧ 地域の安全         | 1 |
| ⑨ 怪我や病気               | 8   | ⑩ 個人による発達や成長の違い | 0 |
| ⑪ （保護者としての）ワークライフバランス | 2   | ⑫ いじめの問題        | 3 |
| ⑬ 特にない                | 4   |                 |   |

【問 9】あなたは、お子様の教育の安心のためには何が必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                 |     |               |     |
|-----------------|-----|---------------|-----|
| ① 家族の協力         | 4 2 | ② 行政のサポート     | 2 4 |
| ③ 地域住民の協力       | 8   | ④ 保護者間のネットワーク | 6   |
| ⑤ 学校教育の充実       | 3 2 | ⑥ 職場の理解       | 1 2 |
| ⑦ 健診や医療の体制      | 1 4 | ⑧ 教育相談窓口      | 4   |
| ⑨ 一人一人の発達に応じた支援 | 2 5 | ⑩ P T A活動の充実  | 0   |
| ⑪ 保護者の研修の機会     | 1   | ⑫ 地域社会の持続的な発展 | 4   |
| ⑬ 学校との信頼関係      | 3 3 | ⑭ 特にない        |     |
| ⑮ その他 ・教員の資質    |     |               |     |

【問 10】あなたは、小学校や中学校の教育でどのようなことに力を入れてほしいですか。当てはまるものを5つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ① 自立のために必要な基礎的な学力の育成             | 3 5 |
| ② たくましく生きていくための体力の育成             | 2 0 |
| ③ 基本的な生活習慣と規範意識の育成               | 1 5 |
| ④ あいさつや礼儀など社会性の育成                | 3 1 |
| ⑤ 他者への思いやりなど豊かな心の育成              | 3 8 |
| ⑥ 学校への愛着とふるさとへの誇りを育てる教育          | 4   |
| ⑦ 外国語教育などグローバル化に対応した教育           | 1 0 |
| ⑧ I C T活用など社会の変化に対応した教育          | 1 1 |
| ⑨ 個々の特性に応じ発達を支える特別支援教育           | 8   |
| ⑩ ボランティア活動や職業体験など体験活動の推進         | 9   |
| ⑪ 子どもたちが生き生きと活動し感動をつくる学校行事       | 2 1 |
| ⑫ 少年団活動や部活動など課外活動の充実             | 1 5 |
| ⑬ 個性を磨き、将来の夢や希望をはぐくむ学校           | 1 8 |
| ⑭ 一人一人がかけがえのない存在として尊重され、いじめのない学校 | 3 1 |
| ⑮ 子どもや保護者一人一人の悩みや課題に親身に向き合う学校    | 1 1 |
| ⑯ 小中連携教育の推進や高等学校への円滑な接続          | 4   |
| ⑰ 学校運営や教育活動への保護者や地域住民の積極的な参画     | 0   |
| ⑱ 安全・安心な教育環境の整備                  | 1 2 |

【問 11】あなたは、これからの社会の創り手となる子どもたちに求められる資質や能力はどのようなものだと思いますか。当てはまるものを3～4つ選んで○をしてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                    |     |                |     |
|--------------------|-----|----------------|-----|
| ① 問題解決能力           | 3 8 | ② 科学技術の知識・技能   | 6   |
| ③ コミュニケーション能力      | 5 1 | ④ プレゼンテーション能力  | 1 2 |
| ⑤ 語学力や国際感覚         | 1 7 | ⑥ ふるさとを愛する心    | 5   |
| ⑦ 社会貢献の精神          | 9   | ⑧ 多様な人々との協働と共生 | 2 1 |
| ⑨ 発想力や創造力          | 2 0 | ⑩ 深い思考力        | 8   |
| ⑪ 幅広い教養            | 6   | ⑫ 健康、体力        | 1 4 |
| ⑬ 主体的な判断力や行動力      | 1 8 |                |     |
| ⑭ その他 ・やさしさ、人を助ける力 |     |                |     |

【問 12】あなたは、今後町にはどのような教育施策に力を入れてほしいですか。当てはまるものを3～4つ選んでください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に記入してください。

|                                                                        |     |                   |     |
|------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------|-----|
| ① 子どもたちの体験学習の拡充                                                        | 2 1 | ② 地域の教育資源・人材の活用促進 | 8   |
| ③ ふるさと学習の推進                                                            | 4   | ④ I C Tやネット環境の整備  | 2 0 |
| ⑤ プログラミング教育                                                            | 1 0 | ⑥ 外国語教育や国際交流      | 1 6 |
| ⑦ 主権者教育                                                                | 0   | ⑧ 豊かな心を育てる道徳教育    | 1 3 |
| ⑨ 一人一人の特性に応じた特別支援教育                                                    | 1 6 | ⑩ 体育活動や文化活動の充実    | 1 1 |
| ⑪ 教育相談体制の充実                                                            | 4   | ⑫ 小中連携一貫教育の推進     | 5   |
| ⑬ 家庭学習への支援                                                             | 3   | ⑭ 就学と進学への支援       | 2 9 |
| ⑮ 教員の働き方改革                                                             | 6   | ⑯ 学校施設の整備         | 6   |
| ⑰ 公共施設の整備                                                              | 4   |                   |     |
| ⑱ その他 ・児童・生徒と向き合い、正しい接し方の出来る教員の配置<br>・少人数学級指導、充実した STAFF の採用、カウンセラーの常駐 |     |                   |     |

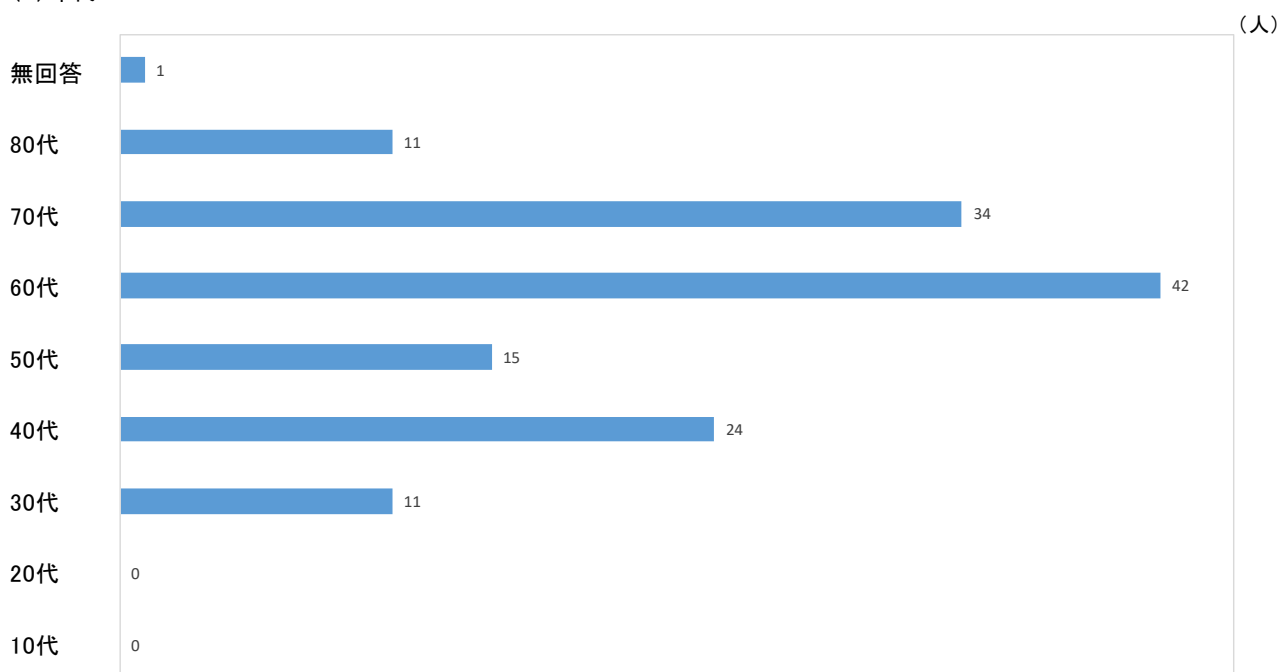
## 生涯学習等アンケート結果(回答:138件 回答率:46%(138/300))

### 【問1】

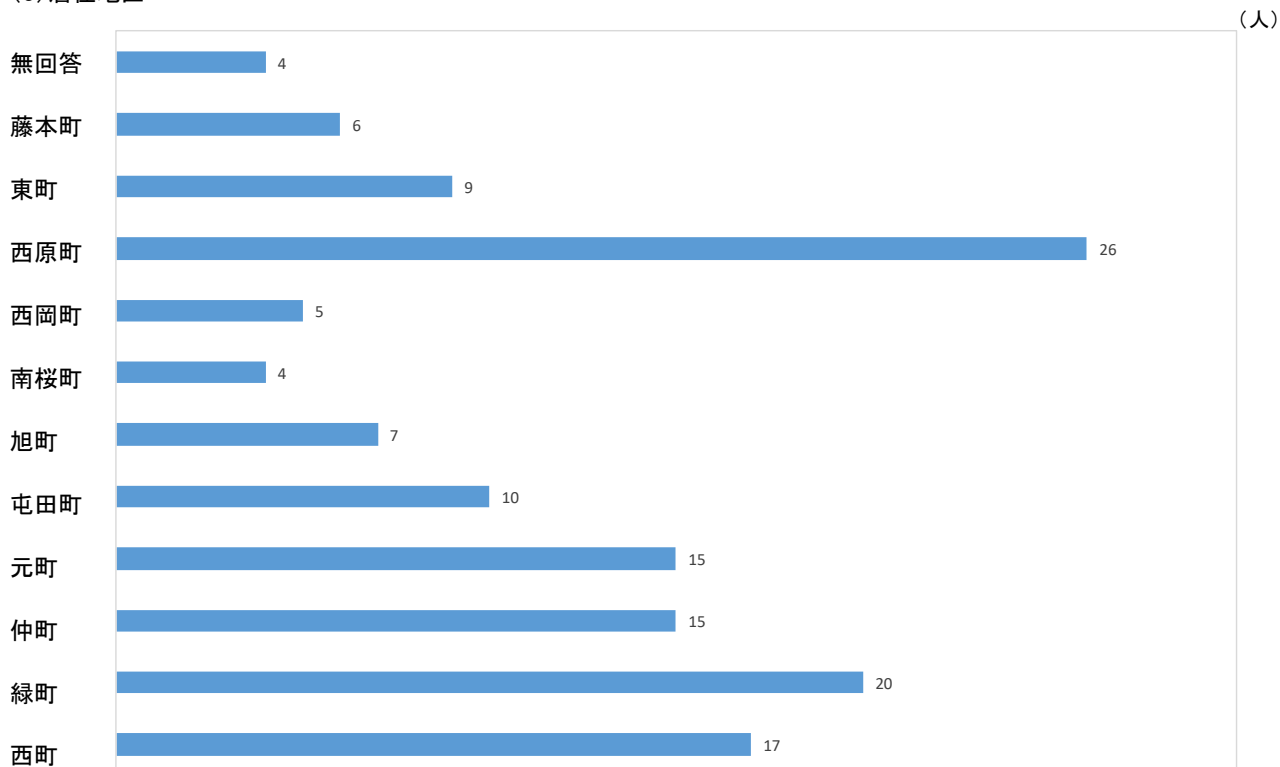
#### (1)性別



#### (2)年代

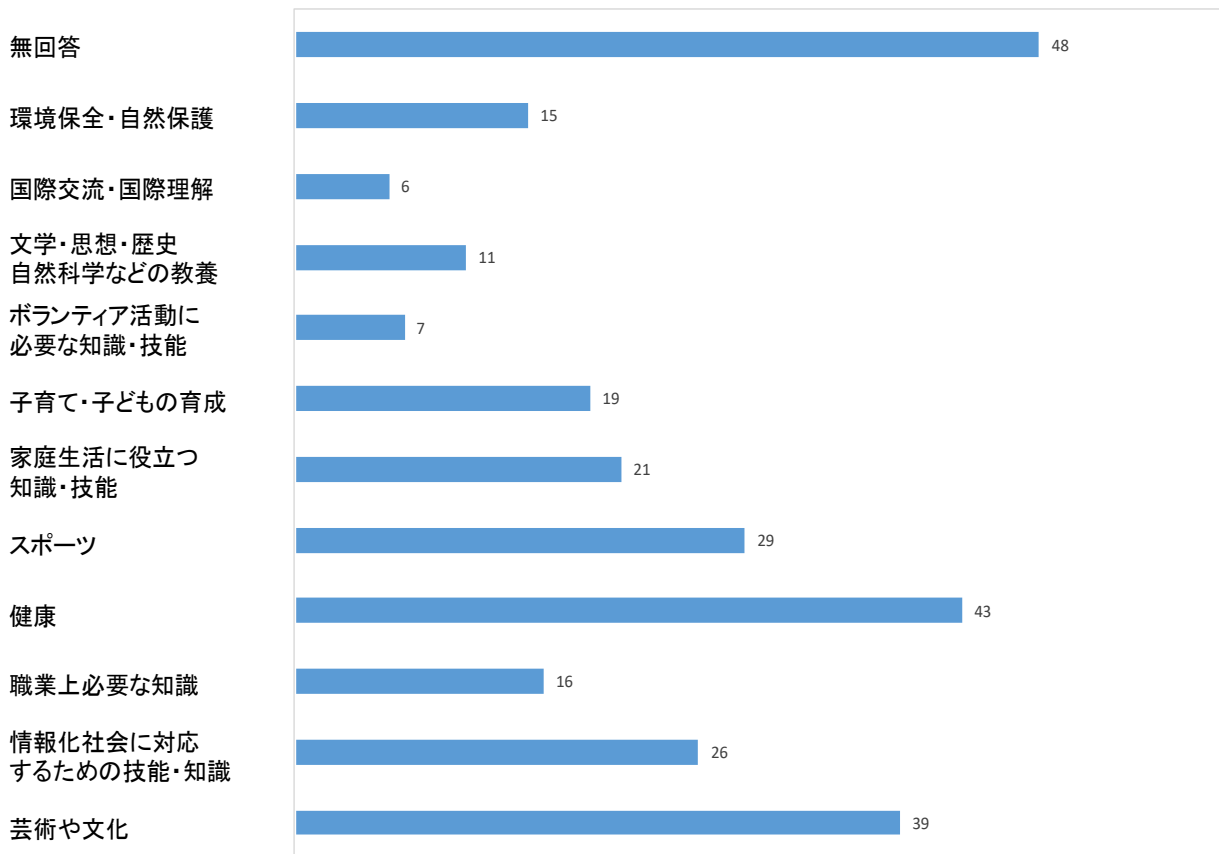


#### (3)居住地区



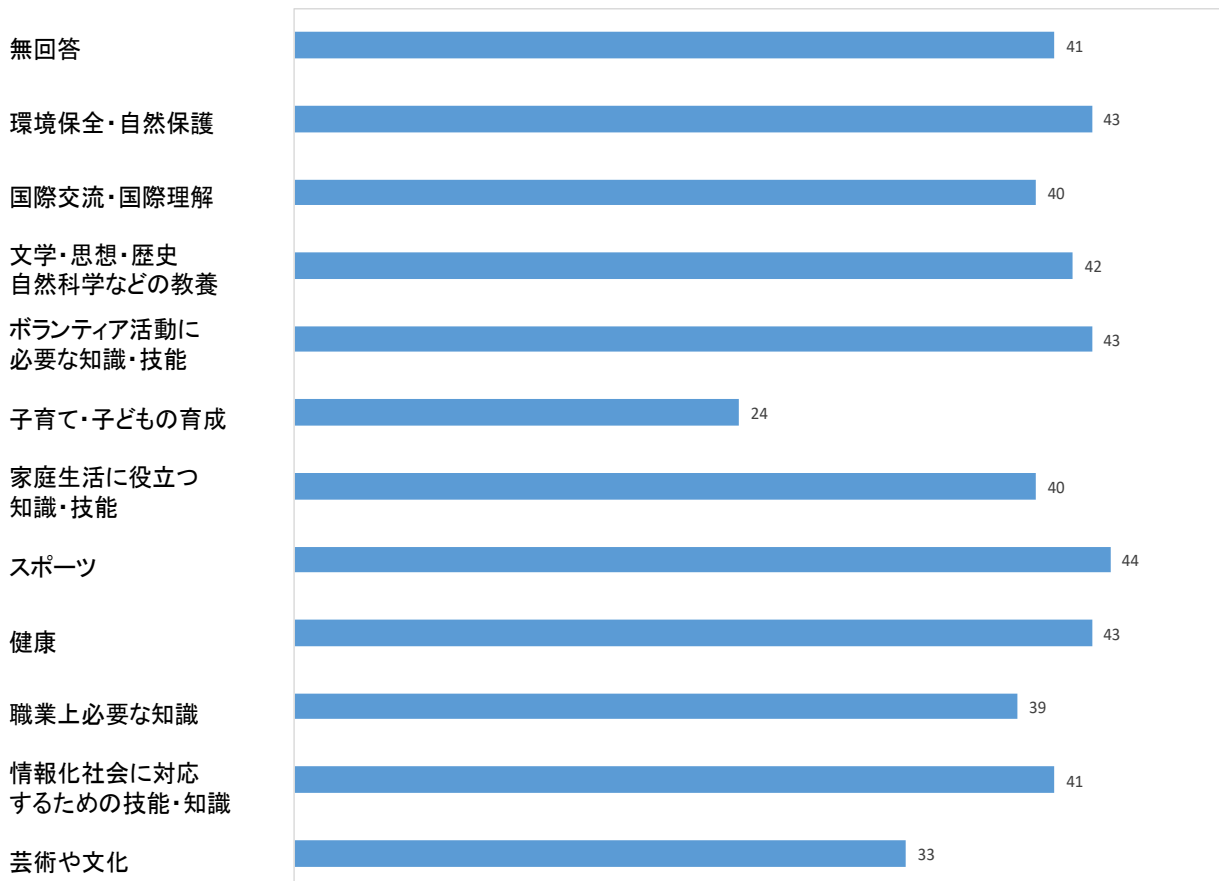
【問2】(1)現在行っている活動

(人)



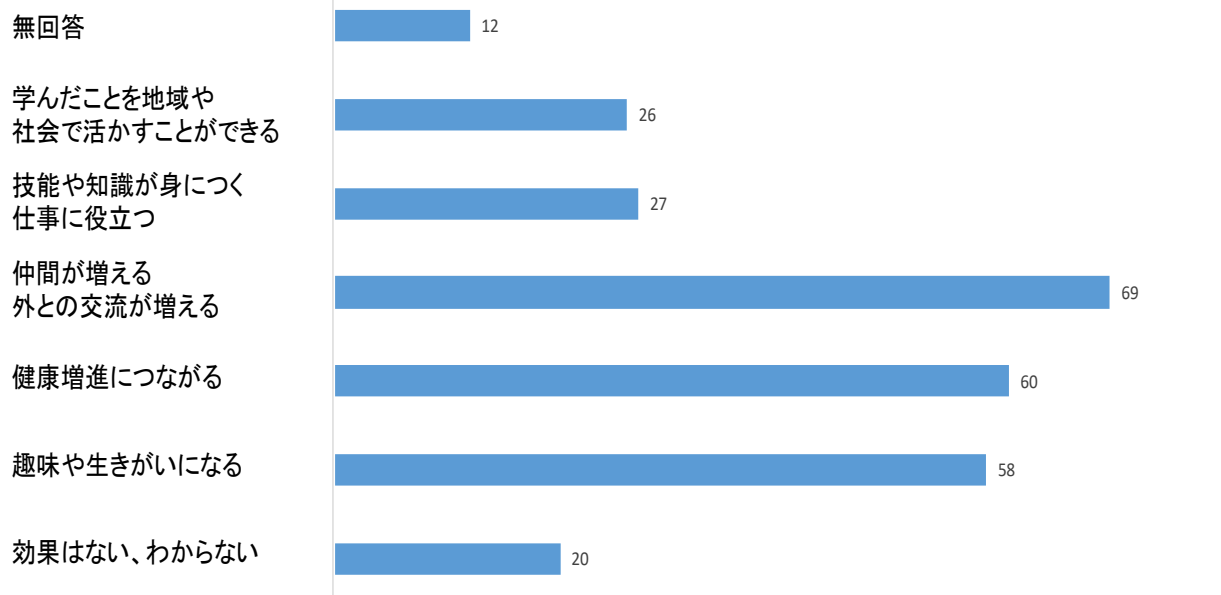
(2)機会があれば行ってみたい活動

(人)



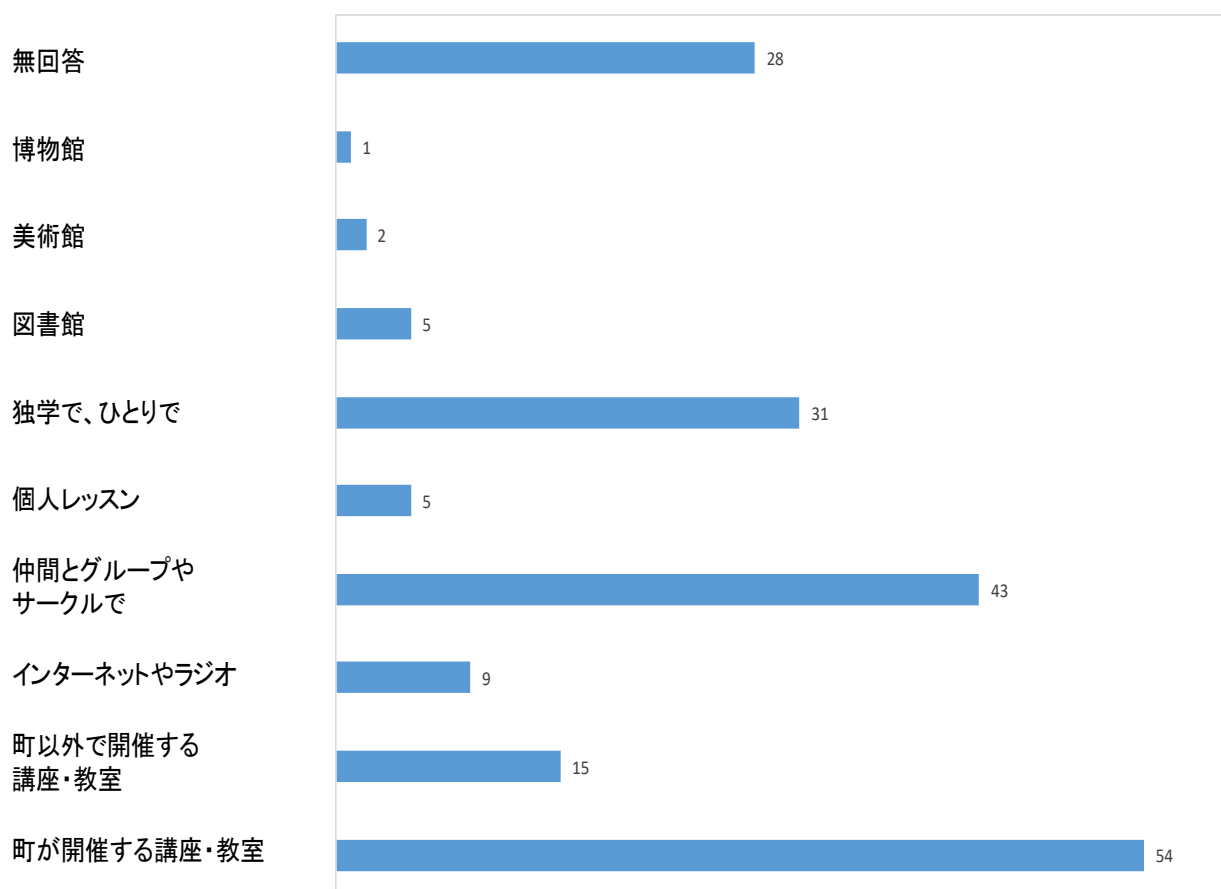
【問3】生涯学習活動を行っての効果

(人)



【問4】生涯学習の実施方法

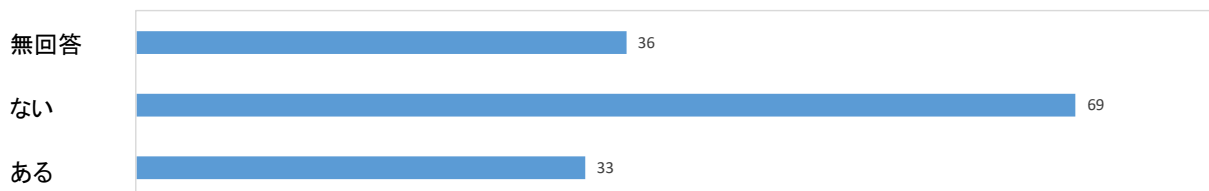
(人)





【問5】問2の中で1年間に参加したことがある行事や教室の有無

(人)

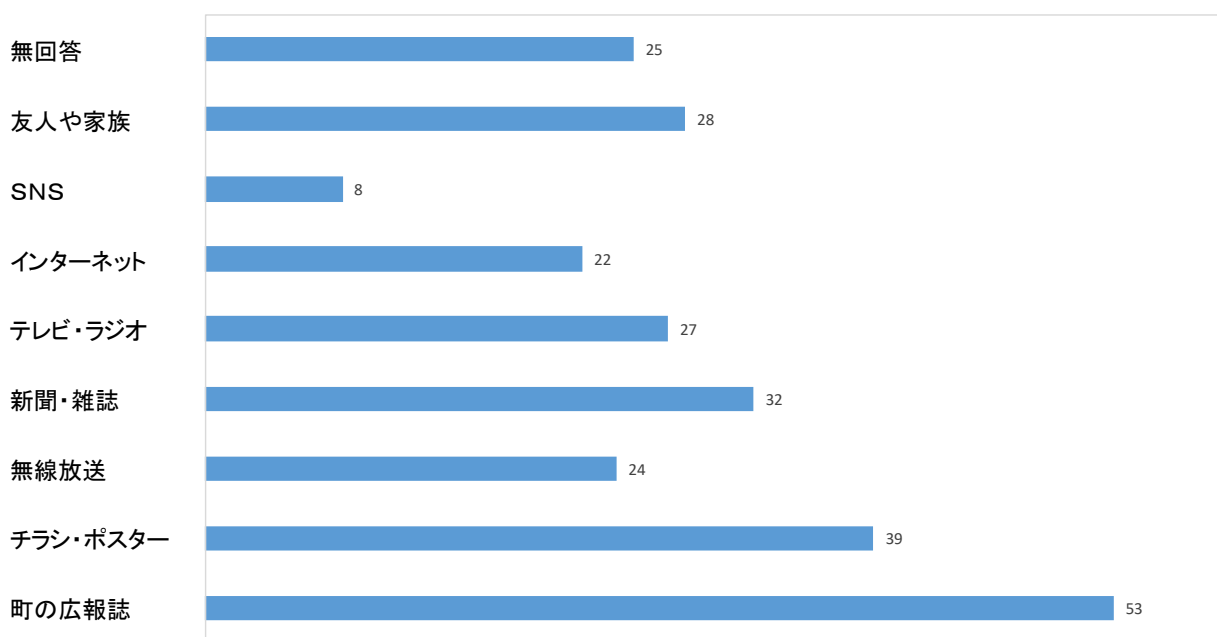


(内容、主催等)

文化祭作品展示会、地域サロン、芸術鑑賞バスツアー、そば打ち教室、健康センタートレーニングルーム利用  
パークゴルフ大会、貯金体操、町民センターでの映画鑑賞

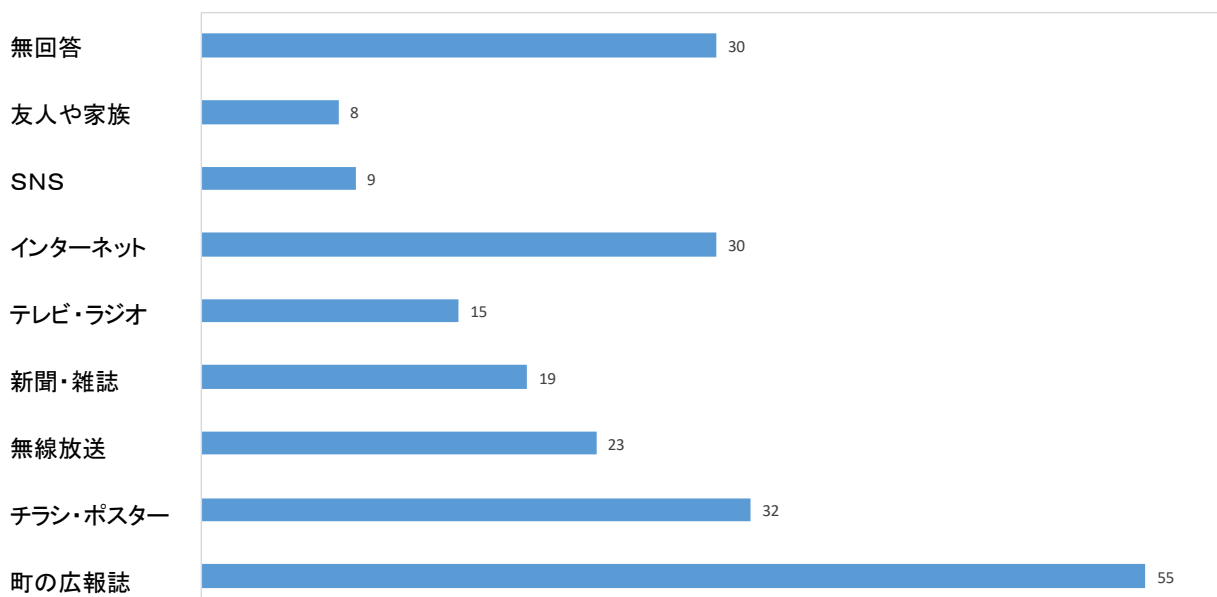
【問6】(1) 学習やスポーツ情報の入手先

(人)



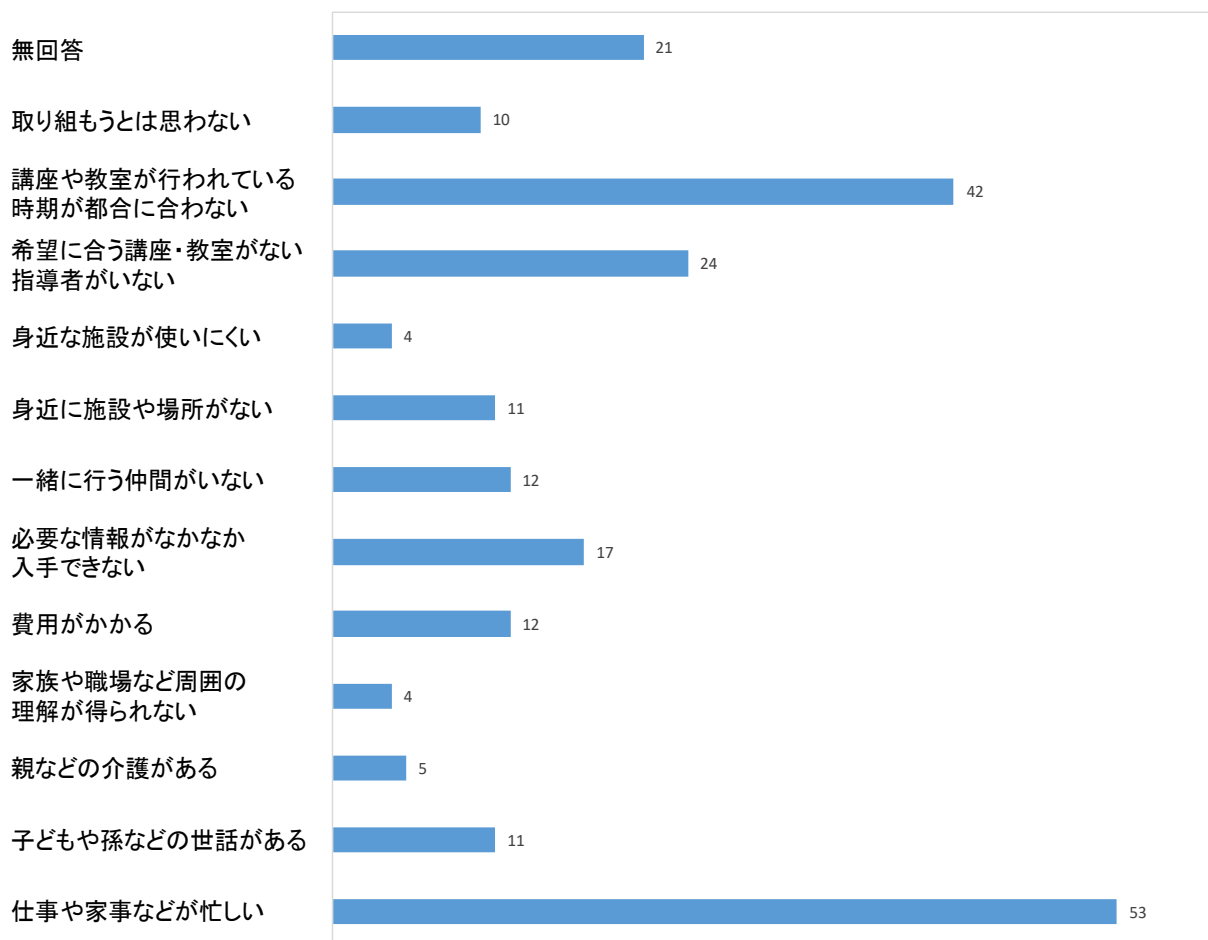
(2) 今後充実してほしいもの

(人)



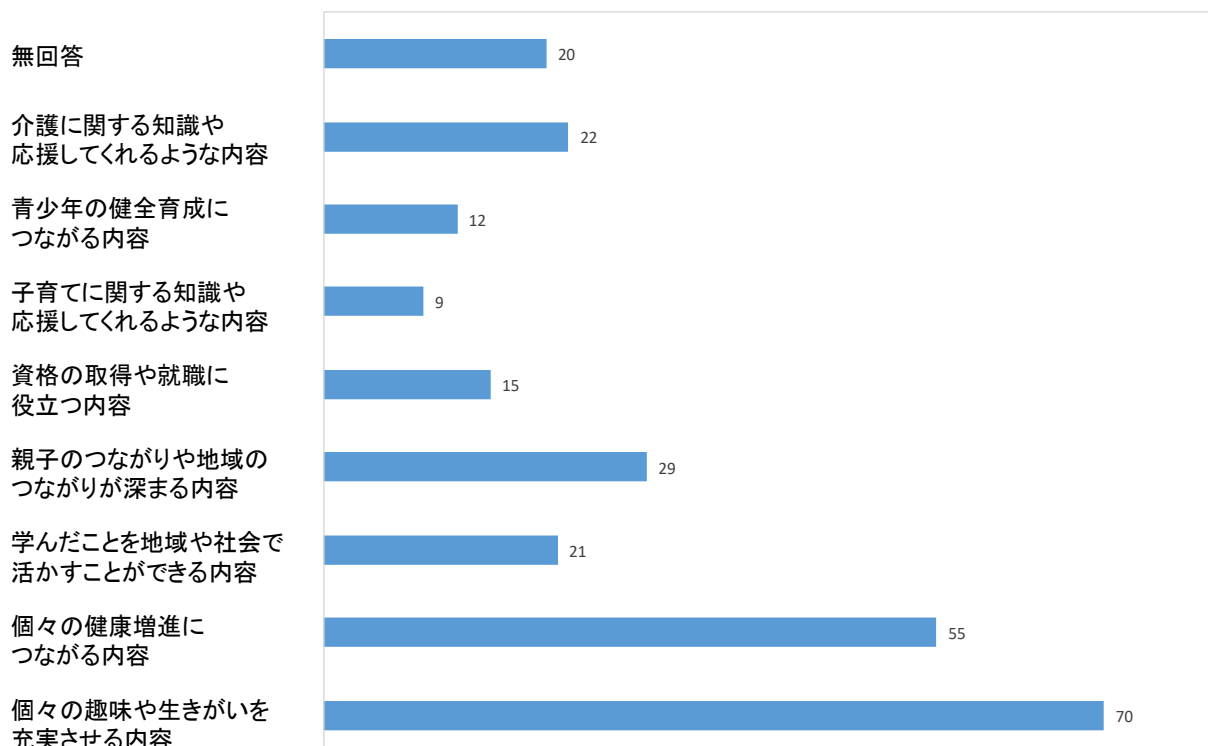
【問7】生涯学習を行う際妨げとなること

(人)



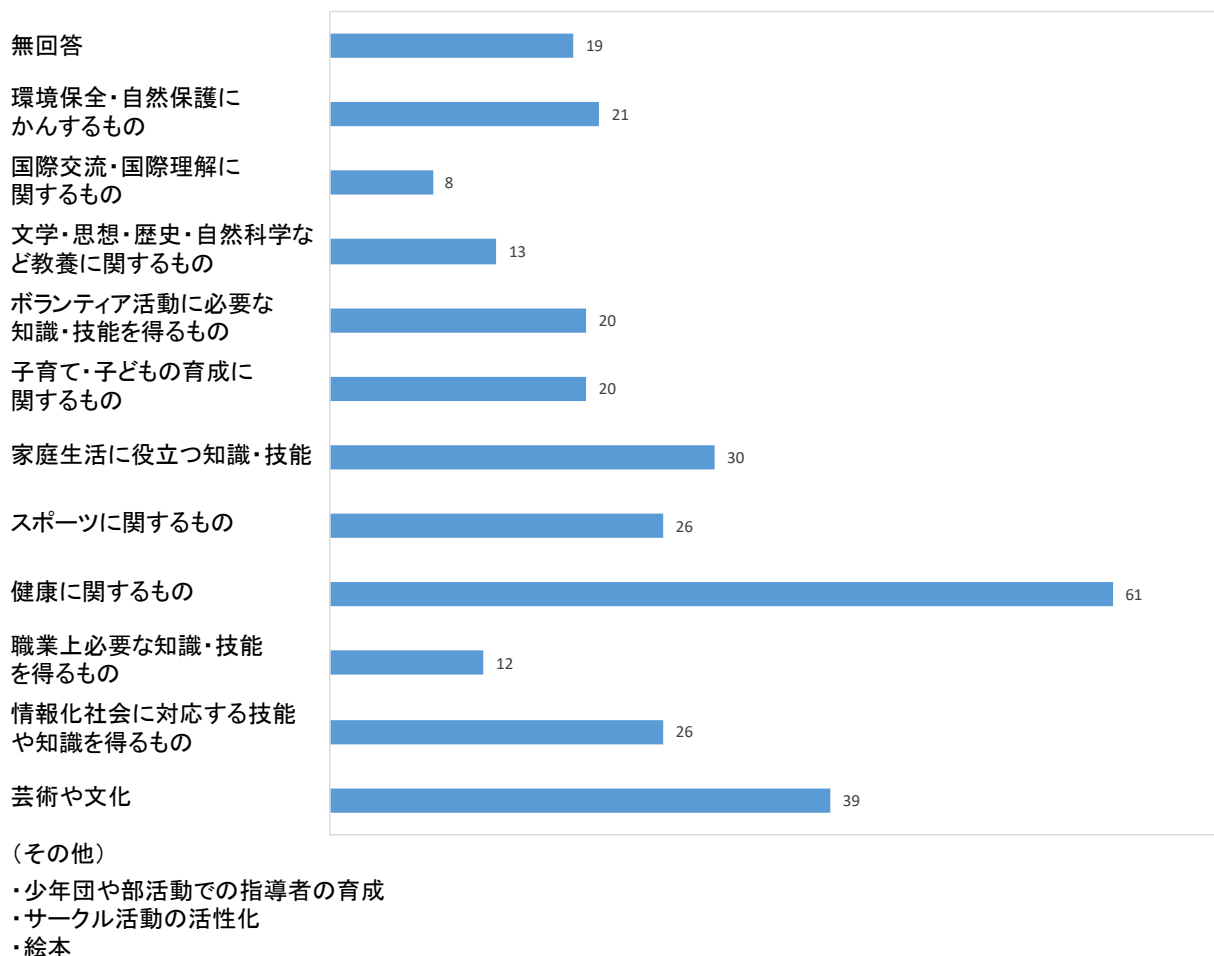
【問8】増えてほしい生涯学習機会の内容

(人)



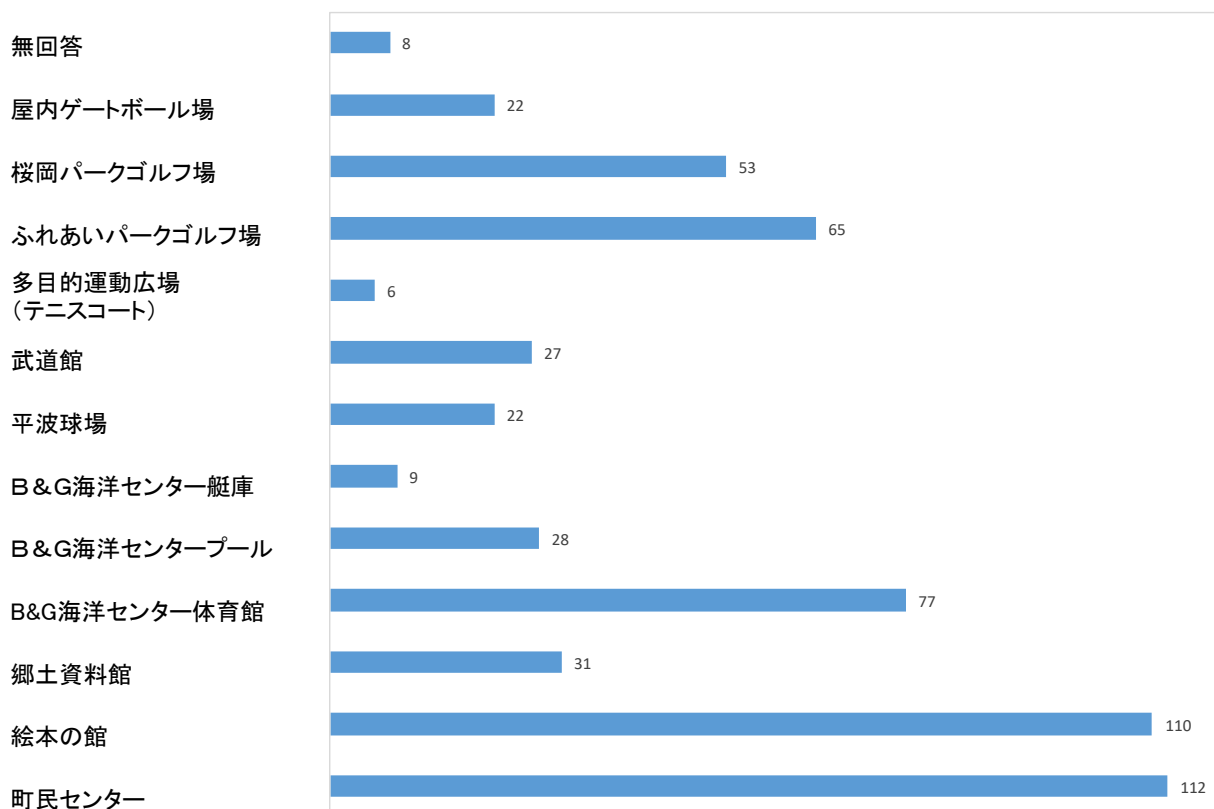
【問9】町の特色として伸ばしたらよい活動

(人)



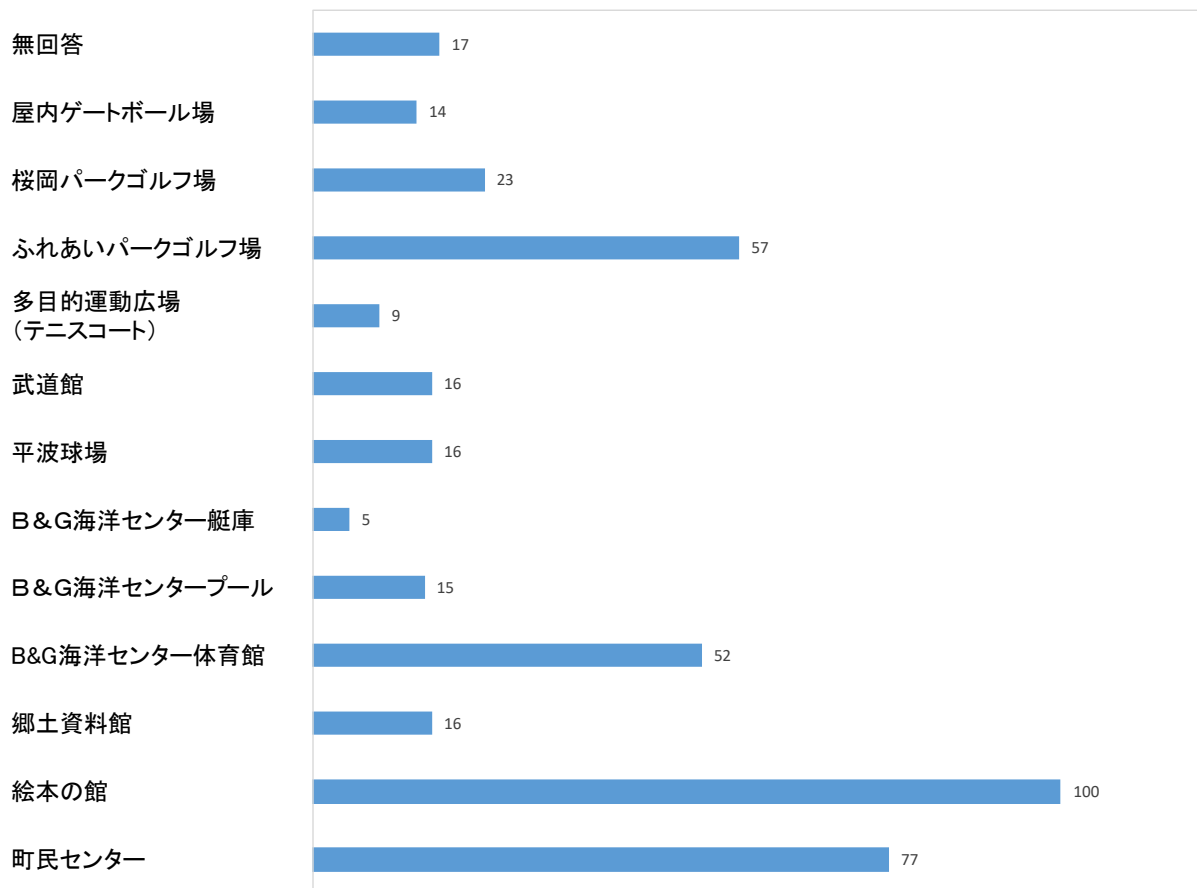
【問10】社会教育施設・社会体育施設を利用したことがある

(人)



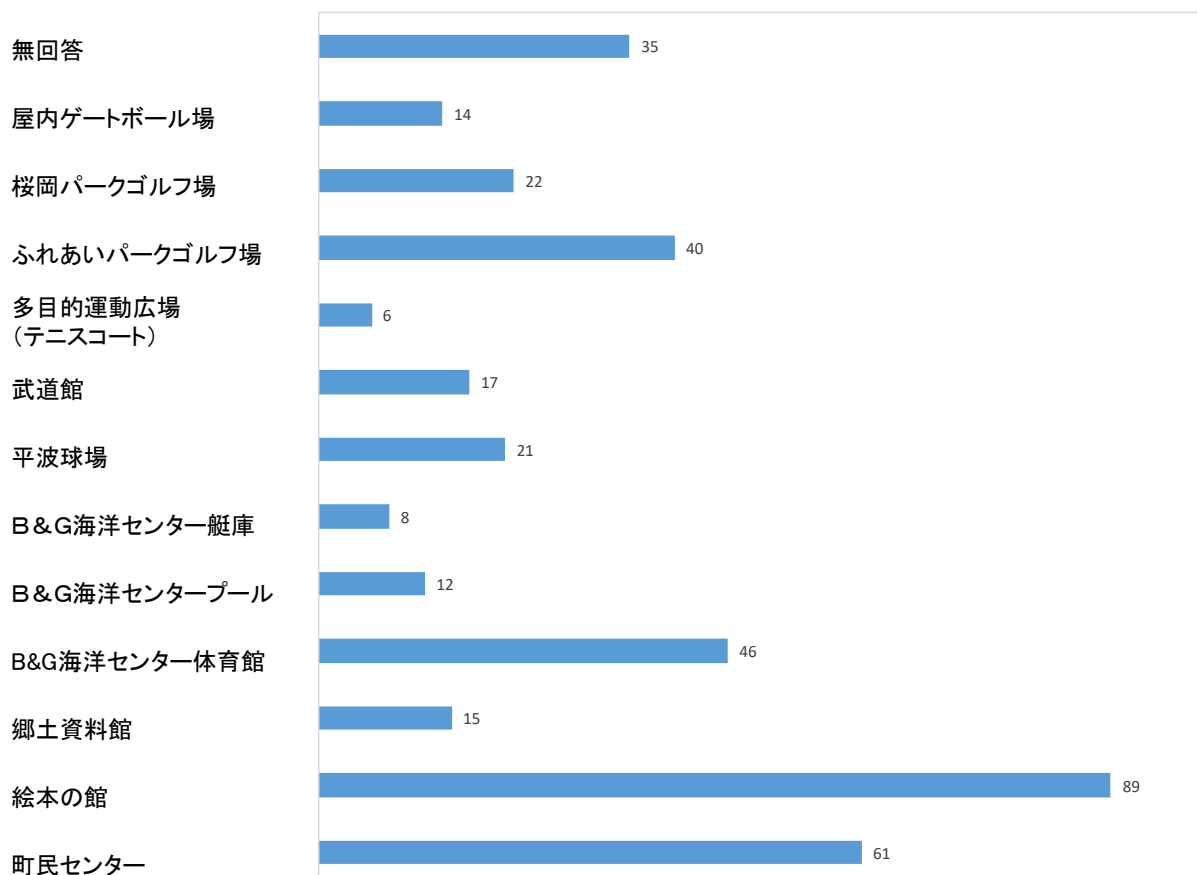
【問11】(1) 社会教育施設・社会体育施設を利用しやすい

(人)



【問11】(2) 社会教育施設・社会体育施設について安全に整備されている

(人)



【問12】社会教育施設・社会体育施設について普段感じていること

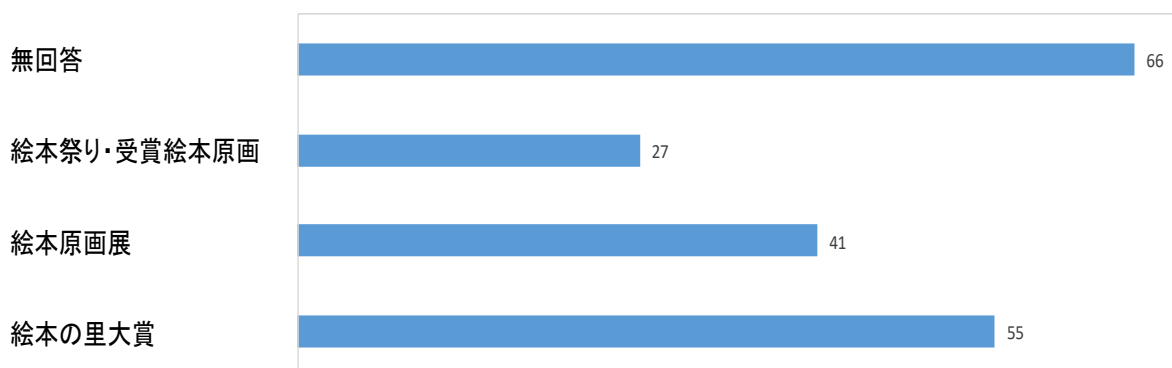
| 桜岡パークゴルフ場       | ふれあいパークゴルフ場                        | 多目的運動広場<br>(テニスコート) |
|-----------------|------------------------------------|---------------------|
| ・キャンプ客が遊べる遊具の設置 | ・芝生の質の向上<br>・コース整備の充実<br>・自動販売機の設置 | ・料金無料               |

| 平波球場                      | B&G海洋センター体育館           | 郷土資料館                                                 |
|---------------------------|------------------------|-------------------------------------------------------|
| ・管理が良い<br>・サブグラウンドに日陰がほしい | ・予約でいっぱいのため個人での使用がしづらい | ・もう少しPRと整備を<br>・狭く感じる。もっと広いところに改修すべき<br>・昔のことで懐かしく感じる |

| 絵本の館                  | 町民センター                                              |
|-----------------------|-----------------------------------------------------|
| ・一般図書の向上<br>・自由に使いやすい | ・照明がLEDになり良くなった<br>・利用申し込みをインターネットで<br>・町民は無料にしてほしい |

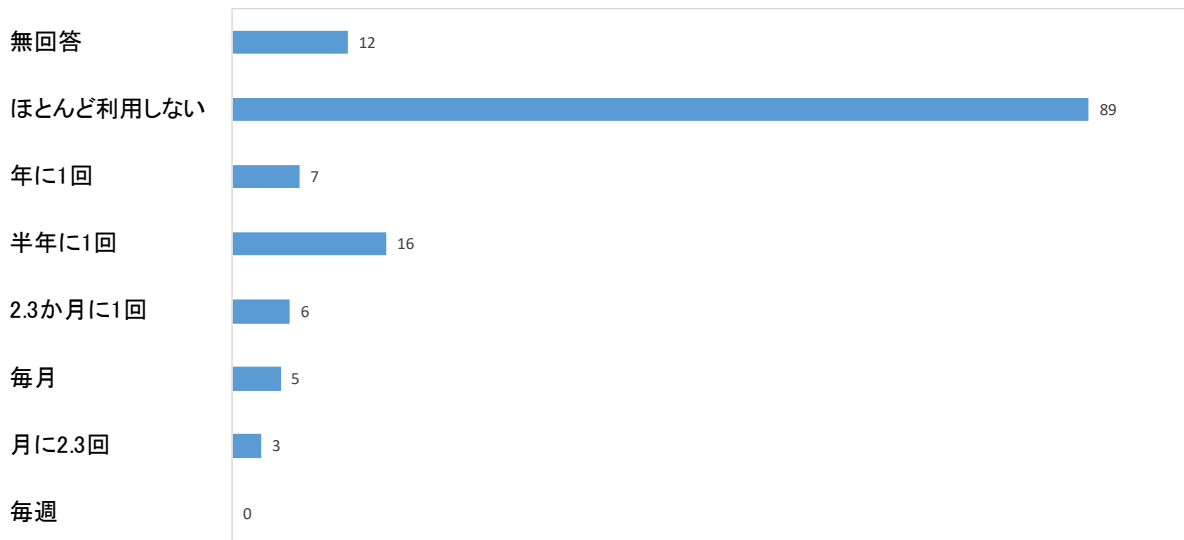
【問13】絵本の里づくり活動事業に参加したことがある

(人)



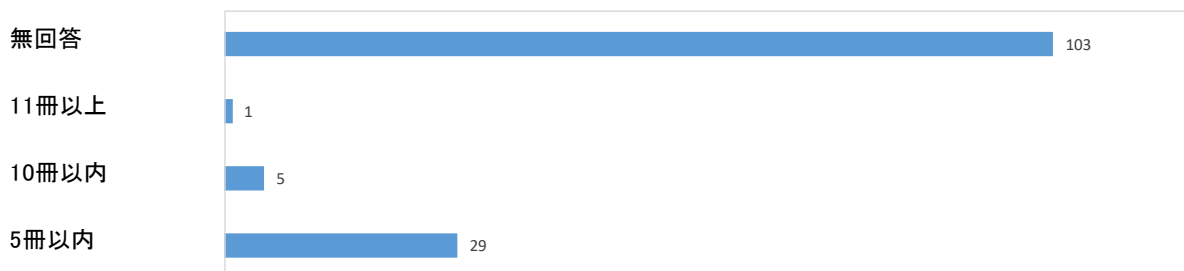
【問14】(1)絵本の館で絵本や図書を借りる頻度

(人)



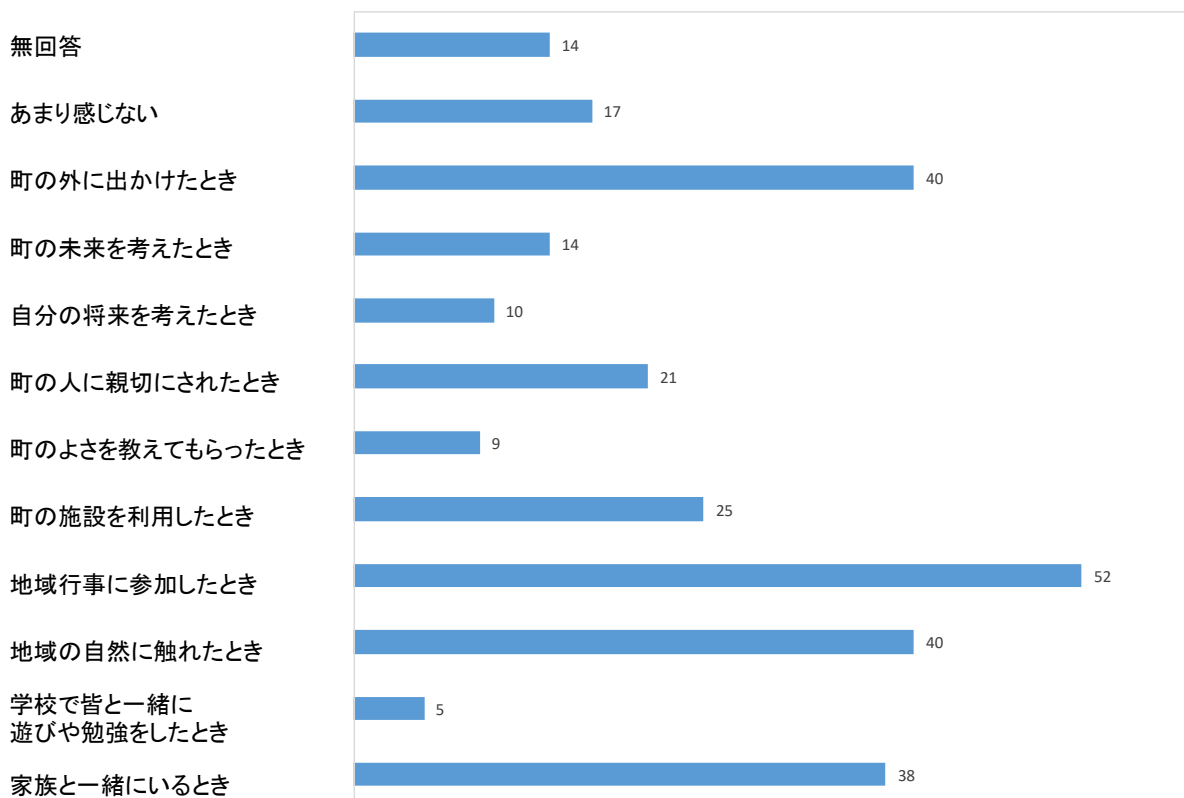
(2)1回に借りる冊数

(人)



【問15】剣淵町を「ふるさと」と感じる時

(人)



【問16】(1) ふるさと運動の活動について

〈春のクリーン作戦・花いっぱい運動・町内施設の有効活用・地元の生産物消費〉

(人)

知らない

24

知っていて運動している

56

知っている

58

(2) ふれあい運動の活動について

〈あいさつオアシス運動・地域の行事に参加・交通安全運動・家族ふれあいデー運動〉

(人)

無回答

2

知らない

39

知っていて運動している

32

知っている

65

(3) 生活見直し運動について

〈ゴミのリサイクル運動・早寝早起き朝ごはん運動・香典返しは会葬お礼葉書で〉

(人)

無回答

3

知らない

34

知っていて運動している

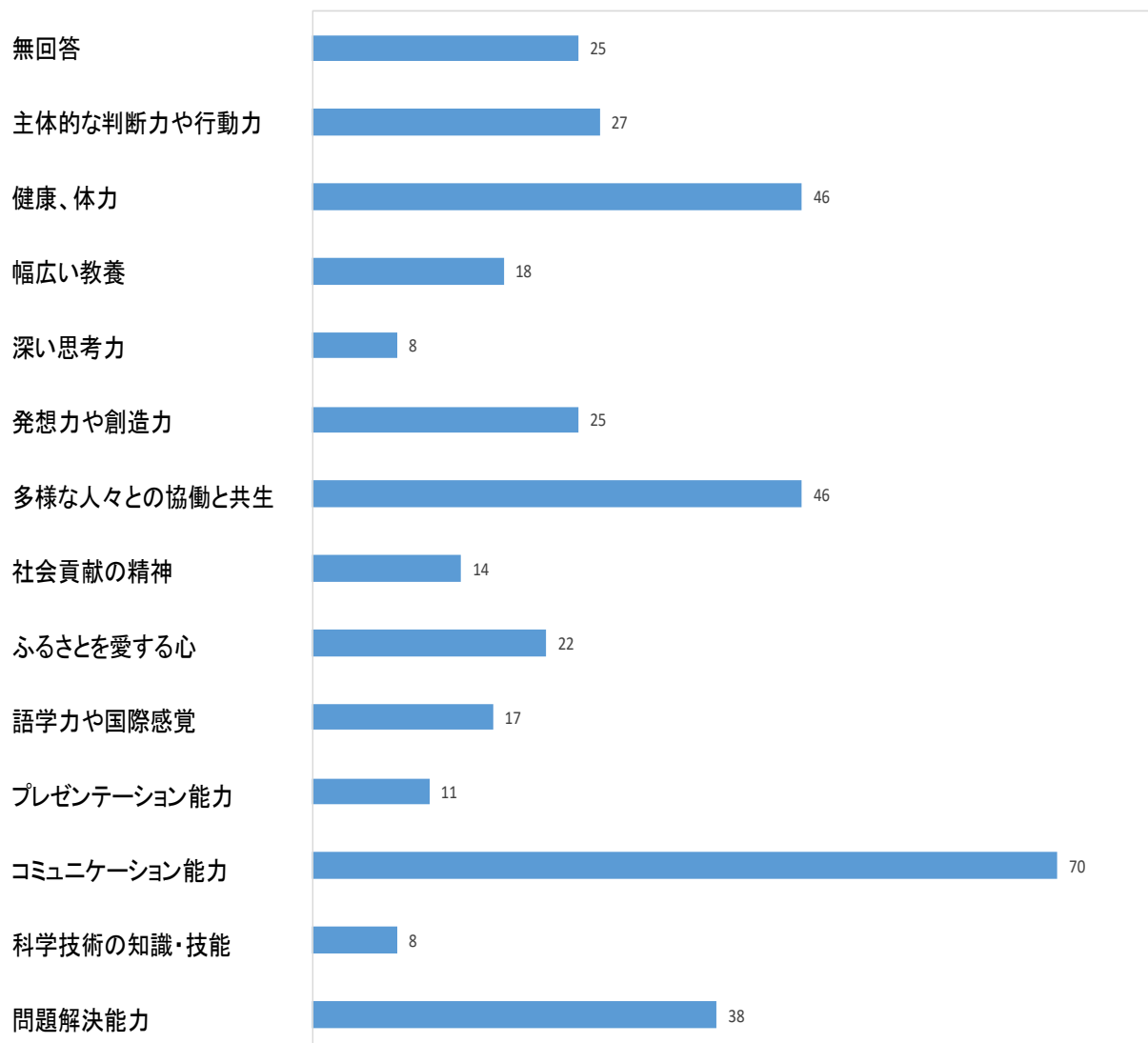
38

知っている

63

【問17】子どもたちの教育について課題と感じていること

(人)





【問 18】 剣淵町の社会教育、社会体育への意見

- ・今まで通りで良いと思う。剣淵は教育にめぐまれて住み良い町だと思います。子供達の人数も減少し、ゲームの子育てで体力がなくなって精神的、病気の子が増えるのが心配な世の中になった。
- ・私は今士別の仕事についております。（剣淵で仕事がないからです）仕事帰りに士別の図書館を利用してもう 10 年以上たちます。今では 10 時から 18 時まで休日なしで行っておりとてもいごこの良い思いをさせていただいております。剣淵に図書室はありますか？ネットで調べたところありませんとでてきました。絵本の館にある、あの図書だけなのでしょう吗？移動図書や DVD の貸出し、パソコンの貸出し図書館の仕事もいろいろあると思います。
- ・絵本の里と言っているわりにそれを生かしていない。V ターン I ターンで若者が来ているのに、子供（保育所）を預ける事ができず働けない。（妊婦や子供への助成はとても助かっているが、その後が不安である）高校で介護コース等福祉が充実していると思うが、それを町へ貢献できていない。卒業生の就職、手当等の優遇、保育士不足もどうかしてほしい。保育士と親と役所の担当者の連絡等がいき届いてない、不手際や説明不足が多く、正直信用できない人もいる。
- ・子供が少なくなっている中で自治会と自治会がもう少し考えた中で行動をおこしても良いのではないか。そのへんも考えて指導してほしい。
- ・魅力ある行動や町の特色あるもの
- ・時代は PC やタブレットだと思います。小さな頃から子供がなじめるようもっと予算を組んでも良い。
- ・2〜3 歳の子供でも安心安全に運動遊べる施設、柔らかい遊具等があると良い。
- ・趣味、学習団体リスト、リーダー指導者リストは 5 年に 1 回の頻度で更新してはいかがでしょうか。各地区で実施されている「サロン」とタイアップして、その中で「講習」「講座」「学習」を開催するのも一つの方法だと思います。短時間（20 分位）で。主題の選定が大変だとは思いますが・・・。
- ・小さな町なのであまり背伸びせず、現在やっている事業を基本にしながら少しずつ時代の変化に沿って修正しながら進めていけば良いと思います。とにかく振興計画となると格好ばかり気にして無理した計画になりがちですが、これとこれだけはしっかり取り組みますと言う意思が伝わる振興計画であれば良いと思うのですが・・・
- ・町民センターでの活動をこれからも頑張ってください。一町民として
- ・他町のものでも良いと思うので体育の向上に役立つものには参加を進めてほしい。防災教育等も同じ。
- ・一人一人の体力が落ちてきていると思います。子供から大人までそれぞれが鍛えて元気になれる町内大運動会とかやれたらいいですね。

## 5 懇話会委員意見集約結果

### (1)本町教育の現状と課題

- ・コロナ禍により、生活及び教育環境が狭められている感は否めませんが、「児童・生徒」、「保護者」、「教職員」の皆さんのアンケート結果からは、現「剣淵町教育振興基本計画」に反映された内容と大きな違いは見られず、前計画の概要を踏襲することでよいと思います。
- ・保護者の学校教育に対する満足度は高い。
- ・スマホ・テレビ・ゲームの時間が長いのではないか（ルールは決めているが）
- ・子どもたちは楽しく通学しており、教職員の皆様の環境づくりによるものだと思います。コロナ禍の中、スマホやゲームの時間が増えているようですが、ご家庭でのルール作りのきっかけにもなると思います。
- ・剣淵町における人口減少より、生徒数の減少が目立つようになってきました。1 クラス 20 名程度の時代がすぐそこまで来てます。それにともない教員の数も減少して学習面等、教員の負担が増えるし、教育の質が低下にならないか不安である。
- ・人口減少にともない、子どもの数が減っていき、少人数の教育になっていく。それにあたって教育が必要。
- ・今の子供達を見ると、言い方は良くないかもしれないが問題を起こすヤンチャな子どもはいないように見える。これは教職員、保護者が連絡を密にして問題が出る前に話し合い、行動しているからと感じられる。ただ、子どもの個性を大事にしているか、行っているのだろうけど見えてこないと感じる。大きな問題はないように見えるが、アンケート結果からの夢や希望を持ち、努力する姿勢が十分といえないという事を注目したい。子ども達の自主性をどう作り上げるのか。一人一人の個性を大事にしつつ、今までと同様に学校は保護者と連絡を取り合い、安全・安心で快適な学校生活を確保させる。
- ・第1回の会議でもお話しましたが、H29 からの取り組みの総括がないのはどうなのでしょう。アンケートを作成する段階で総括（成果と課題）があって、それを検討したアンケートが実施されるのではないかと思います。それがいい中で、今回のアンケートをもとに話をするのはどうなのかなと思います。成果と課題があって、継続する施策、新規の施策を考えることになるのではないかと思います。
- ・保護者、教職員間で学校に求めることと目指すことに若干のズレがある。
- ・特に中学生の自己肯定感、有用感の低さが気になりました。あわせて中学生の将来の希望、目標を描けない生徒の割合が 4 割程度存在することが課題として気になります。全般的に中学生と保護者の教育ニーズを的確につかむ必要がありそうに感じます。
- ・まず、保護者、教員、地域の人々がこれからの教育がどういう方向にむかっているのかが、知らない状況であるため、今後教育がどういう方向にむいているのかをみんなが共有すべきである。

- 教職員が、自分の仕事が児童生徒の成長や保護者の満足に繋がっていると実感。学校運営上自分の役割を果たすことができている。新しい教育や新規業務にやりがいを感じる。との回答数が AB と多い一方で、現状では業務量に対する多忙感を抱え、仕事の持ち帰りが多い。じっくりと生徒と向き合えないなどの意見がある。

- 学力向上に有効な取り組みの質問には、教職員は「加配教員を活用した少人数指導」が多く、「道教委作成の『チャレンジテスト』の活用」や「放課後や長期休業中の学習サポート」は有効との回答数が少ない。

※乱暴な私見で大変恐縮ですが、チャレンジテストや学力テストは、道教委側として見ると、問題を数多く解き反復学習する中で正答数を1点でも多く取ってもらうのを狙いとする「成果主義？」の取り組みに対し、教職員側は少人数指導による児童生徒の基礎能力の習得と主体的に学ぶ能力を涵養させる方法が学力向上のために良いという双方のとらえ方に大きな相違があるように思われます。

※放課後や長期休業中の学習サポートが有効との回答が少ないのは、教職員の「多忙感」、「心と時間の余裕を希望」の表れでしょうか。

## (2)本町教育のめざす姿

- 同上（１）記載と同じ
- 安心、安全で町全体で子どもたちを育てるという意識をもつこと
- 学校、家庭、地域のより一層の連携
- コロナ渦の中今後オンラインの活用が考えられますが、第一歩の環境作り SNS の利便性と危険性を誰もが理解できるようにする。
- 教職員アンケートから、ICTの活動は早めの対応をしていいと思う。これからの時代は、ネット社会にむかっていくので本町の子供たちにはそういう経験をしてほしい。福祉教育等で人間形成に必要な他者への思いやりや、いたみ等、個性を伸ばす教育に力を入れてほしい。
- 読書好きの子供を増やす。社会にでた時、いろいろあるがそれに対応出来る人間づくり
- 前回の取組では「剣淵の教育がめざす人間像」と「剣淵の教育がめざす子ども像」がありましたが、「人間像」があれば「子ども像」はいらないように思います。最終的にめざす姿があれば、それにむかってそういう取組をするか。ということになるのではないのでしょうか。
- 子ども達の自己肯定感を高めることで夢や希望を持ち目標に向かいやすくなる。  
幼少期（保育所）～接し方取り組みを保護者、学校で共有出来るようにする。
- 今後さらに多様化する社会のなかで異文化コミュニケーションの必要性を感じている回答数はあること。児童生徒が学ぶ必要性を感じている学習をしっかり指導していく体制づくり。中学生が、向上心、最後までやり遂げるか、まじめな努力新しいことへの挑戦

等で成長への意思を示している様に感じるのでこれらを目標的掟の一つにして欲しいと考えます。

- ・今まで通り古い時代の教育をつらぬくのか、今後の時代を見据え、剣淵独自で改革していくのか剣淵町としてはどうしたいのかを知りたい。私個人は小さい町なので新しい教育をとりいれる事が可能なので新しい時代の教育をいち早く取り組んでほしい。
- ・児童生徒のアンケートで「成長したいと思っている点」の回答では「学力・体力」が多く次に小学生では「仲間を大事に」中学生では「コミュニケーション力」となっている。
- ・保護者アンケートでは、小中学校の教育で力を入れてほしいことへの回答は「自立のために必要な基礎的学力の育成」が多い。
- ・社会の創りてとなる子供たちに求められる資質や能力」への質問に関して、保護者、教職員ともに「問題解決能力」「コミュニケーション能力」の回答が多い。

※上記のアンケート結果から見ても、義務教育を終えて高校、大学進学もしくは社会人へと進み、変化の激しい社会で自立していく力をもち、国際社会でも力を発揮できる創造性豊かな人材や地域の産業を支える担い手を育てることが求められます。

※平成 29 年度策定の教育振興基本計画に掲げられた基本理念・基本方針・重点目標を継続し「知・徳・体」のバランスの取れた生きる力を備えた人間を育てることが本町教育のめざす姿と思われます。

### (3)重点的に取り組むべき教育施策

- ・同上（２）記載と同じ
- ・①子どもたちの体験学習の拡充②ＩＣＴやネット環境の整備（学校の教育家庭内での実績可能なものや人材活用等も含めて、現状での取組を整理統合しより効果的な活動にすべき）
- ・オンライン化の世の中になっても、人間関係は学べない。また、まだまだ紙面での書くのがあたりまえです。子どもたちも学力向上を望む声が多いことから読み書きを理解することに重視してほしい。
- ・生徒数が減少していく中で、メリットでいえばきめ細かい教育指導が受けられるので、ＣＳの活用を取り入れて幅の広い教育環境をつくってほしい。
- ・読書、音読→テスト問題を最後まで読む力をつけるがまんする力をつける、家庭の協力
- ・アンケート結果からも見られるように体験学習の拡充、ＩＴＣやネット環境の整備、就学と進学の支援を今後も進めて行くことが必要と考える。
- ・学校教育の施策と社会教育の施策が一体となって達成できるような書き方になるといいと思います。学校教育と社会教育とが町の振興基本計画に一緒におさまっていることがわかりやすいと思います。
- ・スキー場がなくなってから久しいように思います。冬のスポーツや遊ぶ施設や機会が確保されるといいと思います。あわせて、剣淵ならではの美術やスポーツ（絵本原画展は

特長的ですが）があるといいのではないのでしょうか。

- 絵本の館がネット配信をしています。町内でもネットワーク環境整備が進められていますが、学校教育や社会教育の情報が町民にすぐに伝わったり、館の動画のように町内はもちろん、国内外に発信できるようになるとよいように思います。
- 「子どもの教育の上で心配なこと」として小中保護者とも「ゲームやスマホ等」をあげています。学校では児童生徒向けの授業で講師をよんで実施しています。前回の調査では41.5%の保護者がこたえており、3番目となっていますが、例えば保護者に対してどのような取り組みをしたのか、その結果はどうだったのか、といったこともあつての今回の数字なのか、そのあたりがわからないです
- 学校間連携では「教職員の交流」があげられていることから、小中高連携の中で何らかの対策を検討していくことが必要だと思います。お互いが「知らない」状態であれば連携はなかなかよい方向には進まないと思います。今年度はコロナの関係で様々な活動が制限されたり、できなかったりしたのでしかたがありませんが、今後どのように進めるかを考えていくことになるかと思います。あわせて、そのような時間ができるような環境も必要になってくると思います。
- 教員に求められる資質・能力については不易の部分が上がっています。「危機管理」については町教委との連携にも関わる内容であり、先手をうった対応ができるようになることが求められると思う。
- 社会の創り手となる資質・能力の上位2つ「問題解決能力」と「コミュニケーション能力」は、小中ともに取り組んでいる内容だと思います。
- 「重視したい教育・学校の姿」では②と⑤が上位2項目ということで、そこは大切にしていけることがよいと思います。ただ、この項目は前回も同じですから、単純に「かわっていない」ととるのか「これまでの取り組みがまだ不十分だから、引き続き」なのかがみえないと思います。また「共通B」も2項目が一致していることから、この点も取り上げることになると思います。
- 「共通C」はそもそもわかれると思います。教員からみれば、施設の整備をあげたいですし、保護者があげた⑤、⑥は新しく入ってきた学習内容ですから、教員側からみれば「やることになっている」となるのではないのでしょうか。
- このアンケートでは「共通C」の⑨について、子ども子育て支援会議とのかかわりもあるかと思いますが、「びばがらすくらむ」についての保護者への伝わり具合が気になります。保育士のみなさんがどう考えているのかがみえてこないのが不安です。それがつみあげられていったなら、就学や進学への安心もでてくるのではないかと思います。
- 児童相談にかかわっては、福祉との関わりもあると思います。前回のアンケートで家庭教育で行政に支援を期待することの上位2項目は「相談窓口を充実する」とことと「子育て中の親を支援するネットワークづくりや進める」でしたが、保護者の家庭状況等について学校との連携がどうだったのか、ということも今後考えていかななくてはならないの

ではないかと思います。横の連携をどう進めていくかが課題かと思います。

- ここにはないですが、保小連携についても必要だと思います。今はスタートカリキュラム作成し、実施・評価した2年目ですが、保育所の年長の活動がどのようになっているか（就学に向けて）はほとんどの教員が知らないと思います。
- 教職員の業務量増加について負担の軽減をはかる（コロナ対策等）そのためにどのような人員が必要なのか、省ける業務はないのか見極める。そうすることによって保護者の学校（教職員）に対する満足度が上がる。
- 中学校の生徒や保護者から進路や将来に関する指導ニーズが高い→具体的にどんな事が求められ何が必要かを明確にした方がよいと考えます。  
町内の ICT 教育環境の整備、充実。ネット教育（情報モラル、依存防止等）の課題改善等。
- まず古いままの教育でいくのか、ディスカッションなどを増やし好きだからやるの学習にしていくのかを話し合う必要があると思う。又、パソコン、タブレットを使った学習も進化させるべきだと思う。
- アンケートでは「力を入れてほしい教育施策」の質問で保護者・教職員から相違はあるものの、共通して多かった「体験学習の拡充」「ICT やネット環境」「就学と進学への支援」「外国語教育や国際交流」「特別支援教育」への取り組みを充実させるべきだと思います。
- また、教職員からの回答で多かった「学校施設の整備」「教員の働き方改革」に関しての施策の検討を進めるべきかと思います。施設の整備に関しては維持管理や改修更新、新規導入など、さらなる優先順位の厳選が必要だと思います。
- ウイズコロナ時代に対応した教育施策の検討が必要と思われます。

#### (4)その他

- 「社会の創り手となる子どもたちに求められる資質や能力」の項目において保護者、教職員の考えは一致していると思われますが、その能力を身につける以前の資質としての「感じる」「気づく」という力が、今後益々弱くなっていくのではないかと危惧するところです。情報過多といわれる時代にありながら、自分のほしい「答え」だけを容易に求めることができるため、実は非常に狭い範囲の少ない情報しか得られていないという現実があると思います。多様な情報の中から本人が答えを探し当てるということは、けして無駄な時間を過ごすということでもなく、無意味な知識を得るということでもないはずで、そういった環境を与える事が出来るのが家庭であり、学校だと考えます。地域全体で連携し策定される、この教育振興基本計画が、想像力・創造力を身に着け、社会において自立する生活力を育てるための指針になることを願います。
- 教職員の働き方改革については、地域家庭のご理解はもとより、教育委員会との連携・協議が必須である。
- 学校は新しいことに取り組むことだけではなく、やめる事も考えながら柔軟に対応できる

体制づくりを整えていくことが重要である。これまでに、構築してきた体制（小中高連携など）を充実させるため基本に戻り、教職員間の交流や授業交流など

- 現実に高校、大学を卒業して剣淵町に定住してくれる町民はどれくらいいるのでしょうか？個人的には、ほとんどいないと思っています。はたらく場所がない等、理由はいろいろあると思うけど剣淵町として他のまちに負けない大きな色みみたいな魅力を発信していかないと、あっというまに衰退していくと思う。
- コロナ対策 現場の（教員）の意見を尊重する。
- 今回の回答は、あくまでも私の私見ですので、参考にはならないかもしれませんが。
- スクールソーシャルワーカー来校について、子どものことを学校、先生まかせにしないためにも、保護者がスクールソーシャルワーカーなどにもっと気軽に相談できる機会を増やす。（ハードルを下げてあげる対応）どんな時に利用すべきかわかっていない人が多いと感じる。
- 学校や教職員の働き方改革が求められる中、学校側から多様な業務削減や地域への業務移行をお願いすると学校だけが楽をしている、業務を受けた人や組織が損をしているかのような印象を持たれるのではないかと危惧します。働き方改革の主旨や取組みに対する理解を学校以外の組織などからも話題提起していただければと考えます。  
生徒、保護者、教職員の共通項目の結果で、共通 B⑤語学力や国際感覚、共通 C⑤プログラミング教育、⑥外国語教育や国際交流⑭就学や進学の実支援で家庭（生徒、保護者）と学校（教職員）の回答値に相違が大きいことが気にとまります。
- まず、とにかく新しい時代の教育をみんなが知り、そこからどうしていくのかを決めていく必要がある。
- 情報入手先や充実してほしいものについて、ネット・SNS の回答が少なく、広報誌チラシ、ポスター等を中心に情報発信が重要となっていますが、回答者の年齢層が高齢者であったからでしょうか？仮に若年層からの回答が多かった場合は違う結果が出たかもしれません。
- 生涯学習に参加できない理由として仕事や家事が忙しいとの回答が多いですが回答者の年齢層が気になります。子供の世話や親の介護は 60 歳以下又は 30～40 歳代かと推測しますが、70 歳代以上の方でも現役なみに仕事をしなければならぬ構図なのではないでしょうか。
- 子どもたちの教育について課題と感ずることへの回答について、生涯学習アンケートでもコミュニケーション能力が半数を占めていることから、社会教育や公民館活動、地域行事への参加などが必要と思います。





発行 剣淵町教育委員会事務局

〒098-0392 北海道上川郡剣淵町仲町 3 7 番 1 号  
TEL (0165) 26-9025  
FAX (0165) 34-2530